となし近々太原に躍り南京政府及西北將銀に蘇し係職態告をなすと同時に全國に蘇し和平通電を設す『北平二十七日漢電』太原來電に依れば閻錫山氏はな任馮玉祥氏と共に五台山に在るが蘇く機殿でり

蔣氏或は下

野か

政治的にも現政府不利

閻氏停戦勸告せん

「東京二十八日愛電」大阪省の既 ならぬ程の大斧鉞を加へてあるの で、各省では夫人猛烈な復活姿求 で、各省では夫人猛烈な復活姿求 で、各省では夫人猛烈な復活を求 を開始してあるが、各省の復活要求 で、

で相當要求するものと見られ此 等を含識する時は養物教育費量銀は を容識する時は養物教育費量銀は約五 を容識する時は養物教育費量銀は約五 を容識する時は養物教育費量銀は約五 を容識する時は養物教育費量銀は約五 を容識する時は養物教育費量銀は約五 を容識する時は養物教育費量銀は約五 を容調する時は養物教育費量銀は

頻に列

車を襲撃

彈壓の裏を潜って

赤色テニ

ロリ團が

相は二十六日海口總理に窮狀をつ時日も切迫してゐるので井上

を聞る事となった

突如立退を强要

鮮農に

コと決定した

軍事密告の理由にて

▲田中千吉氏(大連民政署長) 朝 ・ 本田中千吉氏(大連民政署長) 朝 ・ 本川口数氏(同地方課長) 同上 ・ 本川口数氏(間地方課長) 同上

求額の略決定せるもの

に一任すること、なつた、其結果関線山氏は一兩日中に個人名義で和平通電を設す。職に對し蔣介石氏は馮玉祥氏の復活は中央の威信に関するとて担否せんとしたが解

の結果閣録

地方各省の財政を中央の直接管理とし中央は軍政費を毎月確實に給與すること河南及湖北西北部を西北軍の地盤とすること

馬玉祥氏の軍權を復活し西北軍を馮氏の攝政に歸すると

【南京二十七日發電】閻線山氏は時局を和平に導くため方事に氏を通じ蔣介石氏に點し

最後

軍権を復

湖北西北部を西北軍に

後の安協係

政府に参加するを決議した。ダラを承諾した。なほ社会議議員は新

るであらうと

復活要求多く

豫算編成難

各相に膝詰談判

(日件)

荻川

民會議の開催に外ならぬ、而し と云びたい、職省自治は乃ち國 と云びたい、職省自治は乃ち國

て、現在の勢力を爲した蔣介経體金持が偕金に倒れざる如く、 区斯無運は全國に開催するも 馬玉祥(其二)

解は、

なると、蔣介石の首號たる南京駅を駆しついあり、されば斯ら でけ、金のみが物質ふ支那の政 は、依然として該城閥の支持を

が氏は總理の外陸城長官や航行する区間を組織すべしと信ぜられ、 ・ の外陸城市が、社会館の駅 歌によって脱れんとし木歌によっていない。 も南京からの懸道を、其動にも、國民黨を利用したが、 源が之を据んでの正

るるや遠く且厚し、それで露図の革命を企圖するが、露園に

此雕和こそ國民會議で、各人を驚愕、軍腰、財閥に加えて官機

國民黨は露國を原似て、一黨專

は善い。

信置業家では可から質素 の實業家を

とした普選の精神を徹底せしめるした普選の精神を徹底がしな異論が これ普選の精神を徹底がに解決すべ 選響區制論には薫内にも異論が 選響區制論には薫内にも異論が 選響に制造である、我々が解決すべ した普選の特神を徹底せしめる

任關東廳灣院醫員(各語

土

蝕

任關東廳技師

ことを希望する

大選擧區 制として民意を大選擧區 制として民意を意識が分立してもそれが民意であれば致し方ないではないか、婦人にも被選攀權を與へて讓政壇人にも被選攀權を與へて讓政壇人に立たしむる時期の早からん 大 になるものと觀らる、而も滿洲間 題の細目のプログラムは未だ出來 で、奈良から背線ぎ京都に特越さ とは熱心である、殊に支那艦は地 度は熱心である、殊に支那艦は地 で、一次に支那艦は地 で、一次に支那艦は地

工業化、人口食糧球へ二十九日より三十一 テルに於て開かれる代表會議のプ 會議日程

本二十九日より三十一日まで文化 工業化、人口食糧諸問題 本四日より六日まで減洲問題 本四日より六日まで減洲問題 本四日より六日まで減洲問題 倫第四回會議地はサンフランシス △九日より本調査會の打合せ 題

京城へ出張す命ス 開東廳専賣局長事務収扱 開東廳専賣局長事務収扱

▲大演醫院醫長 大連醫院小兒科 へ今回京都帝國大學より落合博 土が醫長として二十九日香港丸にて 階長として二十九日香港丸にて

買用萬年食器

整膿鱗 形症

Œ 法療新たず代時新

放射線療法の實驗講習世界的發見のHSライト透過 所属樂生堂光線科本院 学会編編新三六四 短い療士の

陸軍三等由醫正八年

を質明も得ずんば、一篇思識政・関民會議たらざるべからず、之・ 必要ならやるべし、然る後には必要ならやるべし、然の後には、変邪の現の場がながない。 うして馮の尻込は髪物じゃ。 電間の大嗽結が必要である。。 か、されど斯うなるには、北。 閣東廳辭令 [廿六日附] 治と職省自治とが雌雄を決しそ 3

農村 金肥を半減し或は使はずに 一らしい間 音

受した。 東京市外西大久保 東京市外西大久保 東京市外西大久保 東京市外西大久保 继三町野吉市連大 院医原桐 一九二四話建

83 70 绵 の和昭

科联吧。 E





氏瑞祺段の遁隱



今後は 一切政治から経験 『正道居詩續集』て素志を実

六日完全に樹北省樊城を占領した「け總攻撃を開始した翼は二十三日した確報に依れば馮玉祥軍は二十「師は二十一日から湖北西北部に向【南京二十七日襲電】安那嶼に塗「石敬亭氏の指揮する馮玉祥軍五個

總攻擊開始 樊城を占領し襄陽へ 氏はダラデエ内臓の外御長官たる

| 「「「「「「「「「」」」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」。 | 「」」 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「 防備に當らしむることしなった。

政友會の新政策

軍縮は陸軍の主張と一致 選舉は大選擧區制が理想

は巧に暴威を逞しらしてゐる

に言本特電二十八日登』東方面の 無に於ける支那官滅は此程同縣下 際に於ける支那官滅は此程同縣下 を加立退を選要

は悉く赤露と氣脈を通じて支那の 側の内情を常告して居る が現に東賓縣居住鮮農四十 を支那官点に評告した鳥めである が現に東賓縣居住鮮農四十

東澤、密山兩縣内の鮮人有力者一く海備中であると

海拉爾地方に

犬養總裁の車中談

てんな問題をಹ事の具にし度く 責任に缺ぐるとか議論もあるが をあるが である。大囃子犯だとか輔新の はない。 であるが であるが であるが であるが であるが

ラル時也鐵守使張殿九、趙仲仁市【ハルビン特電二十八日々】ハイ

歌歌民と戦闘の移動で耐縮してる の通行を禁止する冒の飛戦会を布 は最近三河地方 では最近三河地方

當分は專ら保養

の動静

野田セメント使用支那人一行

關紧亮作氏(無電局長)四會社第三十六共同丸受

品質價格賣行第一位 販賣購張、高、確實た

経すはげぬ

本社への出社は午後から

が、触り長い話をしては總裁の病性に無数の病性にないません。自分も同語をお話相手となった。自分も同語をお話相手となった。 大平滿鐵副總裁談

事業に少がよ過ぎはせぬか。 和平勧告はよいとして、少し馮

五台山下の闔鎌山も、頃合を討って、停駛動街。

| 奥展では高いて

蔣系、 反蔣系、 一伸 一縮。 ◆

大觀小觀

卸申越次第御送=致えカタログ特約案内書

18/4 T

特約店募集

つては、いやでも膨かずばなるまだが、形勢、蔣介荘に不利とな

けふ開會式を行ふ

題調

查會

秋色深き京都に各國代表參集

終り、國際聯盟事務長杉村陽中次いで各國政府からの視離代

の長き分離から手を執つて進み

答摩があり、此等がでり

報告があり十一時式を言

社宅で結構だ、多分社員の合宿所 自分は入らない現在のロシヤ町の

市内各方面を整勝した地域の代理として新任義物のため、地域の代理として新任義物のため 仙石總裁の 新任挨拶 文書課長代理で

動は、なかり り、そこで軍事野特が政治對峙となり、そこで軍事野特が政治對峙とな

は、なかく、馬鹿にならぬのが併し、石敬亭軍の武漢進出作

天氣豫報

御疲勞もなかつた

低級勝のため各方面を膨勝

前し、五五後人、二六日没四、八二六日没四、八二六日没四、八二六日没四、

鍋島秘書役挨拶

退病治弱 東京本所石原六三大日本國民立志學書のまいである。其詳細なる著學相談部規定無代進星のまいである。其詳細なる著學の指導書「會 にせざる超健康法である。終始一貫實地研究の結晶で 終始一貫實地研究の結晶で 高事心 進し凡ての病氣を治癒し薩脳者を一掃す現代のあらゆる治病法を超越し健康を増 ある。

ある。

が効果のてきめんに喜びつ **ハガキ**にて注文せよ

東亜化學工藝株式會社東京市外板橋町舶向台110年 まる京古 學な

阻率器果念大事品 圖 9

西中 器

SAME SAME

喜んでゐる。だが二匹のお猿は茶花生を持つで逃げる奴を追騙けて一生懸命だ――笑ふ取卷き連に赤で、の閑人が四、五人取職んでキャツ~~追ひつ追はれつブランコを飛び鷗る御甕燗者のいたづらを花壁。繋が誇らしげに黄ばんだアカシャを見上げてゐる。お猿さんの前には子供連れの変那人、つれ

死向けてナニが可笑しい

スタンド

ブレーぢゃない、

金額から金額へ

萬全を期すべ

戸ロ調査の實地監査

大連署が泉警部を總指揮に

けふ總動員を行ひ

しの大君板はボスターやパンフレしの大君板はボスターやパンフレ ではやし立てられて 変れるといふ熟誠振りに眺かされ でれるといふ熟誠振りに眺かされて の地では各方面に小を籠めた を記せて その知人たる市役 ところで大 を こつの 献命話がある。 一つは ところで大 その知人たる市役

で來たものである

壯烈なる拳鬪戦

き體操

華々しかつた第一日

上げます に四十圓を御風計ひ御願ひ申 「下を以て可然御販計ひ御願ひ申 「下を以て可然御販計ひ御願ひ申 に四十圓を御屆け致じます、御 に四十圓を御屆け致じます、御 になつてゐる 「なは二十九日も見織き行ふ事 に附金させて戴く事に狭心し茲 「なってゐる 「なってゐる 大連市大和町 大連市大和町

市民一小官吏

っ大君板はボスターや 関数数率!

財政立直

米水兵放還 要塞撮影の

夜越遠した

今秋リーグ殿の諦められの情吹をに花を深ふべく意楽込み、肥大は

殿下、開始を表現した。 を動きませた。 を対する個が親に発力となった。 を対する個が親に発力と表に明治神宮に奉 を方は秋父宮司妃帝殿下、高松宮 を方は秋父宮司妃帝殿下、高松宮 を持ちとが野球戦に御楽風の忌 は他の大

を稼ぎこの金を以て

聲

青森縣の大水

國債償還のためと一小官吏が

家族四人分として四十圓をけふ市役所へ

人は匿名で五百圓

に献金の

前窓時二十八日發電』二十八日午町五丁日標場事中村方より發火一下三、四丁目の各目拔の場所約で傷者ある見込みで調査してあるが、原因は煙突掃除の不始末から 三百戸を焼

神宮競技愈よ始まる

模能的應接をなすはずで然たる拍手と應接歌の應

小切手で

の他多数である

おも茶秋

身も心も打ち込んだ

爺さん頭に湯氣ボッボ

歴史を記述の媚態に夢中となりその戦心 東西殿場高等流域的としたが、渡して一千園 サラボが一渡りと判明、反然に変好 から秋風を吹かされポッポと場で立て、憤慨してゐる六十餘歳の から秋風を吹かされポッポと場が、 連西殿場高等流域館主小田澄道と ルひ約二週間前磐城町1二待合花

物色 す る一方四日ばかり前、金一千圓の小切手を接って満洲 おも茶がこの小切手を接って満洲 たちまない

抱妓を引具して

遊興残金請求の訴へ

劉榮楓畵伯

洋畵展

- 後六時まで

於

青

年

十六日より五日間開催

達者なオランダ船乘組員

つた

物色 する一方四日ばかり 漫町鶴どルあたりにば間を

んだ、右は且下入港中のオランダ ルだ、右は且下入港中のオランダ ・ 一次のでは異國情調に難ひ ・ 一次のでは異國情調に難ひ ・ 一次のでは異國情調に難ひ ・ 一次のでは異國情調に難ひ ・ 一次のでは異國情調に難ひ 一次日午前十時ごろ小崎ナ支那遊 ・一次日午前十時ごろ小崎ナ支那遊 ・一次日午前十時ごろ小崎ナ支那遊 ・一次日午前十時ごろ小崎ナ支那遊

孫仮の やうな実濃町三一 と大西カズエ(このと共鳴し一夜の と大西カズエ(このと共鳴し一夜の と大西カズエ(このと共鳴し一夜の はますくくおも茶に夢中となお はますくくおも茶に夢中となお はますくくおも茶に夢中となお はますくくおも茶に夢中となお。 先づお前の小 後金は勝船後す。 そう しれたのはよかつたが、さて支援。 ひとなるや十順相一校で勘察しろ

11〇番地第二號支那料理店館十氏として去る十二日夜沙河口元町一として去る十二日夜沙河口元町一として去る十二日夜沙河口元町一

3628

金州新澤庵賣出し

方酌婦女彩琴でした登樓した際、

| 「東京二十八日愛電」神宮大會の 男性美の物類相廻つ力の野歌が際| 〈舉行された | いひ約二週間前 | で午後一時より神宮外苑相撲場で | 二回戦に二人難窓にて勝つた慶應 | 見ゆること、なつた、早大は再び | 先づお前の小窓で午後一時より神宮外苑相撲場で | 二回戦に二人難窓にて勝つた慶應 | 見ゆること、なつた、早大は再び | 先づお前の小窓で午後一時より神宮外苑相撲場で | 二回戦に二人難窓にて勝つた慶應 | 見ゆること、なつた、早大は再び | 先づお前の小窓を表現した。次 【東京北八日愛電】 | 七日の慶立 | 日の晴れの天窓野球試合に早大と | はます | 七ます | 1ます | 七ます | 1ます | 1ます

松元旅順民政署員はか 四名けふ遂に起訴さる

大連署では之れが防心機學の萬全の度を加へ行く季節にあるので、

に不安な大連はこれから盆々物騒

犯罪關係愈よ明瞭となつて

老から命じて貰ひたいといふので 老人を伴ひ、船貸と交渉のうへも 主人を伴ひ、船貸と交渉のうへも では収散す森翻澤生が を構む、船貸と交渉のうへも

では十一月一日より三日までは十一月一日より三日までは十一月一日より三日まで開発を1000年では十一月一日より三日まで常館では十一月一日より三日まで常館に於て薬花は深査の上優秀品に貨物を開入せられたしと

残金八十五圓の支拂方を水上

魔分で引っ張ってくること」なっ

いふので、肝腎のジタウン號が今ら日まで更に支拂ふ様子がないと

菊花展覽管

大連競響を開発を

残金は歸船後すぐ持つてくると

現金六圓餘を続収されたとの投書 があつたので同署では艾彩琴を呼 が出し取調べたところ、その金は が出し取調べたところ、その金は で小崎子方蔵にて買物 での他に製消したと自由で、拾得

玉の浦採砂場事件

本收賄 旅順民政署商工係園 株公二七) 4 草野喜代治(四七) 大連聖德街四丁目 展 元素天新聞 龜吉(四四) 世雄(二七) 北田、草野の陳名は前記契約
「五(三八) 之れを受領のうへ自己所得の
「五(三八) 之れを受領のうへ自己所得の
「大原国を天路し、銭金七百圓のう 野な開始し、途に右出願は上 いを開始し、途に右出願は上 いを開始し、途に右出願は上 百圓、有島に二百圓、松元に 数し成功した鴫に於ては職婦 名共課のうへ北田、草野の爾 名共課のうへ北田、草野の爾 可の運びに至ったので、 崎富州。 五百圓、試一千圓の現金を許取し こるるもので、なは有島の詐欺機 はい。 で、なは有島の詐欺機 ので、なは有島の詐欺機

松元への贈賄金

手交方を 依頼し金

有島が着服

被疑者の犯罪事實

大連近江町五煖房衞生機一

して拘留収調中の元案天新聞旅順工の指含収調中の元案天新聞旅順工の指の砂利採砂場に絡まる旅順工の指の砂利採砂場に絡まる

支局記者有島仲雄(ごり)の自供に端

△贈賄、詐欺

百圓まで樹餅し七百圓全部を自己已所持の二百圓のほか松元の分五 病身を悲劇経死 日午後三韓ごろ談を中大佛山一都 一で同窓にて微塵を行った結果、市 で同窓にて微塵を行った結果、市 で同窓にて微塵を行った結果、市 で同窓にて微塵を行った結果、市 の妻 の力と判断、死體は同人の妻 号渡したが原因は病身を悲

市山縣通二一大連俳句會宛申込め、一市山縣通二一大連俳句會宛中込め、一門會報入用の向は大連表したが、同會報入用の向は大連表したが、同會報入用の向は大連表したが、同會報、満州通信俳句會報、満州通信俳句會 个溪湖背後地に

探戒の概和を出願した際。その許しはまた松元が旅戦民政警官舎に藤の爾名が旅戦民政警に玉の浦砂利・福崎はまた有島に精を通じ、兩名右搬疑者の怨熊陽係は北田、草野・可促進の運動かたを職権に依猴し

夏岡の許可を取つてやると 激元に對し関東縣へ運動し

猛烈な牛疫

傳染區域の擴張を憂慮

このほか職崎は小園子宏湾に於て勝手に費消したもの

に於て勝手

小春日和に

類遊園の芝生をさらくくと枯寒

お猿さんの愛嬌

れ立つ、黄、白、赤と咲行ったを飛ばす風、五位鷺の羽がちょ

义自動車

これは人を轢く

手は「 ・ 一部では十分四公配町二二五前省 ・ 一部では十分四公配町二二五前省 ・ 一部では十分四公配町二二五前省 ・ 第に於いて前方通行中の市内八幡 ・ 路に於いて前方通行中の市内八幡 ・ 第二本大合置所へ郭塚は(2-1)の空 ・ 車を跳れ飛ばし車を破落々々に破 車を跳れ飛ばし車を破落々々に破 車を跳れ飛ばし車を破落を をしたが 市内春日町四五大

高は脚部ほかに全治五日の傷を負地で通行中の苦刀高耳揚(ニ)を轢きて通行中の苦刀高耳揚(ニ)を轢きて通行中の苦刀高耳揚(ニ)を轢き

力車を跳飛す

日町四五大連タクシー運轉

七 割

其 他一切 大 賣 出 一層安値に 御覽下さい

的呀。回二弟 破格大安要 **瓜**年最新城 投賣物大量仕入に付他店の 絹代用花色金巾裏地二圓七十銭二圓二十銭外に奉仕品御一名一反限り白金巾五十銭 追従を許ない

東亜物産階上 磐城町扇芳亭礁 神 山吳服店 出張的

稅儀用約附 九帯訪問着

見切品豊富:

切らんとして該電車に出飛ばされっ 直ちに小崗子博愛病院に敷容したが生命危篤 めである、一千圓を提供しその上めである、一千圓を提供しその上 やくしや腹を抱主に當つてゐるとい場類を立てょやり場のないむし ぎこの金を以て一胎の後を消無銭遊興で訴べられ透達して版物 茶にそむかれた小田は禿頭 電車で重傷

半額提供 時計及貴金屬 初回の賣出し丈け 割よ 引 b 最 福引 差上ます 終 劵 b を決行する次第です 0 # + 囘 Ħ 1 ľ b ŋ 月 お 一度店頭の 陳列振りを 早

本日午前五時三十分死去致候父松一一郎儀豫而病氣の

話

ける。澤庵

夜間用

京都市五時通出

りて一致せざるものや、民に海運 に一生の打開業を贈ぜんものと企 に一生の打開業を贈ぜんものと企

の如く壁なる船主もあれば、船主の中には栃木街事の出張所

つとイロへ順に列記してみると 本栃木商 単株式會社大連出張所 本高橋商會 本合資會社長馬商會 本合資會社長馬商會 本合資會社大三商員 本合資會社大三商員

か

カー変者もある、但し内地に於てとプローカー衆変のものもあり、とプローカー衆変のものもあり、

W株式會社大連支店 机丸二酶會 大連支店

の歌語が何と言はうと後藤高倉に指は誰が何と言はうと後藤高倉に指は離れるまい、 | 止輪とを配しなければなるまい、 | 止輪とを配しなければなるまい、 | 止輪と

が強人にも三分の理覧があるとか

0

少し店頭におけるサーマーとますか。 ・一変悪町を配別に歩いて くれ客に應続する店が伺 ますか。

り悦に這入つてゐる大連汽船に麩

強てこんな感傷的な冠詞をつけ受難の大連海運同業組合……何

り オデヤンになつてしまつたではな ともあるまいと、比較的悪まれた ともあるまいと、比較的悪まれた ともあるまいと、比較的悪まれた

そこで先づ組合員の範疇れをず

物を扱つて居るから先づこゝら邊りは大した愚痴はこぼすこともなく後生大事と認命にこれ努めてゐるわけだ

3

折角の打開協議

基础格征 基础

何處へ行く

醜い争に終つた

見るやうた純粋のプローカー製者の居る所と異って大連でのブローカーとしては繁雄なる事情にあるとは腹々耳にする所だ、健つて海道市況打開策と大きく出た時にブローカーと小船主との利害の相反といふ酸い場合を演じて後つてしまつたらしいをうくくお流れになつてしまい、とうくくお流れになってしまい。

△合養會社輔和商會 △合養會社財和公司 △合養會社宮崎商會 △合養會社宮崎商會 △合養會社宮崎商會

れたといふ、お大は松浦汽船で主

の餘波を受けて本社名勒

一般的

明寄明寄

愛媛瞬縣に定期航路をもつてゐる

五と止め地場砂票で五米一大の一と一大の一と一大の一と一大の一と

でできた。 からならのだが國際運輸は 世間周知の如く大阪商船會社事版 り、永和公司は前大汽の安配人で り、永和公司は前大汽の安配人で り、永和公司は前大汽の安配人で り、永和公司は前大汽の安配人で り、永和公司は前大汽の安配人で り、永和公司は前大汽の安配人で り、永和公司は前大汽の安配人で り、永和公司は前大汽の安配人で り、永和公司は前大汽の安配人で り、北田の田の大汽

日本海方配に於ける荷扱ひが大汽

様子、観じ來れば康運衆の一般的

支那沿岸の政配公司扱で相當羽振が現在に於ては主に島谷汽船の扱

海運組合は

合小北東呼松東哈東

满支 花支爾支 西海江東賓南 ◇ 其部 下部管部北 計計他線線流線區線 洪

×× 1 七三 八四三七二八 九三三 九二二七 九三三一九二六

五十七萬四千二十二順で昨年度より一萬八千八百二十二順の増加をり一萬八千八百二十二順の増加を

現在に於ける山元田炭合計は三百年の場所の増加を見てゐる。二十日

ド月に於ても八萬九千八百九

撫順炭出廻

頗る良好

目されてある

乾燥粕

羅漢律

李

造しドイツハンブルグ方配並に中 を減少せる乾燥丸特を試験的に製 地域のでは今春※三穀油房に を減少せる乾燥丸特を試験的に製 を減少せる乾燥丸特を試験的に製 を減少せる乾燥丸特を試験的に製

者共相當打撃を受けてゐる 行したが其の結果材本は磐ち二割 豆粕下檢查

前途の有望を實證

特重組合は北六日午後二時から左記條項に飲き儲職した

一大学であるが、豆粕下機会関係に対してあるが、豆粕下機会関係に対して来たところ本年のためで豆粕取扱のため下機であるが、豆粕下機会関係に対して来たところ本年からある。然し海鎌線として東京であるため特産商機として大きになり到清地であるため特産商機としてあるに決心したはめ側をしてあるに決心したはめ側をしてあるので、これを呼吸により、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学のでは、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学のでは、一大学では、一大学のでは、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学では、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には、一大学には 用手皮用として殴べ申込みがあり 本 明音する方でも大意深込みである。 明在は冬籠りの方法について色々 現在は冬籠りの方法について色々 が家庭職類として最も適常と認め が家庭職類として最も適常と認め が家庭職類として最も適常と認め が家庭職類として最も適常と認め が家庭職類として最も適常と認め する方でも大意深込みである 大宮で外れ 食敷市勘製製が作大宮で外れ 食敷市勘製製をなしたが優秀品がなかつたので本年 再び衆製をやり直したところ今年 月末が総切日だが今に至るまで一 でいの で同様では大 でいって に 大 でいって に かい に いって に かい に いって に い に い い に い い に い に い に い に い に い い に い に い に い に い に い に い い に い に い に い に い い に い に

會期は豫定より遅れ七月頃 債權債務の 申告を命ず

內地聯合見本市

表してゐると

開催の具體案成る

ダリ

の事務整理委員會を閉鎖後 東鐵は貨車の 員會から

東京二十八日發電」横濱正金銀 行は今朝市場の籐勢に鑑み米國向 行は今朝市場の籐勢に鑑み米國向 での如く改訂した 四七弗四分三 野米電信賣 四七弗四分三

本屬品原料三三三二 △四、六九 ○金屬品原料三三三二 △四、六九 ○四 ▲砂糖二、八三三 ▲ 木 竹材 △三、八二〇 ▲ 新 级四、六四 — ▲ 麻 级四、六四 — ▲ 麻 级四、六四三 — ▲ 麻 级四、六四三 — 新 级四、六四 — 集 尚七九七 — 其 他 雜品二 一 八四 — 集 尚七九七 — 其 他 雜品二 二三九

配給圓滑を缺ぐ

支那軍隊に使用され

兩鐵會議で根本的連絡打合

マルクン・ ドイツ商品及金銀塊輸出入額はドイツ聯邦統計局競表=九月中

つ当五

田東高 一萬箱 一二三六〇百箱 一七〇百年 一二三六〇百箱 一七〇百年 一二三六〇百箱 一七〇百年 一二三六〇百箱 一七〇百年

ヒスイ は一定の相場が無いのとよく見分ける方が至って少くない故買へば確かに信用ある磐城町の福豐東へ當店は他店と異なり絕對値引せぬ。 当時は他店と異なり絕對値引せぬし下さい 豐

有望な椎茸輸出・椎茸の主産地・

各一ポイント

二十四日現在埠頭貨物在高は十三萬九千三百四十九廟四で前年同雄の八萬一千九百一廟に比し五萬七千四百四十八廟の増加である主な「一日」では「一日」である。 「一日」では「一日」である。 「一日」では「一日」である。 「一日」では「一日」である。 「一日」では「一日」である。 「一日」では「一日」である。 「一日」では「一日」である。 「一日」では「一日」である。 「一日」では「一日」である。 「一日」では「一日」である。 「一日」である。 「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「一日」では、「日」では、「日」では、「日」では、「日」では、「日」では、「日」では、「日」では、「日」では、「日」では、「日」では、「日」で

地場後高の百九圓屬を保田明の北濱諸株は一圓搦みの易株日明の北濱諸株は一圓搦みの易様の子が一段高新東短期四十銭高新豆銭砂も開散裡で五品は十銭高新豆銭砂も開散裡の保合であつた現物の大新は九十銭高新東衛一圓高引五十銭高出來高定期百二十枚

本 今朝大阪路株は一順高 ※をみせて内地は氣配硬化の商 場を報じたが常市には響かず五 紙を報じたが常市には響かず五 が再渡りのない話では又復例の写は 直更根板のない話では又復例の三社合 の感がある▲貝地にそうした氣 では、実際では又復例の三社合 が事號し二三有力者間に考へ られてゐることは事實であるが は、其體的運動に移り相場に というだ。大きにはないが 会別がある本貝地にそうした氣 を要するやうだ▲尤もこの問題 は早晩實現する事柄であるから は早晩電視する事柄であるから は早晩ではないが なら今でも悪い時期ではなから なら今でも悪い時期ではなから なら今でも悪い時期ではなから なら今でも悪い時期ではなから なら今でも悪い時期ではなから なら今でも悪い時期ではなから

緊縮旅館

及び大部分は支那向でアメリ 青森、秋田、三軍縣等にも相に静岡、大分、宮崎等で最近 出されて居るが之等の海外に

豆油强調

况

して最も有望なものであるとっ して最も有望なものであるとっ は、然し方法如 は、 は少し高級品であるとてアメ の能より

埠頭貨物在高

月三十二銭一月三十一銭五二銭八厘十一月三十三銭五十二銭十一月三十三銭五

(株式出來

依然押け買方針と観察さる依然押け買方針と観察さる

上海標金

銀塊及為 倫敦鎮塊 三生5分0 同 果物 三生5分0 五質銀塊 三生5分0 五質銀塊 三型比5分0 五質銀塊 三型比5分0 一面 第一個人分之 一次米為香醋弗公仙夫分之 一次米為香醋弗公仙夫分之

限限

月月月月月月月月日 神戸豆粕

貯蓄情券

下齒科

郡、

老、

一齒科醫院

婦產內 科科科 佐志 志

借力セ四川話電

外國船員, 管館の ・ これが爲め海務協會本館裏に まる六月より海務協會本館裏に は十一月二十日頃竣成の豫定で は十一月二十日頃竣成の豫定で は十一月二十日頃竣成の豫定で は十一月二十日頃竣成の豫定で は十一月二十日頃竣成の豫定で は十一月二十日頃竣成の豫定で は十一月二十日頃竣成の豫定で は十一月二十日頃竣成の豫定で

大連問識副會頭

一府商工會 大連市磐城町

高粱第三回收穫豫想(單位十順) 前年推定實收量 九八五五五五 七〇五二九 五七六四五 五七六四五 五二二四四五 三七四四五九 二四四三〇 二四四五〇六

◇南

以

に駐屯してあるので充分貨車の配って其のうち現在の如く軍隊が各所ですのうち現在の如く軍隊が各所ですの。 東魏としては一 言

低下したが、其後東西東支刺線が特産大豆、小変に對して運賃率を特産大豆、小変に對して運賃率を東鐵管理局が本月十六日から南行 ら南下した大豆は 南下北滿大豆

中

何卒御越しを待

獨逸の貿易 九月

東線溝線の特産聯絡を打合せは一時的辨決であって東線構像の特産聯絡を打合せは一時的辨決であって東線側からは長春に向ひ現場に於ける観察調査といる。

は、一番を関うですることができぬは浴は、一番を関うですることができぬは浴によない。大変の連びを行ふ意識である

内地聢り乍ら

日本向参藩竇(銀頁) 全興宝 日本向参藩竇(銀頁) 公興宝 同十五日買(同) 公興宝 上海向参藩竇(銀頁) 生兩豆 倫敦向電信竇(銀)志七片分至 同二ヶ月買(同)志八片夫分三 同二ヶ月町(同) 志八片夫分三

用法簡易

電達は敏速に仕り居り候 電達は敏速に仕り居り候 で味の素一個又はソース二合入一本付)

は品質本位の近藤銘酒店

た 小金を持つて樂園目つてわけた仕事もないので、ヘエーた仕事もないので、ヘエーた仕事もないので、ヘエーにつりや結構な身分がの羨ましいた。

「どうしたんだ。足でも痛めたの

いえ、さうでもないんだが…

がけ、又弱者をいちめ拔く無利 がけ、又弱者をいちめ拔く無利 をと松浦楽枝のお那美

「へエ、そりやもろ

二十三錢 八九

お前さんは何を縁気にして

源入郎は何喧はぬ離で急き立て 「暗くならないうちに行からぢゃ しつと、その様子を見てゐたが

てゐるらしい。

田五郎が、へたばりさう

絶明し、つ 人達の第一 人達の第一

にされてるとになる階級意

効返金藥(

の 評好大

い、どうした田五郎」

目で念を押して太吉と観兵衛の

暮してゐますんで」

◇旗本小普請衆◇

壽《喜多呂九平原作、二川文太郎

●特約代理店募集

大いに官僚をして儲っ

ようござんすともっでは明日は早く出てくれよ」

御苦勞だつ

らだ、岡星だらう」

事に遠ひないが、測々として腕に此の映畵は偶菱的顰異のない、徹の映畵は偶菱的顰異のない、徹

は、 は世藤経夫氏の一週忌に當つて密 は世藤経夫氏の一週忌に當つて密 して居る▲希望者は二銭對入で申 し込まれたいとの事▲日活の村田 し込まれたいとの事▲日活の村田 し込まれたいとの事▲日活の村田 し入まれたいとの事▲日活の村田 した居る▲希望者は二銭對入で申 し込まれたいとの事▲日活の村田 であネクタイ総網び」と暖高らかに であたりまた。 では、のネクタイ総網でよりました。 では、のネクタイ総網でよりました。 では、のネクタイ総網でよりました。 では、のネクタイ総網でよりました。 では、のネクタイ総網でよりました。 では、の本クタイ総網でよりました。 では、の本クタイ総網でよりました。 では、の本クタイ総網でよりました。 では、の本クタイ総網でよりました。 では、の本クタイ総網でよりました。 では、の本クタイ総網では、と、のまりました。 では、の本クタイ総網では、と、のまりました。 では、の本クタイ総細では、と、のまりました。 では、の本クタイ総細では、と、の本クタイ総細では、と、の本クタイ総細では、と、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週こにと、では、の一週にと、では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では、の一月では

「そ、その通りで、まつたく

んちやないんだが、

と踵を返して見え隠れに派入郎の

で 大学だらう と思った。 総称な身地 「さらだらうと思った。 総称な身地がるんだ。 大分暗くなつたが大地がるんだ。 大分暗くなつたが大地があるが、 このから此方へ

本鬼頭等の集り兩國の見世物の難跡に刺戯を求めんとしてはかで美丈夫の酒造澤重左を頭に刹那主義者江連、インテリゲンツで美丈夫の酒造澤重左を頭に刹那主義者江連、インテリゲンツで美丈夫の酒造澤重左を頭に利那主義映畵南光射、阪本三右衛門、監督、澤村國太郎入社第一回主演映畵南光射、阪本三右衛門、

「田五郎さんとやら、お前さんは

と此方は源入郎、土方の親方ら

方が、わしの家へ近道なんだ。お「伊賀事女さまの狐の森を抜けた

つへエ、大丈夫でせらが、此方へ

五郎をチラと見たり

の宿で襲てくれ。明日宿割を決め」でも死んで、田城がおぬしの所へれた。何しろ手が足りなくて困つ。それぢや力仕事も大して苦にもなれた。何とうが足りなくて困つ。それぢや力仕事も大して苦にもな正直で小心らしい男だ。

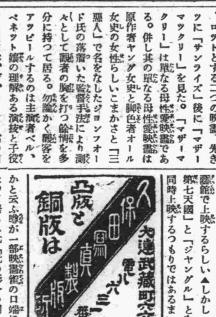
日

が云った。
「驚くことはない。田五郎さん。
「たれが道々話したわつし共の続方で、お前さんもつまりこの人の組で、お前さんといつて、須摩の人ないだ――ので、これは日五郎さんといつて、須摩の人ないだが、うまく手があいてたんで と、それへかぶせるやりに太吉 って、派八郎の親方は田

「静津の池田在が生れなんで、ず「神経」の治田在が生れなんで、ず

マザー

原作者ヤング女史と脚色者オールマックリー」を見た。「マザーマックリー」は単なる母性愛映畵はる。併し其の単なる母性愛映畵である。併し其の単なる母性愛映畵である。 、ロットとする二つの映画、先きと異なつた精神的アッピールをアと異なった精神的アッピールをアと異なった精神的アッピールをアと異なった特神的アッピールをア め、受其の壁異其の物に多分の興 事件の偶競的選異によつて蘇を進 語との前に現はれる多くの映画は マクリー



女史の女性らしいこまかさと「三

第七天國」と 光連武藏町六六 ▲しかし「



かと云ふ噂が一部映畵

催の口



御家電の御保存には 京 部寺甲 概 替大阪 六三

意はテキマシタ 防虫香 我二十追细十 地內科送 统二十地内科送 H い公開 若月孔雀

る飾を界畵映秋錦に新を裝畵名のし懐 保富田池…督監•色挥•作原 品作特超活日

N= 意 二者 即太見多上尾 郎次傳內河大 郎十 騎 谷 一嘉 本山 子米 井 酒 子 良 川 德 一嘉 本山子良川德 郎四妻新

ク (tc 姐原

二何此人五十銭

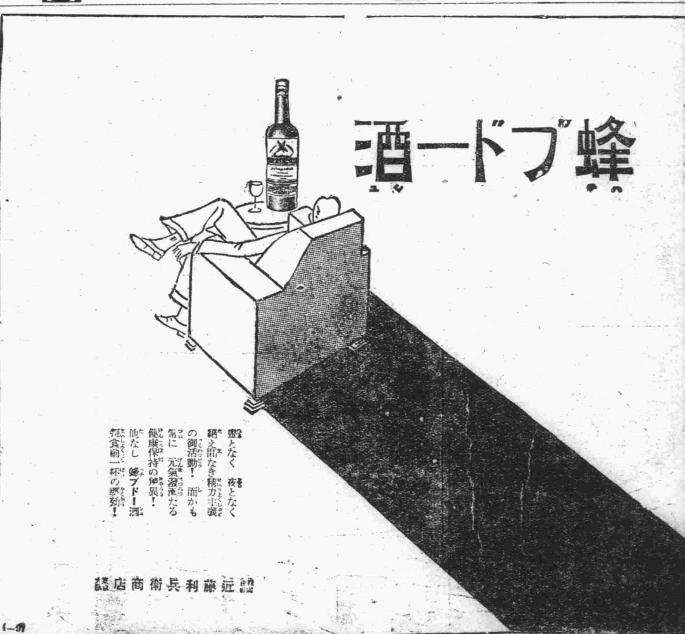
小 本 (たく 敬 よ 母) 演と氏ンレグラクマ・ータクイヴ 襲トツネベ・ルベ 演主郎九领宗正 合河 廖 間 造

演主団一第社入郎太國村澤 星名の園梨 郎太文川二…督監 平九呂多喜々壽…作原

券錢拾貳 (7) 演 (L殺吉代美) 作特合河 お 屋 新

おりまする。 巻煙草 MAGNUMS Three Castles" Cigarettes WD &H OWIlls

Pritish-American Tobacco Co. (China) Lis





太

作

兴畫界東西

B

廿五日

公開

しみ深い美しい映画である。

瀰

(四)

平

ぎくりとしたやらだつた。 脚がむつくり起ったので、田玉郎は で、田玉郎は 酸の革袋こと

さらいふわけでもないの

ないか。此方が濱案内をして欲しないか。此方が濱案内をして欲し

日連夜大人満員の澤田プロの劍麟は上野・大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演以来連大阪新世界松竹座に公演といる。

いくらあだ」

んかと出來るだららかな」 「かやく、百か 「社守をしてたつて話を聞いたが 一百姓で……」

協和會館映畵

を上映 ジャング

ラジン嬢と結婚したが耐人お揃で立つたことのあるグラディス・フ

ンテイバンクスは舞ぶも映画にも特殊のタイプを持つ裏観役者で

お

からだるは

蛇頂

石

ル

要演

「そ、それは――十、十四、五年「伊賀事女さまの社守り、あれは 百姓をしてゐたのはその前の

餞である

の爲めに「無理矢理亭主」を実作テイツシュ・インターナショナルデルショナル

た

する事になっ

は交流で は交流で十一月中間 後と云ふ事になつた 後と云ふ事になつた でする。 では交流で十一月中間 は交流で十一月中間

本合資 **資命堂**

新 聞 は電話四七六七番への不配達其他の故障

費本舗 大連市発育 R 洋

行

膜に 肝。

は

配真

肺病

カウツ川

bl

滿洲特約販賣と治療「御申込のガにまえり 特許ラヂウム溫灸治療器(並、薬) (減應症)

試し下さい のねだんはい 一队八

1. (第五回ねさげ) 升二十七錢

新米

たばた商店 ますから是非一度お

JA-12

H

大公開 R

京都帝國大學教授、文學博士

地 理

大

系

編

委

始開本配日卅月十愈

責分リ限に本配回一第

愛區芝市京東

を即形さ代を學造の中漫 認ちをれ地含術社:世然 め綸見る理む的のし紀た でを代にのの理畫はら紀め見り存原で書に到ば行 す則あた係底兎 ら而變るをるるるそも皮

(日年火)

本

系

編

委

員

教授·理學博

待

衆貫深ににを多入さ理羅 化しき単依一分子る學列 つ貫には可のす ロなな格主的目な冠の 者フ交何經は内上。るののイ錯圖緯現容純改もは ° 25 0

た主を新に用め今をイ通 て張附而同意ら回すン俗あと記か社をうのらス化 すン俗

る一すも所怠。企大タは

諸君よ、

用には大活字の詳し

國語辭書でガッチリやりませう?!

特鑄大活字

使用

(明るく、見よく、引きよい、理想的)

色

定

(較して、定價は極めて低く買ひ易い) (牧容總數八八、〇〇〇語を算す) (牧容總數八八、〇〇〇語を算す)

正地るへる等づた抱た我 確理科更まの我 。負がか なを學にで自全そミ今國 る専的各悉然領の努やに 科ら通地(景土計力我は 學閱說方寫觀內畵さか、從 的覽をに真かににを出來 知者附就にら存よ以版國識のすき收産すれて界土 を視るてめ業るば普覧。自一交地改 め興れ沿正等事日 味は革確の物本
ご造良 を本のな人即地の社書 す喚書三る事ち理刊はかる起は方解現山大行非之 もし我面釋象川系を常し のつ國にをに測け企なか

で、の亘加至海先てるつ ててるのは属く質形あ を把國種解し飛予に象る 加握民々説い行等合で しす生のと 。班の致め元 る活姿地さの指する來 且このを方れ活揮るか地 と眞正通は躍にもら理 書がの視説此に依の此學を出基して等依りでのの 江來調直にのる一あ企對 觀よ寫航流る すり真空の 鷹敢相る吾を寫技殊期地 むてここ人通眞師にせ表 。 ではこはしのがそずに ではよを我又多撮れし分 得が之い影等て布 ん本る國にのせの地す 一書の土伴はる寫理る 此にてのな甚と眞學質のよ有有ふだ、はの在

企りつす其悦所悉本の

文學博士

金澤庄三郎編纂

內容見本雖

1.8000C(-4) 8500

横小 野 非不太 共同

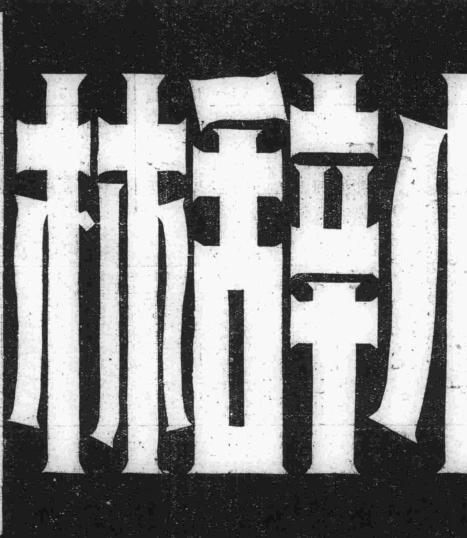
I. J. **建築協會三階** 士士 横小 介治養並乃

一、〇〇〇頁 版

携帯型辭書!! に重つた。上類、建製の二 は、借二倍・三倍・…・する は、借二倍・三倍・…・する を請って居る本書はその側 と請って居る本書はその側 ※(上級)二國三拾雜 の無縁自在。 **汉一個九十編**

近代人に近視眼の多い原因の過半は、 快 全大 貌活

ぬ。この觀點から畫の多い漢字も重大な國字問題である。 實務家諸氏よ、 ボケット型は携帯用に當て、 讀む文字に求めねばなら を字 見辭 勉めて机上 は書 110



總紙數一(新三六版型) (新三六版型) 大樓三寸六分 大樓三寸六分 現品全國書店に配布濟!! R 最新刊 定價貳圓五拾錢 發賣 內地这料 一册 十八錢

へ阪屋號

新

深名著 鐵 福電記を自己創造 五、寺屋県一書 12 代 科學思 假面と被天神 新

高信著自由

人社會學

滿洲社會事業研究會

一汗ミ感謝の生活 口工場に於ける安全運動口つれる〜漫談…… □労農霧國 を直視 最近學校卒業生の狀況 消費節約ミ生活改善 外曜 ·松村發太明 二宮家 出原 坂田 **美国** 大野絲一

公私經濟の

緊縮

EE

プラジル 五二計・支 移・収容順課 マ本説前金計文千名限「※ 獲益折人」無代願早 図五十年送替二銭雙 東京郷町周下六番町方つ 関五十年送替二銭雙 東京郷町周下六番町方つ

(=)

関へると共に各部局の一層の緊縮機底を測示した 一般へると共に各部局の一層の緊縮機底を測示した では、大き種は恐性感激し午前十一時代大臣堂に省内各局部長を揺撃し有り健き風召を が次を押した一木宮相は恐性感激し午前十一時代大臣堂に省内各局部長を揺撃し有り健き風召を が次を押した一木宮相は恐性感激し午前十一時代大臣堂に省内各局部長を揺撃し有り健き風召を が次を押した一木宮相は恐性感激し午前十一時代大臣堂に省内各局部長を揺撃し有り健き風召を が次を押した一木宮相は恐性感激し午前十時代一木宮相を召され、長くも現下の經濟界、 **労農の肚を見透**

經過、帝國の方針につき聞いた一章見後犬養氏は語る。

お尤だこ返事

犬養總裁語る

財部海相より軍縮會議の大體の大きい、各國の方針につき聞いた、智國一致之に當ちねばたらぬは勿一致之に當ちねばたらぬは勿べきのかららない、各國のかよら紹小した方はのからのような人。

單獨交渉見合す 南方と連絡して形勢を觀望

卒天派の對露方針

天脈は難職に交渉を行ふことを暫く控へ、南方と連絡して形勢を観望することになったとと、東は文那の時局を利用し労農に有利に展開せんとする政策を採つてをるため、「事天特電二十八日發」奉天派は最に開催した重要會議において禁電方針を決定した。夫によると「事天特電二十八日發」奉天派は最に開催した重要會議において禁電方針を決定した。夫によると 兵工廠來月から

專ら銃器彈藥を製造 有無に拘はらず、東北四省の獣時 「おかを決定するであらうといは 別に決定し離いと 『東京二十八日發車』 Pメドン海 野倉護帝國全概治越體大郎氏は來 寺公を訪問し全権受認の統勝をな し日本敬府の態度につき説明説繁 を求むる害 際に依り駅日代議士を失格した決定し、松端氏は議院法策七十七 **園公訪問** 岩槻全權來月

夜業を開始

諒解を求む 遞信省で研究

から、去る十月十日官既に重臣を 図の現だと云ふので小泉遞相は省今回のロンドン海軍會議に暴國一 ダン化が實現せんとしてゐる折柄今回のロンドン海軍會議に暴國一 ダン化が實現せんとしてゐる折柄。 東京二十八日發電】財部海相は 改正、際官服裝の改正等服裝のモージーの では、東京二十八日發電】陸軍服裝のモージーの では、東京二十八日發電】陸軍服装のモージーの では、東京二十八日發電】陸軍服装のモージーの では、東京二十八日發電】陸軍服装のモージーの では、東京二十八日發電】陸軍服装のモージーの では、東京二十八日發電】陸軍服装の

郵便脚夫に

日より夜室を開始し取ら続器弾薬の不足を関れ、数回委員 を開催して協議の結果、※月一 はまり夜室を開始し取ら続器弾薬の不足を関れ、数回委員

張特別區長官

吉林軍の損害

| 直臓|| 横氏に対しても同様招電を 大なものであると
| ちに自動車にて場内に向つた。 に差し船此外東北

に達し倘此外東北海軍の損害は莫餘萬元

代議士の缺員

十八名に達す

政友會大半を占む

事か活動中なりしが、右は去る昭和三年十月縣下饒荒郡小島町一郡 五千町歩を襲つた津海貨幣度 繁選出政友會に終まり、當時熊本事費五百萬圓に終まり、當時熊本事の約一割 別現金贈館せる薔櫞事件が愛費し たいめらしく、前配三名は遠から ず召喚さるト模様である

太平洋問題調査會に於ける

背廣服

爲とか自分の國を徒に保

福宝帝国政府の態度方針等につき の私邸に訪り誤解を求めたが、其整倉富閣 ・一八日午後三時には犬養寒裁を儲めた ・一八日午後三時には犬養寒裁を儲めた ・一八日午後三時には犬養寒数を信む ・一八日午後三時には犬養寒数を信む。 内に服装改善委員會を設け且下職

安達內相首相訪

の名地選舉情勢、減極の影響等を 二十八日宁前十一時減口首相を訪

一、資料資金は民間資金を主として、選信省案は尨大に過ぎるから、退信省案は尨大に過ぎるから

軍職永観に坐乗し朱塔を氏等を從

氏今回の既

へ漢口に向つた

反勞農運動

12

裁議代に対する探渉院と乗にして はなく金州に於ける故玉永江氏数 はなく金州に於ける故玉永江氏数 はなく金州に於ける故玉永江氏数 が郷式に参列の爲めと傾石新総 がの郷式に参列の爲めと傾石新総

ちは現在の世界の外に 更に水産工業を加へ四踝となし 大々その土地に適する課目を授 村の中堅人物となす様努めてあ るが、この質業教育は頗る成績 なでしいので邦人小単校でも一 かでしいので邦人小単校でも一 かでしいので邦人小単校でも一

があつた

蔣介石氏

事局及縣刑事職は約一月に亘り何

瀆職事件か

寄贈の件を随り十二時降去した報告し更に神宮競技に首相カップ

総選琴は來る十二月二十一日執行 小倉英学子遊去に作ふ子群職員神 小倉英学子遊去に作ふ子群職員神

子爾議員補選

る冒二十八日發表された

明治節礼賀會

漢口に向ふ

一十八日午後二時二十五分下闕**竣**

兵役義務者と

案實施 貨物運

癈兵優遇の方針

審議會は來月開く

【東京二十八日發電】鍛道省が前 一位旅客運賃をメートル線に換算す に旅客運賃をメートル線に換算す

ること」なった

埠頭主任級の異動

州鹽輸出

成績が良

同様 「東東市十八日愛電」司法省から來 「東東市十八日愛電」司法省から來 「東東京十八日愛電」司法省から來 「東東京十八日愛電」司法省から來 「日下酈査中の行政裁判所決、訴院 「なるであらう、然かも之をが改 の道が開け来るものとなし政民財 の道が開け来るものとなし政民財 の道が開け来るものとなし政民財 のがに見ても國家が賠償する事件は の権田法相常時起来は避滅三級内閣 の概田法相常時起来は避滅三級内閣 のをでは少の数となるべく經費も こ十萬圓程度に止るであらうと云 二十萬圓程度に止るであらうと云 二十萬圓程度に止るであらうと云 本に在り貴族院の大勢は人權派と なに在り貴族院の大勢は人權派と なに在り貴族院の大勢は人權派と なに在り貴族院の大勢は人權派と での第一歩として本賠償法案を談改 の第一歩として本賠償法案を談改 の第一歩として本賠償法案を談改 の第一歩として本賠償法案を談改 の第一歩として本賠償法案を談改 の第一歩として本賠償法案を承談

來議會提出 國家賠償法案 民兩派共に賛成

私的研究ながら 責任は重大

ける新渡戸博士の開館の離大要左り開かれる太平洋問題調査會に於り開かれる太平洋問題調査會に於 新渡戸博士開會の辭

今こそは我々の古い民族と新ら 平洋沿岸に生れた文化は今や太 平洋沿岸に生れた文化は今や太 平洋沿岸に生れた文化は今や太 太平洋の 舞蚤に見出さ

補償制度

明年度豫算に計上か

東京二十八日要電影 として明年度等原本に東京 原南 日本 として明年度等原本に東京 原南 日本 として明年度 を した。 右 として明年度 を した。 古 は 世 は 世 は と すること

州餘ケ國の權威を集め

懲よけふから開く

工業、動力二大會議

來連**用務** 來連**用務**

船舶金融家

至一萬噸級の大型の船舶に限る一、遠洋航路に就くべき八千噸乃 其大綱につき井上版相の語るとこれが、場所金融に関し略成案を得たが、

一 し 個別を を と の に 及んだが中央は 一 の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と の 職 と か に も な い か に も な い か に も な い か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す か に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な に す な

の外疑獄事件で收容中の代職士を 解奏す四、民政一、無産一名で此

匪禍共禍内爭相踵ぐ

實情

**せんとしてゐる、別ち続食中と十六名に塗し政界の勢力にも

訓政期第

一年の

中島代議士

下に直訴を全てた犯人の累幕 一月村郊戦闘に着み時の読政宮 大正十五年

代議士の失格

松岡俊三氏

職無職に参配せしめんとし張の反 事となり、象作哲学明温は廣西に を受け十七日には中央攻撃の通 が愛せられ改進が勢ひを得る 事となり

思想善導に 最も力を入れた 全國視學講習會から歸れる

村上視學のお土産話 省常局及び帝大、高師等から講劇思講習會には全國各府縣から 學習院長-關原館二郎

任宮中顧問官(一等) 任宮中顧問官(一等) 市豫算更正

本語 11、公司 15、公司 1

学習院長更失 『東京ニナ人日孁電』 職原駅割院

中 1 2 2 2 3 6 7 4 2 2 2 3 6 7 4 2 2 2 3 6 7 4 2 2 2 3 6 7 4 2 2 2 3 6 7 4 2 2 2 3 6 7 4 2 2 3 7 4 2 2 3 7 4 2 2 3 7 4 2 2 3 7 4 2 2 3 7 4 2 2 3 7 4 2 2 3 7 4 2 2 3 7 4 2 2 3 7 4 2 3 7 4 2 3 7 4 2 3 7 4 2 3 7 4 2 3 7 4 3 7 4 2 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4

送電線で四十萬國を投じた 長軽公主衛間器電線等機じた 長軽公主衛間器電線等機能工事は 今回完成したので器電を開始した なほ沿道の陶家屯にも電氣を供給 する診備が完成したと

長春公主嶺間

満電自動車

イタリー各國で膨大に擧行された際のローマ侵入十年祭は二十七日

伊國粹黨十年祭

十一月三日大連市役所主催で左記 の如く明治節弱質會を開催するの で希望者は同所庶務係まで申込ま れたいと ▲日時三日午前十一時半▲場所 大連ヤマトホテル▲會費一圓へ 大連ママトホテル▲會費一圓へ

本大 豆 (株) 型 (大) 型

大平副總裁戦迎會

一大平副總裁戦迎會では同縣出身の大平溝

「に於いて秋期態裁會を置す等で同

「に於いて秋期態裁會を置す等で同

「に於いて秋期態裁會を置す等で同

「に於いて秋期態裁會を置す等で同

「に於いて秋期態裁會を置す等で同

「に於いて秋期態裁會を置す等で同

「に於いて秋期態裁會を置す。」

「は、一人にて出席希望の方は出席を歌迎」

各派の單一化も實現せず

離合集散する現狀

崩壊して行

石に反對する改組派などいふ鸿中のによつて、必ずしも一致を見ずのによつて、必ずしも一致を見ずといふ現狀にあるのである。蔣介といふ現狀にあるのである。蔣介といる現状にあるのであり、その三主義となつたものであり、その三 量の如

ても、東北省の對露外交権になるとは限らぬのである。 ざるを得ぬのである。かくの如く やりに運ばぬといふ現實に逢荒せ やりに運ばぬといふ現實に逢荒せ

平漢全線

0

軍大深刻なる利害の

方面

0

戦況視察記

一百 元素形を經て南下したが軍隊無法。 大 が螺鎖薬の第四師が黄河北岸の新 ことした。廿二日早朝歐州に到薦したが 電輪司令部が設けられ構內一面に 、 北三日早朝歐州に到薦したが 電輪司令部が設けられ構內一面に 、 下が野寒で群には饗職組の を命ぜられたので十一日より後退 がからるが十二時後は戒敵令が布かれ を開始し驚緊若養鎖黒石陽以東に退却 をのをがられたので十一日より後退 を剛始し驚緊若養鎖黒石陽以東に退却 をのをがられたので十一日より後退 を関始し、一十二十一師の砲長は黒石 を開始し、一十二十一師の砲長は黒石 を開始し、一十二十一師の砲長は黒石 を開始し、一十二十一師の砲長は黒石 を開始し、一十二十一郎の砲長は黒石 を開始し、一十二十一郎の砲長は黒石 を開始し、一十二十一郎の砲長は黒石 を開始し、一十二十一郎の砲長は黒石 を開始し、一十二十一郎の砲長は黒石 を開始し、一十二十一郎の砲長は黒石 を開始し、一十二十一郎の砲長は黒石 を開始し、一十二十一郎の砲長は黒石 を開始し、一十二十一郎の砲長は黒石 を開始し、一十二十一郎、一十二十一郎、一十二十一郎、一十二十二郎、一十二年後は一十二年と、一十二十二年を表記。前 を変と行った、一十二十一郎、一一十二十二年を表記。前 を変と行った、一十二十二年を表記。前 を変と行った、一十二十二年を表記。前 を変と行った、一十二十二年を表記。前 を変と行った、一十二十二年を表記。前 を変といる。 を

陽の後防は五十三師、騎兵の第二 一四師は駐馬店に在り、前線は前哨 一四師は駐馬店に在り、前線は前哨 一四師は駐馬店に在り、前線は前哨 十三日何應鉄線監に隨つて許昌

向がある。この状態で進めば戦人 て極力簡化を蹴驟してひ田舎から都市へと移つて來る嬢 だらうと見られ支那嶼針を立てることが六ケしくなり勢 の秘密結正は自然崩壊 四北軍事勃發のた は 特人及外でであると 一時間では、一時間では、一時間では、一時人及外でである。 一時人及外でである。 一時、一方のでは、一方のであると 一時では、一方のであると 一時に、一方のであると 一時に、一方のであると 一時に、一方のであると 一時に、一方のであると 一時に、一方のであると 電に於ける軍事、行政、實業方配 を上於ける軍事、行政、實業方配 に對し非常な注意を拂つて居り、 に對し非常な注意を拂つて居り、 に對し非常な注意を拂つて居り、 であるが、野器内格部時派東北 であるが、野器内格部時派東北 であるが、野器内格部時派東北 であるが、野器内格部時派東北 であるが、野器内格部時派東北 であるが、野路内格部時派東北 南京政府 視察員來吉 0 義を第三線として防衛に常つて早 を第一線とし紫金鐵を第二線、 を第一線とし紫金鐵を第二線。 の張威が山上に土鉄で随地を造つの張威が山上に土鉄で随地とある地域に高つたが紫養村まで聞へる地域で前級に高つたが紫養より西元里の抄子山龍頭山には五十一師の張威が山上に土鉄で随地を造つ 五十一師の前線部隊は紫芝郷土地崩落等で西北軍の前線部隊は紫芝郷土地崩落等で西北軍の前頭部隊は魔が近に集結して居る故双方の距離は千里部りである、中央軍の飛峰は千里部りである、中央軍の飛行機は毎日朝洛陽方面に爆弾を御 電点体發」古林省域に於ける中等 「大学校の各校底に於て開演する事に決定し目下準備中であると を事態の演響會開催に飲き報に張 がサー日造省立郷・中學校及省立 の通りであるが、態々衆月八日よ の通りであるが、態々衆月八日よ の通りであるが、態々衆月八日よ の通りであるが、態々衆月八日よ の手に決定し目下準備中であると 理河流域の米國守備を 常に多いが、青年會でも脳を 常に多いが、青年會でも脳を である である である 温を要らせて居るのも已むを得いたが、私にない、直線の資本を投きて、米、国人の商窓に変更成って「大変」を要らせて居るのも已むを得して振ばない、直線の資本を投きない。直線の資本を投きない。大変にある差別では、一般にはない、直線の資本を投きない。 ヤンキイ の勢力が設調の大阪のでは関わ世間に知れ彼つて 館台味もある、特殊といへばコ 處に特殊の緊緊が形造られて居 近に配置されて居るそうだ。 ンの基督青年曾も變つて居る 募集の演藝會軍隊慰問資金 將卒を逃遭した米國が、 場別の耐酔郷に給奥の比較的 調行人が頻繁である、篩つてこ れだけ安息日の市中には軍 こ連絡の疑ひ してゐた哈爾賓監獄勝師ラー 故澤幡巡查部長 の米國守備に 橋支局、大連新聞大石橋支局、大石橋地方事務所、大石橋市民大石橋地方委員會、滿洲 十一月隨 服婆の なの るが、私は単の大手にその一般を 弦に説明して見たい、運河といへ 保養土と並んでパナマのそれは世 別交通界の二大事業だが、そのいった。 これもが俳優人の着想に始まり、 の西南方十餘里の地に西北輪兵が約一萬人であるが最近西北軍は攻約一萬人であるが最近西北軍は攻利一萬石陽には北韓は攻攻が 停止状態であらうと 摩止状態であらうと てふ大活戯は他動的にこの筆運を大活戯は他動的にこの筆選を地見を開発を操化せしめた。之は大きないので、世界戦争の登場で、世界戦争を発行した。 道ちに近世文明の中國が拉丁民族 一位などは興味ある問題であつて、 たことは興味ある問題であつて、 でとして興味の引有に踊し、 これで南京政府代表のヘルピンに 特特別列車で南下、南京に別場た 震陸夢熊 大一行は 廿五日午後十一 東陸夢熊 大一行は 廿五日午後十一 防標準地を築き嚴重に防備して居所開展路の軍用車で汜水に赴いた 藤士道河の買收に依つて英國の印 を一下で著しく所閣を極東に擴張す を一下で著しく所閣を極東に擴張す を一下で著しく所閣を極東に擴張す を一下で著しく所閣を極東に擴張す 同夜鄭州に引返したを撃退し其後一向進撃を見ない 裡に聴移した象徴だといひ得る。 の手から、アンソロサクソンの掌 陸氏一行歸寧 の大理想に向っ 時計技師人用委細照會 女給 入用十八歳より計五歳迄 女給 入用紫油第二市場横土木 朝日廣場 旭亭 電三四五三 朝日廣場 旭亭 電三四五三 東京 電三四五三 東京 電三四五三 東京 電三四五三 市内但馬町二〇 女光 宮 市内但馬町二〇 女光 宮 神内但馬町二〇 女光 宮 標等 (第一次) 第一次 (1) 第一次 (● 注行一回金八拾五錢 ● 放 履 度金 九 拾 錢 ● 五行一回金屬國五拾銭 ● 五行一回金屬國五拾銭 大連市大山通 小林又七 女給 家質四十國家質四十國 医中洋六家具付日當胱良 社員 招聘固定給支給 西通三五電六六六三大連察西通三五電六六六三大連察 **不用** 品高價買入れ頒報次第**3** 大谷商店 北六軒目とモ 市內但馬町二〇女 榮町二質廿二週 佐々木 電像下榮町通三階八、四 東自動車線習所電二二三四五 「本運轉手祭集速成簽成合連市大山通」 小林又七支店 満日家内 數島町九品食堂 家 **建紙** 機中に家庭向徳用の生涯 ・ 常陸町 渡邊商天 電六八四一 電話 壁をせずに貸出 西通三五電六六六三大連条内社 電新回電買並に金融は 電新回電買並に金融は である高價買入月賦版 完員 は没速町鈴木 ライト宮属館電三六八八 ライト宮属館電三六八八 ライト宮属館電三六八八 フィルは豊夜撮影の大連浪 生学 ならずこれ 日露洋行 中勢町八九電七七七二、九四八四 伊勢町八九電七七七二、九四八四 名別 スグ出来ます 名別 スグ出来ます 東部電子四七一 東部電子四七一 野 競 田本タイプライター印書 東京の七一 大山道(日本橋近) 吉 野 競 田本タイプライタ會社 信用点質 **婦人** 病 傷 古本 顕度勉强して頂升 顕度勉强して頂升 提灯 常木丈太郎 電話四六二九番 電話四六二九番 金融 がロ月域又は日掛にて 通す◇櫻花豪嶺前莊内 金融 儋 保 迅 速 化废并 牛乳 パタークリーム 牛乳 高度 支那服の準備有日本播際 大連寫質館畫夜撮影男女 吉野町の 婦人 病大連二葉町六○ 病大連二葉町六○ 鈴木丈太郎 電話四 モミ ゴム印の御用命は EP 大連劇場隣根本薬局電七八六二十分及體語の特 薬及治療 大連牛乳株式會社 大連牛乳株式會社 業務では 第三ますや 電八四九八 第三ますや 電八四九八 大口貸金及手形割引 大口貨金及手形割引 大山通五 大山通五 | 神文歐文タイプライター 金 品親切本位買受 なら大正牧場 療治御好みの方は の御用命は 政一 電七七一四番 工番地前川商店 工器地前川商店 自二百一番の外ののであり、 電話四六二九番 電七八五九番 ラギ オ海洋大・関ラ四十関沿 ラギ オ海洋大・関ラ四十関沿 本狭月城販賣 本天浪速通 門永洋庁 五球 ニュトロンダイン 高級優秀品品補修理 部分品は格安實用品 を質用品 とり百五十圓迄 習字 諸貨物運搬 三順二順一順性の貨物自動 三順二順一順性一順限の貨物自動 ラヂッ 艦甲 質盤の御用命は 古憲町 たじまや電六六〇一番 御買入報參上 貸衣 ラデ カ朝 研羅定地委託品販賣特別 大連弩城町通五八 す。 大連弩城町通五八 す。 **小島** 網島其類一式 網島其類一式 二〇一A定價一圓 一九九、一二一式圓 蓄音器修繕は // 井 常盤橋河島ミシン店電六六八四 大連市浪速町五丁目ニニニ 等 群 職 用 町 地內 電 法成教授畫夜 朝九時より夜八時迄 朝九時より夜八時迄 朝九時より夜八時迄 オは何で オは何でも大魁 ガーミシンは常盤揺 電八七二二番 さかひや電番音 健康 増 進 療 法 (研究生1、二名采申) (研究生1、二名采申) (研究生1、二名采申) (研究生1、二名采申) (研究生1、二名采申) ホネッギ 近金 刊 日本地史の研究 はマッサージ院 特計を を理は を理は を理は を理は を理は を理は 學一博士 物理學發 性體及流體の クトルとテンソル 助論と見て、『こかの『もからの記念とれ、 され、等の概念を加合、大等の概念を加合、大等の概念を加合、大等の概念を加合して物理的意義 とれ、等の概念を加合、大等の概念を述べ、シュレインシュタイン は、シュレイン・シュルー・デンガー 最近に於け 及 洋 屬地史の 猫 0 岩崎重三氏著 及流體の力學玉城系十郎氏著 金屬 鍊 三枝彦雄氏著 Ø 金 門專 通 研 材 力學玉城嘉十郎氏著 究 術 論 本多光太郎氏著 論 三枝 彦雄氏著 電話の国際を変えている。 **東京大四四一番** 且阪 本多光、太郎氏著 **性病** 軟幣下疳 山田 光雄氏著 近重 濱住 松二郎氏著 遺住松二郎氏著 野中醫院 皮膚病 東小身際局 3 **舅** 位氏著 流質品 · 美型 · 大口:特· 勉強 · 一郎氏著 ▼ 2四六倍判上製飯入 三十六銭 明路六六の六日 法價法價法價法價法價 八 三 五 五 六 法價法價法價法價法價法價 四四三八四三 一0二五二五三0二0二五 七0七0六0七0七0 二八町濃信市建大

一石二鳥的の横槍

三のカバレイがあつてジャズの晋を買いて東洋瀬分をそゝる、パナマは支那人の盛んに入込んだ地ナマは支那人の盛んに入込んだ地 等の掌理に支配されて居るさらだ

人、殊に前者の活動が目立つて花が、之に次いでは印度人アラビャ

市中見物 にと出掛けた。 クリストバルとコロンとは町譲きの機市で、共にマンサニョ島の一様に建設されて居るが、此酸も今は埋立工事の爲に地域に駆がれて居る、人口約四萬の都會だが、大居る、人口約四萬の都會だが、大時、規模廣觀、名ある翅楽物がは、規模廣觀、名ある翅楽物がは、

地とて三々五々往來する京み客は終 相當の賑はひである、暑い土地柄。 とて三々五々往來する京み客は終 とて三々五々往來する京み客は終 て奇觀いふ許りもない、街毎に二橋列を成し、總ゆる人種を網羅し

南征雜錄 (19)

はれて居る、海岸通の夜の店司に知らず学値位が至當の取引だとい 【古林發】間島局子街駐剳延吉鎮 劇場が出没して氣味わるいが、其 は眼附きの鋭い勢働者や、黒人の

赤化取締通令

呼ばれる程しかく満洲の、中で 大連の運動界は日本的に有名と

服ピス就陸野 野装が、上 類ボー 競技球球

約約約約約約約

野は知る事が出来ると思ふ、野は其の戀でではないが、大體の額を賣つてゐるから前榻の數の額を賣ってゐるから前榻の數

事を考へれば此の配

礼程の運動具を消費してあるる。では一體大連人場州

ファンから、一種のあこがれを以 共日本内地のあらゆる運画家から ない。さらした名は少なく

用具か

ら見た

上で域であるが、此の中約一部上で域であるが、北野等に配給せられる、然上をして奉天、上の本のののでは、主として奉天、上で域であるが、此の中約一部

滿洲運動界

山本ミ體育堂だけで

長春、撫野等に配給せられる、然 ・ 直端買ってゐるし、三井物産、 自分のテニス部が使ふ健球を直接 自分のテニス部が使ふ健球を直接 自分のテニス部が使ふ健球を直接 自分のテニス部が使ふ健球を直接 自分のテニス部が使ふ健球を直接 自力のテニス部が使ふ健球を直接 を直端買ってゐるし、三井物産、 に金銀行、日本郵船の三ヶ所では は、三井・ケ年百 でし、市内部所に散在 から、大浦雪 でしてるるし、市内部所に散在

一年の賣上高が九萬二千圓

ある

軍の伊木、雨森南氏占め何れもた交個人職では一、二等とも率

閉會した難その成績は左の通りで山なす賞品が援奥され午後四時頃天軍の伊木、頭索爾氏山め何れも

满

奉 天(阿繩久賴前 居之

糖東即ち筆を取り紙上に畵かきて総協之に登し織いで其圖案を問ふ

時孫文、歐洲に在りしが、此趣に で章が際、蔡元培等の此事に費するあり。志ある者皆日本に留學し を命の類全支を離ふ。日露開散の 中での類全支を離ふ。日露開散の 中での類全支を離る。日露開散の での類全支を離る。日露開散の

他の一本の職色の長方旗に同じく

破天荒大減價照碼再打九

意を引きつくありと記し別に蓄音機を以て往來の注

(裏) 取締饶言滅價本號確實質 正大滅價

記し第三も同じく黒板に

今中諸君は挺身職務の爲めに殉 会中諸君は挺身職務の爲めに殉 感慨の情を表はす言楽無きや恨 感慨の情を表はす言楽無きや恨 が、今中吾が製郷所員は擧げて 弦に集り諸君の靈を迎へ祭ると である。本捧げんとす翼くば 水が變けよ

察を了へ十一月一日南下の豫定東大野間教授は本月三十日來哈視

表がある筈 経島滅鍼再務所長は十八日歸哈本 変島滅鍼声務所長は十八日歸哈本

柔道大會出場

君贈 第一張 請買貨兩元

意豫無安留

來快買吧

失勿 良 機

酸山製鐵所長・千秋昭和四年十月二十七日米が饗けよ

寬

を モストワ新城大街の角に開舗した 三十六棚居住李某が八歳になる子供を人質に拉致された二萬元出せ は際放するとの書面が届いた、同 海隆で儲けた金が一夜のうちに消 を なた

二十天 特別大減價照實碼再打九

會を極めて九時散會したと

0

用、体愚見百姓困於虐政已非一都笑我為病蛇族、則爾族屬不可都笑我為病蛇族、則爾族屬不可都笑我為病蛇族、則爾族屬不可以,用黃色著比得同帝王一樣

と、青天白日旗の起

辰巳午未申酉戌亥的 民巳午未申酉戌亥的

就是子丑寅卯

華々

全 保 之二 木井下江 5 部田田田口山口 5

十二、民國旗の

助 教 授 授

治

蛙

を意味するなり。とはよって見れいませられたり。之によって見れ

(要) 打倒虚偽拆扣本號確實員

文言つに分つ。第一は三枚の紅い 文章料品店第一部香村は先づ 集解、蜜酸糖果南貨茶食店 無解、蜜酸糖果南貨茶食店 無解、蜜酸糖果南貨茶食店

十三、中國商店近

代的割引廣告

文が関係が高店の割り展告は紅の 実を何處にも用ふるは目立つて見 ゆ。 ・ 近来収締打倒等云ふ言。

紙に

特別便宜

禮物俱齊

場は、東に大多山を極端を 場はりは、東に大多山を の職務に精働せられ環境なる自 が、高端として四方を歴する場合として四方を歴れるの心質不断の努力は日日 服するの心質不断の努力は日日 最高が製練の成敗は諸君の勤劳 に豁射し日を深く感謝せり に豁君の此事業に関する功績は といる。 といる。 といる。 といる。 に認力を歴する場合と といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 にいる。 といる。 といる。 にいる。 にいる。

明 伊藤公逝さて十年の追悼會は十六 1 北殿裡に式を終了したが、ハルビ ソ小學校の各壁生は先生に脱落あり 1 小参校の各壁生は先生に脱落あり 1 小参拝した

れる壁の螺った 書記長司会者として接渉あり報告 といる 大型 は、水江時事、綿貫安新、草野瀬倉、市教師職澤廣澄師の「ブラジルの「ブラジルの「ブラジルの「ブラジルの「ブラジルの「ブラジルの「ブラジルの

藤公追悼會

日常後後孫文関東に到り、歌部臣として談國旗の事に及び陸皓東首として談國旗の事に及び陸皓東首として

衆叉光十二の意を問ふ。皓東答へ

出叉光出叉光のでは、中心有太陽に生太陽之等有十二角、是太陽に生太陽之等有十二角、是太陽に個之を示すに

に顧客を引つけやうとして居る。
しく進歩し、重に軛新な趣向の下しく進歩し、重に軛新な趣向の下

巡即來臨請購試 區情起見、三星期內好

記し第二は黒板に白墨を以て

禮品供全

一二の例を擧げて見るに

既に會場は立錐の餘地 の應接者集ひその他継続は閉弯前の應接者集ひその他継続は閉弯前のため沿線から多数 三 野繩阿田嶺前瀬 しく擧行さ 政府方 澤園本〇 東方入實管

醫大と奉中が **次勝戦出場** 州外ラ グビー

一等奉天〇

原森(奉天)

二十六日夜の强盗逮捕に置して 特別の勇敢なる行動により强盗現 を逮捕せる由その勞を多と す」といふ賞電があつたと

される際現在支那領人には野地されてあるが附属地内には野地方を用本電源の野金を跳りには野地方を用本電源の野金を跳りには野地方を日本電源の対きは今や全く映産に瀕りたしてあたがその成行は注目されてある。

輸組加明

盗店で

石射總領事招宴

マッウェート政府から東鐵沿線居住 のソウェート人民に對して来たと、獨 逸經領事ストルベ氏の手から配付

吉

鞍

Щ

現金

一買割引

十一月

日より年中實行

の他の決議事項

を前日に増し餘興多く處況を極めた。

込みである 働いた事を自白したが餘罪ある見 北陵別邸で の豫選

無順に於ける補繼々道部營業談主 順列一般に耐物、貨物等の模職衛作 法を示せるものを二輛の列車内に 強列一般に耐物、貨物等の模職衛作 法を示せるものを二輛の列車内に 強列一般に耐物の完全な健聚法を 示すもので頗る有益なものである

の挨拶に大き各等人の謝諦あり露。 暖寒良氏は十六日午後五時頃北陵町 を開いたが暖寒良氏の開會 で大きる では、 一次では、 一次で 大晚餐會 良氏の催し

は州外側より圏大と

すに行た

るとに決定し午後四時軍閉會したは州外側より醫大と率中が出場す

本林總領事 北滿地方を視察中の處計七日午後一時半濟急行にて處計七日午後一時半濟急行にて處計七日午後一時半濟急行にて歸率線にて來率本線にて來率本線にて來率本線にて來率本線にて來率本線にて來率本時上氏(市京政府慰問使)廿七日帝積濱より歸率七日帝投春へバーレー氏(元フィリッピン總で、廿六日夜長春へで、10十六日夜北季とりの一次日夜北季とりの一次日夜北季によりの一次日夜北季によりが下る。

まで一

爾賓より來奉楽島哈爾賓事 1夜北平より来で、(元フィリッパ

突

七日哈

無順霧震二十六日十七時十分項大官屯縣西方約三百米突の地 監にある路切内に於て何故かボカ としてゐた四頭鬼の荷馬車と衝 突、馬車は粉後塵馬一頭即死お蔭 突、馬車は粉後塵馬一頭即死お蔭 で客車は三十分延養過失は同所が で客車は三十分延養過失は同所が

之

(四點)

兩稅で華商壓迫

附屬地入口に頑張り

二重課税を課附する

娼と高

一、協議委員會可會者の事 一、協議委員會は組合理事可會者と する事に決定す 一、委員會定例日の事

昭和四年十月二十七日南瀬州鎭道株式會社会を表現の年十月二十七日

加盟店蔵ざらへ品共同康賣の

國軍君薜有財君の英靈を祭る一郎君深見編一君山中繁一君任一郎君深見編一君山中繁一君任一郎

本日茲に祭壇を設け離而所友たる

の連續結合を策し並びに加盟店標準非合の協定及び加盟店一層機準時の協議委員は現金朝記一の協議委員は現金朝記一、協議委員設置の事

最近無暇緊附屬地内に於ける中國「対法は各特産物、各種的品に對し、一方法は各特産物、各種的品に對し、一方法は各特産物、各種的品に對し

到る所の附屬地入口に残損局員が一般」を課し一度び附屬地内に入る で課し一度び附属地内に入る 一時で財 の 「出産」

一個十銭見當の球が二千數百圓も で、山本共大體に於て賣上金額は で、山本共大體に於て賣上金額は で、山本共大體に於て賣上金額は で、山本共大體に於て賣上金額は で、山本共大體に於て賣上金額は で、山本共大體に於て賣上金額は で、近点の金額を山木では賣別いてある。 では、1000円 では、1

山本はボール(山本製)である、 のでは、一つ一つの値段は硬球が が、一般に安慢に終しめる関係か の音遍化してゐる関係上全額の七 の音遍化してゐる関係上全額の七 ので、一般に安慢に終しめる関係が で、可と言ってもまだ較 で、可と言ってもまだ較 で、可と言ってもまだ較 で、可と言ってもまだ較

すので大いに力 健康するであら 健康するであら

大孤 が所長の弔辭 山遭難者の社葬

剣道大會

修養團講演會 ▲第四競馬 取消し ▲第五競馬 昭和四年度 抽籤馬 八八分の七哩ご分六件五分の三 一着小鵬、二着水天、三着絶財 ・ 一着小鵬、二十銭

だし、 委細は 次回の 定例 會にて 接の下に十一月九日 康賢を行ひ 加盟店職ざらへ品を集め組合後 晨業實習所の 第一囘卒業生 けふ終了式を舉げる

北滿視察 報告會

型に於て開催され職業は空にあふっ は二十五日午後七時より安東公會 は二十五日午後七時より安東公會 診斷成績良好

多少遅れる

美。 颜

0 白世

は 純 粹 無

ます。そしてその後を今一度

美を

御注意に就て…

著るしく

顏湖

品。秀、優、的、學、科。な 心。安心

という美顔 ▲お顔の爲一番よい・ ▲皮膚の美ご荒止めに 粉 715

光顔の水は飲み水にして差 なるべくならば微温場にして なるべくならば微温場にして 容色の美を十分に養揮せられば料學的に優秀な品を選んでは料學的に優秀な品を選んでは外界ので 洗顔用水に就て

御愛用のおが益れ 多くなり ました!

▲色の白くないのが自然にかくれ…

美 預 粉 白 粉。

(、た)、 の頃は少し位は暑く感じる褶穂が登り柿の色づく今日 山に散策するによい時節 皮膚は磨きさへすれば綺麗 でなるものミ思つて石鹼をタ でなるものミ思つて石鹼をタ である。 は男子方ミ違つて柔かく且つがありますが、婦人方の皮膚

" 實

冬になつて荒れて、お化粧にした肌も手入れを誤りますこ が、又一方折角美しく恢復 は顔の爲めには(洗顔の時でも)石廠よりも たれ浴の時でも)石廠よりも たれ浴の時でも)石廠よりも まれるのですが、特に美顔洗 中せるのですが、特に美顔洗 りなとしている。 売がます。ごちらかこい。 洗ひ方をなさつては却つて!!! なれば申し分がありません。 で溶いてゆる 大切に保護なさいますやうお 大切に保護なさいますやうお 大切に保護なさいますやうお 大切に保護なさいますやうお

も、垢ヌケして美しい素顔に のあまり綺麗でなかつたかで のあまり綺麗でなかつたかで ますこ、これまで素顔 はなりますこ。 素顔の美しさ

お化粧の仕上げ

株用美顔水で温したガーゼの で今一度丁寧に押へ、更に化 で今一度丁寧に押へ、更に化

方をお好みになる方、然ういいうなおのでは自然では当る方、だこからな方、ごこからながらなが、こかがら、このではいるが、だこかがら、このではいるが、だったが、 白さを好む方

▲色の白くない方の白粉ー

婦人美の中心となる 頸化粧や吃度 大に白粉に就ての神に意でありますが、この性の方は書面の白粉では脂肪が自粉を弾がわる、また脂肪の白粉では脂肪が自粉を弾すいものですが、肌色素質水でする獨特の美容成分の作用で、さうした欠點を完全に補配で、さうした欠點を完全に補配で、さうした欠點を完全に補配で、さうした欠點を完全に補配する。

多いやうな方の方の PROTECTION OF THE STATE OF THE

で活々とした上 のない水白粉! 歩ヌケのする類 現はし生地まで 品なお化粧美を す附けるだけ

にお化粧の 手早く上品 出來る自粉

適 切。 上品なお化粧に

御實行を願ひたき事ごも素顔の美を増すためゼヒ

洗顔の仕方に就て タオルで丁寧に水分を拭きこい事でありますから、柔かい 化粧川美顔水を(クリーム)つたら、そのあこへすばや ですが、素顔を外氣にあてる後には兎かく然うしたいもの 快いもので、洗顔や入浴の **流顔後の御注意** お湯でほてつた顔をひんや

ます。白粉が一通り附きましたら牡丹劇毛でその上を押へてよく落附かせ、それが乾いてから、やはり薄いめの白粉を前のやうにして今一度でもを前のやうにして今一度でも塗ります。 次に美顔クリームを極く少 量指先にこつて兩葉でうすく のばし、それを萬遍なく顔に りご含ませて丁 の上をそつご押へます。 の上をそつご押へます。 りこ含ませて丁寧に顔に塗り「白色美飲水の薄いめの所を白色美飲水の薄いめの所を 白粉の附け方

で、之を顔に附けますこ、こで、之を顔に附けますこ、この微妙な肌色が皮膚の色にびつたりご融け合ひ、そこへ活いこした美しい白さがシックタこした美しい白さがシックリこノル…こいふ具合になりますので、色の白くない方々なった時のやうな態ごらしさ つ白すぎず、誠に自然な美しか少しもなく、キジから白い

ります。白粉こしての作用のもます。白粉こしての作用のもます。白粉こしての作用のある事はが、また。 ーお化粧が出來るので れを土臺三してお化粧なさいます三、この性の方の大敵である化粧崩れを防ぎ、また一 お化粧を一段ご引き立たせま面皮膚をキジから白く見せて 白粉を一面に刷きつけて、 **斯ういふ方々は水白粉をお**

一粉に白ぎいなの類またね銀かを水ま粧ぎ化け一

お顔の手入れ

▲上品なわり化粧に

育"

粉。

くお洗ひになりますやうお勧い くお洗ひになりますやうな純粋の化粧石鹼を掌で十分泡立たせ、その泡で煙で のやうな純粋の化粧石鹼を掌

て、顔も頭も入念に拭いておが上せか脱脂綿の小片に附け で洗顔がすみましたら、柔か前に述べましたやうな仕方 こつてから、化粧川美顔水をいタオルで十分に水分を拭き

下地の拵へ方 を知れませんが、然ういぶ御も知れませんが、然ういぶ御も知れませんが、然ういぶ御い配でしたら絶對に御無用であります。なる程、この水白粉は書通の白粉ミ違つて淡い軽い肌色味を帯びてるますが、この肌色にこそ學者の特に深い研究が打ち込まれてあるのい研究が打ち込まれてあるの 化粧が肌色になるのではない肌色美顔水ご言へば何だかお別が

白くて、本常に慎ましやかな 気しさこ中すここが出来るの な方々は、肌色美顔水の瓶を多く振らず、徐り濃くない所をお附けになるのです。然うしたお化粧上りの白さは、真白すぎす、落附きがあり、上記のするがあり如何にも清らかに なりますが、右に申したやう はそれを二三度重ねて附けるよく振つて附けるこか、また

やうによつては、即ち、瓶を がんでお川ひになつてるます 肌色美顔水ミいつても、附け かったようになってるます

全の方がずつご美しく附き、 を一度に塗るよりは淡いめに でいたのを二度か三度重ねて でいたのを一度が三度重ねて 一度白粉を塗つたらその後を重ねて塗るこ言ひますのは、 また保ちもよくなるものです。 よくく一御注意なさらねばな がわるかつたりする三殊に目 誠によく見い、お化粧の具合いにくく、そのくせ他人からは い。頸筋は自分の日には兄に

すからで、こりわけ此自粉を 化粧川美顔水でお浴きになり ますこ、自粉が質にすらり こ思ひのまゝにいふ事をき いて、これ迄にない良い結果 が得られますので此の仕がが 得られますので此の仕が 上品に美しく、生れつき生地 この白粉は他の白粉に違つて お化粧上りの白さが如何にも おいか はいの はいかい また おもして特に頭化粧用されてる 製造されたもので、鉛書や自 製造されたもので、鉛書や自 製造されたもので、鉛書や自 から白いやうな美しさを現はから白いやうな美しさを現は 美顔白粉が廣く賞用されてる。此の頃頭化粧用こして西珠

そして大へん保ちのよいそれなさいますこ、誠に清新な、

い色

質の

の白

方でくな

のある時でした

顔になります。併し少しお暇で十分で、和當綺麗なお化粧

0

Ŕ

な

を

せ鏡をなさるやうにして下す。

頸化粧を美し くするお心得

顔水が肌色美顔水を一寸す早いふやうな時でする、白色美

いふだけ

お化粧をしてるる暇のないこ

いふやうな時

落附いて

徐分の白粉を除り去りますか 、附かせるこ共に、浮いてゐる

種の仕方について

マ、突然のお客様でで は忙しい御用の合間なごに一人の平常の軽いお化粧こか又 さて次にお化粧ですが、ほ こ、白粉を一層よく肌に落ち 小片で自粉の上を軽く押へて

皮膚の為にも良い

を落した素顔の綺麗でない方常に清楚で綺麗です。お化粧常に清楚で綺麗です。お化粧 が整つてゐるためお化粧が大で表してなま、お化粧の時は生地でた方は、お化粧の時は生地である。

勿くてお化粧菜にする

前に氣の引けるやうな事はあれて粧なしの時でも決して人 三共に、また素顔は素顔で伝 メケして美しいのですから、

そして、窓、最後に、美しいですの美顔粉白粉を少量、粉白さの美顔粉白粉を少量、粉白さの美顔粉白粉を少量、粉切りのできませ。 同時に皮膚の美

斯うしたお化粧は非常に清 類すものですが、殊に白色美 額水は白粉であるご同時に、 度膚に弾力を與くさせる作 皮膚を活々ご美しくさせる作 皮膚を活々ご美しくさせる作 なさる方は、洞時に素態の美 なさる方は、洞時に素態の美 なさる方は、洞時に素態の美 なさる方は、洞時に素態の美

面倒がらずに凡て顔の手入れがいる。 これでは、本を附けて肌を垢ぬけさせ、キを附けて肌を垢ぬけさせ、キを附けては、 であります。洪顔や入浴のなであります。洪顔や入浴のな 良質の化粧水やクリ

をそのまゝに丁寧に延長して ても自粉が一番大切である事 は、お化粧上りが唯白いこ云 な、お化粧上りが唯白いこ云 して必ず鉛分のない安心なも自さが上品に美しいもの。そ のをお選びになるやうお勧め ですがお化粧には何さいつ

白粉が適切か? 頸にはどういる

ありましても自粉が斑になったり、剝けたりするやうな事がありません。 人方の間には、やゝもするこ のありますのは大へんに惜し のありますのは大へんに惜し

てからまた白粉を塗るこいよ

風になさる事です。斯ういふ も別段しにくい事もなく、ム も別段しにくい事もなく、ム うなく、剥けず、生かご美し く上ります。

手入れが肝腎

あぶら性の方やし 入顔がれる。 美しくする為めに

年ばいの方にも

▲落附いた美しいお化粧が出來ます

優美な頭を恵まれてゐる」歌 次を御覧下 べんはかう言つて美むく

3 我が國の婦

▲王早く敏活なお化粧には本品を! ▲上品な清新なお化粧には本品を

昭

エヂリン物語

信で話をして見やりと解信をし

ない」と主任は汽車で次の**隣**に何か變事でも起ったのかも知れ たが少しも返事がない「こりや

かけつけて見ると、エデソンは

高いびきで限ってゐる。それに

電信室のベッドの上にグーグー

號を送ってあたのは不思いだと

分毎に正確にAの記

思ひながらヒヨイと電信機の方

主任は関だったので次の際と電と喜んでみた。ところがある日

ンく怠けないで

(四)

る

2

•

•

•

•

9

a Ko

千

•

•

彌生高女北支那旅行記.....(II)

騒然たる都會を離れて大海の中に多低く飛んで行く――

自然の美しさ自然の

物珍らり

異國

の情景

流れて行く様だ。

海水が黄色に、にごり

連鍵される。

「まあ素的」「まる素的」が盛に

智

酔って居る。

其の中をねり歩く人々はみん

の中に生きて居る事をはつきりと 大きさをひしくと感じる。自然

く西洋婦人

つけるショーウインドー快活に歩

四

百

て居る。

五年生

野

光

子

十二時一

白河にか」る。どろで

天津の町の印象

せられる驚はなんとも云へない魅

五時十分

やちやく水平線がは

ハンカテをふつた、陸地の人を見を着た支那娘が立つて居る。 みな

作つた支那の家の前に真亦た着物

つきりして來る。

て來ない。

渡の下には緑の海草につゝまれて力を持つて居る様に私は思つた。

價白な御殿が立つて居るのではな

うすら窓い風が身にしみる。星の 洗配所もにぎやかになつて來た。

星での

平気がよ絶

絶へると見渡すかぎり厳い

つた。

たなつか

四時十分前

は相變らず油信を怠ることが多 を與へました。しかしエデソン

いので、ある日主任は「どうも

つてゐた。主伝も今度はエデソ

思つて

い」とおつしやつた事を思ひ出し

•

エヂソンの居る次の際には電信

洲

ら電信のかくつて來るのを待つ の主低が居ていつもエデソン

て歯信を打つのを怠けるので主 て居ましたが時々居眠りしてる

は幾度となくエデソンに注意

B か十五歳の子供の電信技手になることが出來た●館 が豊の間除りに一生懸命勉強す だ。エヂソンの仕事は列車の通 過した時間を電信で次の瞬に知 るので夜になるとつい眠くなつ 置間の間はまる切り暇なのでエ らせればよいのである。だから ることが出來ました。ところ

にグウく一高いびきで眠って 汽車が通つて行つたのも知らず て、エヂリンはよく電信機のそ しました。そして の中は正確にAの記號を送つて 据らないので何かい、工夫かないので何かい、工夫かないかと考へてゐたがある日いながかと考へが浮んだっそれは時間と よ」エヂソンもこれに

つかの感心してしまつたさ

未元

ヒユウく~原しい風切つて二輪車に乗るのはゆくわい

號が自動的に發信された。主

ンの知識のあるのにす

失 世 集 地 東 東 東 正 年

自動的に發信された。主任。 鳴つてそれと同時にAの信

は正確にAの記號を次の驛に送 民眠りをして居たが電信の機械 つき様がパタリと倒れて電信の 散がチェンと三十分のリンを打 関信機の間に機械をしかけ、時 した「これでゆつくり居眠りが 始まりま 競技智はいよう 能岳城小學校蕁六 した。

ある人の世話で鉄道會社の電 ろで君が眠くならないやう 通信を窓つてもらつては私るそ のAの記號を僕のところに送り の爲めに汽車に事故が趣るやら なければ居眠りをしてゐること ら毎日三十分毎にモー でエデソンは眠くとも居眠りす 石し三十分毎にAの記號を送り ることが出來ない。それで始め い方法を教へてやらう。 主任にわかつてしまふの いゝかい、三十分毎だ は困った

を見ると丁度二十

等になつた 兒 童の しる 作品

はじめはヒョロノ

うまくのつて 行くんです チリンとベルならし

ばで展眠りを

でたまらないけれど、何時か校長 生が「競技に出たら、まけ勝な ど考へないで、だいじやうぶだと 突となると胸がどきくして心酷な私は百米突でした。いよく百米 走れば、まけることはな 山本幸子 \八時三十分から 朝夕乗つて らんどうします すつてんどう

起るコースの上には人がいつばい てつくじをひいたら十と書いてあ 出て居るので急に心感になって來 コースについて向ふを見ると私の つた。それは八番コースである。 た。そして「だいじゃぶだ」と思 「あの人たちが私が走つてゐる ときじ やまになったらど うしよ 「此のコー

はしたが交出てくる。私は走る時と言つていらつしやつたので安心 う」その時体験さんが走って行っ 出て來た人はスパイクでふんでや 佐藤さんは「若し走ってゐる時出 走りなさい」とおつしゃった。 てもいゝから一しやうけんめいで て來た人はスパイクでふんでやつ つてもかまはないと思つてゐたら スは起りますからの

りません、む中で走りました。も一般しました。走り出すと何もわか スにつきドンで出 PA.





界フランス租界等美しい町に入る角をまがるとボドイツ和界英國租 の魔り、美ひ陰、赤いともし火… 赤い支那モダンガールが盛に震歩 して居る。女の美しさに目を見張

の確應にお掃除の行とないた部屋 五時、秘塗は大和ホテルの日本間 車は門がまへの立脈な旅館に還入 私は何本彼なが珍しく見えた。 十分程定つたと思はれる頃、自動 フランス公園、ヴィクトリヤ公園 しなかった。一日船の中で落した 私は支那に來て居る裸な氣が 観して去への 観して去への 身が躓くなつたと云ふ所 る。非常に大きいが品物の七割は 中原公司と云ふ安那百貨店に置入 金を取り立てられ或程度まで東郷 日本租界に這入る。日本租界は砂 日本製だと云ふ事で少なからず層

貴女をスマ

な女性美に

純植物性のメヌマポマード

さに

見違へるやう

15

自然の岩

さに

見惚れるやうな

髪艶の黒

女性美の誇です

黑髪と若さは

元かの 由に強達して行く事が出來ないと されて居る爲め、 居た。暗の日本粗界をつかれた足は瞪火の光でぼーツと赤くぼけて ふり返るとフランス租界の空一帶 りながら、 町がさびれて自 質的なおふと

おいしい御殿に舌踱を打ちゆつくに落着く事が出来た。

夜は歐米化した天津の町を散歩す

を潜た衝撃の陰毛の長い唇の赤など電燈のともつた町をケ

M-12

りとお風呂に入つた。

(可証教便郵種三集)

もつて居る。

所面所の常置がほ

別と紅をさして居る。が他は未だ

クキに出ると、東の空がほんの

が低的な手をあげてさしまねいて つと見つめて居ると美しいニンフ

…白いかもめが日に映えながら高

風からのがれたかつた。

洗面道具

いだら

持つて静かに階段を上る。

本常に昨夜からどんなに此の朝を

時三十分、三時五十分時間とにら

沿岸は思つたより代見だった。二

陽が高く上つたっからやかしい風

たいがそわくした気持で陸でいた。 かないがそわくした気持で陸でいるのこをして居た。

待つて居た事だららっ

私は嫌だつたの一類も早く此のない

かする。

じ機にゴト~ゴトとエンデンの 船はゆれて居なかつか。昨日と同

= 大チャ 1 ノタンケン (129)ジ 18 ル ラ Ę ウ チ

畵

作

ダモノヲ トリニイ ナイノデ 大チャンヤ オギサノツマテマッテモ カヘツテコ ンハ シンパイシテ ソトニデ ノツマテマッテモ ニイツタマ・ モリへ 「サテハ ナニゴトカ オコツ

ムカヒマシタ タスケニ 大チャンハ

學の人が 「熊岳城しつかり一等だり ぐ決勝といふ時、どこかの

田先生が 走って、ひきかへして來た。と上む中で飛込んで三米突位さきまで * 忘れて差つた。 テープが見えたのもうテープもす そばだと思ふと雨手をあげて、

とおつしやつて兩手を振って下さ いました。逆る前皆が つくはないかし 「えらかつた、えらかった、

一等と 「しつかりやつてよ、あんたが つたら二十五點になるん

といったことを思ひ出して「一等 よかつた」と思ふとうれし 一等とつてより ◎最奇の薬店及難貨店にあり

內科專門

櫻井內科醫院

てかまりませんでした。 為我沒 大連市该级町三九四三丁回



一(共營住宅電車停留所前)

永原小兒科醫院 電話七九八 七

コム手袋は贅沢品ではなく



をできますとうことできます。 こう でんきょう はんじ で 優 一組 一 関(送料共) をが値付ったりますから抜きに由です というのはありますから抜きに由です

経済的電用品です。 に十個以上の支出となります、家庭用へナキゴム手袋を使用に十個以上の支出となります、家庭用へナキゴム手袋を使用に十個以上の支出となります、家庭用へナキゴム手袋を使用を無外事用にお湯を沸すに一日の燃料十銭に見積ればを期中を無外事用にお湯を沸すに一日の燃料十銭に見積ればを期中 經濟上実用的日用品なり 日本ハナ 十二ム製造所へ



せしめ一層効果を顕著ならしむルの解熱殺菌兩様の作用を併合 ーゼの増血とグアヤコー 『呼吸軽病の後生法』

肋膜炎 慢性肺炎 療服 有管支炎 喘息 百日喂

話結核性疾患の豫防治癒に

AL.

町都強羅東市較大 店商吉友澤蘿 鐵票 草菜 店童

一年 ケ 月月 MI S

世は緊縮! かぜとねつには の部の間の 器管に故障を與へず、おだやかに、ねつを下げる胃腸を害せず、心臓を保護し、頭痛を鎭め、外のかぜの薬なら何でもよいと思つてはなりません 無病で稼げ!

かぜの神には訪問謝絶!!

がヘブリン丸こそ真のかぜ楽であります

市阪大

質要愈ムーリクイメメも含を素水化酸過

の色。すて料、白、美での動、最になり、の風にもに果然性でだま、ため本のを せまいさな用物で配料 ヒゼ に方にの性にれた。顔にらぶあ、方にい無

化自 粧品店にあ

大東

り店

非 田 京 樂堂

ナセヌ連ルの日角

口六 學院 事火の通部監夜昨

重大犯人

と

て取調中

男は指物商、

直ち

に取押へらる

海口首相の自動車と誤談して飛び來つたものらしく重大犯人として目下紬町髪で取場中であるり翳して飛び來つた男あり附近警戒の巡査が取押へたがこの男は愛宕町三ノ四指物商吉田一郎といひり翳して飛び來つた男あり附近警戒の巡査が取押へたがこの男は愛宕町三ノ四指物商吉田一郎といひ順東京十八日菱電】本日午後一時二十分ごろ首相官邸前にて官邸から出て來た自動車に突如短刀を振

職業を求めて來るとて市のと云ふは出館目であつた、

動車と思つて飛乗つたものなることを自由であぶれ其足で首相宮邸に起いたもので同では同家に消り今朝家に歸り要に之かで同なは同家に消り今朝家に歸り要に之か

失職で精神錯亂か

【東京二十

八日發電』渡口首州の自動車と誤談して

松元の拘留期間

授技り

で明大優勝す常数午後一時四十五第五回一點を得四アルファー對一

原、明大鬼噺、井ノ川、郷岡、

海事審判

三十日に開廷

八三四六五四^署 購一八四〇一七 買番番番番番番

謝近火御見舞

近火御見舞 記水御見舞

福幸公司

中村辰之進

湖近火御見舞 新東響

謝近火御見舞

店

は食堂

大道・丸三吳服店

謝近火御見舞

東鄉旅

旅館

政記輪船戰分所

西種種 **講** 第一八三七八

謝近火御見舞

謝近火御見舞

天然堂藥局

就いて贈分者へさせられ出来る あます、ところで昨今内地では の新聞記事に共鳴し且つ私の 所屬する修養関鴻洲支部でも右 が属する修養関鴻洲支部でも右 の新聞記事に共鳴し且つ私の 所属する修養関鴻洲支部でも右 にまらといふ風な事を實行し におから背質を詰襟にかへ出動 におから背質を記襟にかへ出動 におから背質を記襟にかへ出動 におから背質を記様にかへ出動 におから背質を記様にかへ出動 におから背質を記様にかへ出動 心こめた献金

跳町民政署的工係屋松元政(**と)ご は常省主管として收入すべし 松元は免職

依り記覚する事に就き協いしてき、松元を依願党官のしてき、松元を依願党官の民に監督者たる自己の不知 8室に骨田底務談長、水田也ち 一位を紹符して何事か頻識の後 一位を紹符して何事か頻識の後 一般に神田内務局長、水田也ち 監督者たる自己の不法を陳謝のに神田内務局長、水田地方

埠頭構内線を 寺見溝に延ばす

満鐵から關東廳へ出願

野積場擴張のため

△一般の部 倉石文郎四十點 △學生團體對抗一問科大學,日九十

電)▲能率係長用詞▲柔道有段 リーより齊々哈爾迄無驚陸飛行に、 はコスト大尉とベロント中島がバ震が、祭燈には二十六日火郷 コスト大尉とベロント中島がバスを対けた遺骨を安置し供物を觸へ 「白萬法の貴全

本中等學校團體 明星商業學校百一本中等學校個人 西園寺登(高千本の如し) △在鄉軍人團體 麻布支部百二十 宗新記錄)

のと判明したが、右の

身続は直ちに留置された がボンは購入先へ返還を命ぜ ない。

(二百米突、麥整碗意五牌) 一等 裁のを能るほか一覧で、動前の花輪のを能るほか一覧不在につ 射料 知人を

大山通正隆銀行前 電二二三十

ま使自ら是非今夜中に火元を明か までは未だ判明しないが、恐らく までは未だ判明しないが、恐らく までは未だ判明しないが、恐らく までは未だ判明しないが、恐らく

日支連絡電話料

十一月分値下

場の関係で十一月分の日支州格用語料金を支那個と協定したが銀出 銭、天津ペナ銭、港南へ五銭の値場の關係で十一月分は十月分より

誘拐された娘 誘拐された娘

火勢は素晴 しいスピー

方も全度せしめ更に仕立

たが、 を 最張印念 各代

つひに六戸を燒

受更に同様の裏通りに配する 関便に同様の裏通りに配する ので説が潘(成方を縹砥にして 原方二階土木商葉商榮及び李

延はし

六戸を験へ九時十分全く鎖火

り漸く下火となり全機

発しいスピ

次化の活動 は選に流石 で延びるかとあやぶまれたが、各 一 消防艦の

十周年元201

阿片自殺を圖る 市内 電機衛一九王連登の妻王徐氏(これ) は十八日午前九時やごろ夫婦喧嘩のあげく阿片を戦下し苦嗷ルを表 のあげく阿片を戦下し苦嗷ルを表 とが関し直ちに博愛病院に順容 したが同十一時過ぎ網命した

帝世大連株式信託會社 昭和四年十月二十八日 昭和四年十月二十八日 昭和四年十月二十八日 ぜんそく

酒

支那青年 警察の厄 をこより發火したのではないかと る、倫陸には養の家、永善舞感、 の一等があり萬一を無選はれてるた 大連駐在の一ケ中脈が出動現場の 大連財在の一ケ中脈が出動現場の 大連財在の一ケ中脈が出動現場の 大連財在の一ケ中脈が出動現場の である、一方 に落化生の数を燃減する関係より電倉庫が五十五番中屋側にあり常

りますること Aなつてゐる は感哉、脳が悲のを縋るはか は感哉、脳が悲のを縋るはか

射擊成績

神宮競技

三十日午前十時より四階海豹局海 東海岸貫著において昨秋十一月職太 七名を失った第一長崎丸と陽東州 き生ᆈ委員長、藤城陽根南交員、 「原理事立會ひのうへ海事報判が 「原理事立會ののうへ海事報判が 爾氏が補佐人として出席すると 判界の權威市村富久、本機識吉の 判界の權威市村富久、本機識吉の 東京社会の香港力で、東通の海事案 が利力を表現して、本機識古の

洪和號 共和號 新近火餌見舞

第一無盡機會社

謝近火御見舞

畜產品商 田洋行

店

大語市監部通

東瀛大藥房

済通のという。

謝近火御見舞

陳多級商上野新太郎 大連市武巖町 大連市武巖町

謝近火御見舞

丸盛公

司

親近火御見舞 大連市 繁通

海市東鄉町 見舞 大連市東郷町 見舞

見元商店與支店

謝近火御見舞

安田能保險會社

謝近火御見舞

六饅頭本店

庄 村 洋 強連市監部第

息金金金金金之部

相電

謝近火御見舞 法通市監部通 大連市監部通 大連市監部通 大徳洋行

謝近火御見舞 嘉納合名會社 素納合名會社 謝近火御見舞

本にあります。 生活の慰安は かなります 今日の放送

小泉御影堂本舗 森本 耳鼻咽喉科 8 本各地名産. 意. 院 大連市大山通三並隣り 醫学博士森本辦之助 電話五三七〇番 ピョ ウ 宏

渍 着荷新 世界各國酒類: な是飯のかさぎ畑荒っちまれて 東京風菓子謹製 食 00

國債償還の一助に充てた

関係と特別して之れが手続方を市場に需要所動務の寺島信夫氏が百別所動務の寺島信夫氏が百別を信義が、其の日の整渦ぎには の動けをしたこと 歳の青年で恥しさうに言葉短く 十八八大連市民

因に同氏は大正九年小學校卒業後 同所の数官を載めてゐる立志獨行 の秀才であると

の値打といふものにしい次第ですが私はしい次第ですが私はでもかられるますの

で金の本常の値打といふ な鳥獣がましい次第です な鳥獣がましい次第です なりの関から苦労してみ

げた行ひ 石本大連市長語る

路を敷設の必要を生じ寺見講に入り目下大 なった のの必要を生じ寺見講りを 大豆の山樹 に
一でさしも
聞いまする事となり、
使つて
都内線
たって
おって
おって
おって
おって
おって
おって
おっとなり、
なって
おって
おっとなり、
なって
おって
おっとなり、
なって
おっとなり
はっとなり、
なって
おっとなり、
なって
おっとなり、
なって
はっとなり、
なって
はっとなり、
なって
はっとなり、
なって
はっとなり、
なって
はっとなり、
なって
はっとなり、
なっとなり、
なっとなり、

質先に献金すべきであるのに負 検部君といひ寺島君といひ近頃 へて語る 右につき石本市長は曾心の笑を湛 獻金は市役所に て非常に喜ばしい次第だ をことは大連市を飾るものとしたことは大連市を飾るものとしたことは大連市を飾るものとした。 たことは大連市を飾るものとした。 たことは大連市を飾るものとした。 たことは大連市を飾るものとした。

を行い、 は右工事費は一萬五千三百**四、十** 東原宛願出づるところあつた。な 東原宛願出づるところあつた。な

昨夜監部通り

近來珍らしい

の厳し貨車を進入するを生じ寺見蒔に至

豫定で竣工の運びであると一月十日より工事開始約一ヶ月の

預つて貲ふ積り 富田大連民政署庶務課長談

近く蔚山泊り廢止

故後川氏社葬

びに阿片屋職家櫻方の裏手と働し、 畑草印商恒大號事原柱等(wo) 力並 畑草印商恒大號事原柱等(wo) 力並 の裏手と働い。 き邊りよりパッと火の手が揚り、

層があり、又私中献金坂扱方につ

東京、京城間を一

途に充てる 金取扱訓令

の観旨を以て國民より

期待されるその利用

損害は六人

して貰ひたいといふにある

明大が優勝

火元も原因も判らない

旅客の不便を一掃するため

日行程に

思ふ様に任せず、この間附近居住者の無報により、 ・ 大連消防艦がいたが何分火勢 かけつけ消火に努めたが何分火勢 が案外強いのでポンプの筒先きも が案外強いのでポンプの筒先きも

時は大混彩を呈した
時は大混彩を呈した

首相を狙

企漢

短刀を振翳

飛出す

大馬の取締り、愛火原因調査、損 地窓花生商高興記事林震峰方の木 し明大は第二回三監、第三回一監、教師の整理に當り黒山の如き野 とも隔し一説によれば奥町六十番 立数は第三回一監を得たのみに對ける物め一同現場に急行、憲兵監 も火元が判然せず或は阿片屋李復 分より神宮球場にて立数の先政にて開始級を勧め一同現場に急行、憲兵監 も火元が判然せず或は阿片屋李復 分より神宮球場にて新田、池田時後を制め一同現場に急行、憲兵監 も火元が判然せず或は阿片屋李復 分より神宮球場にて新田、池田時後を制め一同現場に急行、憲兵監 も火元が判然せず或は阿片屋李復 分より神宮球場にて新田、池田時後、原田保が星司法外各主性 何分突 茶の 出火でしか 勝戰は二十八日發電 明立野球決火災と見るや大浦署においては高 書程度の調査に掛つたが

ばいかる丸式航 定期 野性られたが、同船はさきの坐礁 事件の際既に修繕が終了したので 中の際既に修繕が終了したので 本社爲眞部員であった西佐内氏撮影旅行

昭和四年十月十九月、火曜日) 自午前十一時 相場(特産、鍵纱 株式、各地相場) 自午後〇時三十分 相場(特産、 鍵鈔、供式、各地相場)ニュース し一後之時三十分 相場(特産、 鍵纱、株式、各地相場)ニュース し一後七時 ラヴュ

一〇西俣場下準)

一綾東京大日本堆籍會講派の女倶樂部、幼年世樂部、幼年世樂部、公定の女倶樂部、幼年世樂和は、定の女倶樂部、幼年世樂和は

一来 いと再び由へ返へし を開く、東が自と他の を開く、東が自と他の 東の本はない。それは 東の本はない。それは 東の本はない。それは をして拾ってはなる は信下に我が由には境へ でして拾ってはなる としておってはなる。 をしておってはなる。

心の清潔なる者は天の愛す

美州子には観立しかつたのであるからな優文子の態度が、 倭女子の贈色は、

◆ 株立(十月號) 林六茂と吳三校 (京 (京 八號) 定價金工十錢、 東東市動町永田町二の一日本祖 東東市動町永田町二の一日本祖 東東市動町永田町二の一日本祖 東東市動町永田町二の一日本祖 (東 (京 (京 (京)) に優金工十銭、 (京) では、 (京 (京) では、 (京 、大選民政署內大連獎學家庭,十月號) 定價金二 **四全集《第二十**

(手切品商) 店商村西 等五三九四電地番二〇一通四 第三六四電號九十場市可滑信

貴金属製作 發賣元

子 生 来 房 大阪市西區新町通一丁二二 大阪市西區新町通一丁二二 大阪市西區新町通一丁二二 振春口座東京七三二番 子

() 有分五轮 拾 四(线带穿黑台) 三百十號 廿 円(接槽深盟台)

株造一計算一鑑定 一丁 (水) 生 東 事 (水) 工場上宗像主一 建築一設計一監督 一丁 (水) 生 東 事 (水) 工場上宗像主一 大 強 市 福 勝 町 六 七

健康男女も いふべからざる荒春的輸出を聴ぬさる

まれるとでもなく生産器。一分一秒 は配なくが終するホルモンの機能 精力、脈力、その減泉は 響も指数、世界的書名架トツカ精力、脈力、その減泉は 響も指かずして來るべし。戸城醫・名

の草動さんが、個人だとでも疑ってあらつしやるのですか!若しまま

うしくなったお兄、まも、それにと」お思ひにならないのです

はきつとあなたの激情を恨んで

たしの心の脳めなので御座います

で、草野さんに差入物をしいのです……とナーー

ら、倭女子の離を眺めた。すると

眞に潑溂たる

汲めども盡きぬ

夢蛇精

ドラゴン

補血强壮 标为增進

臺灣日本蛇族研究所責任創製

もあなたは、草野さんと信じて

をしたとしますと、わたしもいよっながあの方に取つて不利益な證言

て来た。ふつと美知子は続しくなたな……さらいふ嫌きが心に聞え

く 最後の狭心をしなければなら

さんを愛して あらっしやるのね

つた。と、倭女士がふいに云った

・最後の地心と即有るのに?」

てきる。随か浴やかなお言葉です

と、美知子に様い的な調子で叫

わたし

も巧今では小森英輔の妻で

と、美知子は悲しげに微笑んだ

…あなたころ!し

と、倭女子の寂しげに柳美んだ

質野さんをお救ひすることが出來すから、最後の決心をしなくては

を記さいる 獨自 の特能を **髪して新陳代謝によりあらゆる全身の機能が新活動をなす懲めであります 髪効は豪魔特能たる蛇精の強烈な抵抗力が全身に充實し畿内に特別の新精力を緩** 以上の人が服用すれば乾度効顯があるのであります。之れは要するに**ドラゴンの**

ルルかれカ

一、精血強肚精力母進不老長壽を顕ふ人一、原の非常に出て持せる人一、既の非常に出て持せる人一、既の非常に出て持せる人一、既の非常に出て持せる人一、監復力を強め、食慾特進を願ふ人一、息切れせず慶量の豐富を顕ふ人一、息切れせず慶量の豐富を顕ふ人一、息切れせず慶量の豐富を顕ふ人一、息切れせず慶量の豐富を顕ふ人一、息切れせず慶量の豐富を顕ふ人一、息別れせず慶量の豐富を顕ふ人一、身際を強健に元氣好く活動したき人

る御活動を祈ります 左記効能書に該當のお方は 時も早く御服用御活潑な

代假 九 十 粒入 金塔爾五拾錢 加 十 粒入 金塔爾五拾錢 枠迫限級高 鏡眼収米線 所作製ズンレ資限

来國ラブテカール光鳴會社 祖 本主・デンストック眼鏡 音社 11 本主・デンストック眼鏡 音社 11 エミ・デンストック眼鏡 音社 11 エミ・デンストック眼鏡 音社 11 エミ・デンストック眼鏡 音社 11 エミ・デントック眼鏡玉 小輪 賣入

· 横 費 行

藤近 角町級署一五一町漁漁市連大 元曹發總 デール

① 大連汽船

同日清汽船は

●青島上海行 (唐山東 寸 尺章 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 代理店 大連 支 店 電話四二三七番 電話四二三七番 電話四二三七番

各地特約店募集

井上

藍院

全 島谷汽船域出版

大連条内所何でも御利川下さい 何でも御利川下さい

● 青鳥上海行 秦天丸 大連丸 大連丸

京島荷名扱店(大連市山縣油) 京島荷名扱店(大連市山縣油) 東京市山縣油) 東京市山縣油) 東京市山縣油) 東京市山縣油) 東京市山縣油) 東京市山縣油) 東京市山縣油) 東京市山縣油) 東京市山縣油)

新聞の行發質所 大連市伊勢町 大連市伊勢町 大連市伊勢町 フィットリストピューニー来 では、アイリストピューニー来

九八八八番 會

●上海場州基 | 磯京丸

(A)

女夫人 〇〇

(142)

り他ないのです……わたしは誰に 野さんの青天白日を耐つてゐるよ とれで わたくしほつとしました

セントの

出来たらと思って、

に上つたのです

當のお金が必要でせる。

しかし無護士を体験するにけ、相

ご御指導を得て一段と進步向上し殆んど完全無缺 こなりまし 四松帝國大

學教授後藤醫學博士等諸先生の御後接

は

٤

込職をやらうといふのですわ…… 女と一緒に、驚護士のところへ動

兄さまの殺人事件に就いてのあなの苦み、最後の決心……みんなお

大きた幅ろしい個み、地震

しのお願ひは徹底なんです。失刻たのお苦みと伝じますが……わた

つたやうでもありわからないやら

の苦みる

の後に、

後に、美畑子は吐息と共に云つと、暫くの息づまるやうな沈默

爐界の革

兒

.

ころろくしてろとだし

電話五九〇〇苗

八〇〇〇出

●歐洲行 豊 岡 丸 十戸八月李浦行 世 岡 丸 十戸八月李浦行

11日本郵船出

七三軒記

船大連出帆

E

性病粉卷米

我建浪速町一丁四

便利・火持長く・口格低度

大谷藤四郎商店

牌

U

氏瑞祺段の遁隱

に 日 も ほ 準に ちれて 居 島 島 島 最 様 他 の 成 要 他 の 成 要 他 の 成 要 他 の 成 要 を を して 毎 都 記 老 次

けふ開會式を行ふ

問題調查會

他石線裁は二十七日は終日屋ヶ浦 が、繰り長い話をしては緘黙の減 が、繰り長い話をしては緘黙の減 が、繰り長い話をしては緘黙の減

一般表の流線観察は見合せとなるから が肝取などについては未だ何等者 が肝取などについては未だ何等者 へてゐない、協議に買取つた機山 へてゐない、協議に買取つた機山

玉祥に歩がよ過ぎはせぬか。

五台山下の閻縁山も、冥合を拙て、停戦物告。

御注意 ラファ

勝系、 反蔣系、 一側 一縮 ·

大觀

1[1

卸申赿次第御送=致えカタログ特約案内書

特約店募集

秋色深き京都に各國代表参集

の長き分離から手を執

社宅で結構だ、多分社員の合宿所自分は入らない現在のロシャ町の

萬圓餘を投ぜねばならぬさうだが

だが、形勢、蔣介石に不利となだが、形勢、蔣介石に不利とな

に改造することにならう

布したが。それは老の素志を明かにしたもので一切政治に絶縁を宣告したものであ

報告があり十一時式を了

心な各國代

たさらだが別に御疲劳もなかつた

市内各方面を脈討した

支那の形勢、闘心事であるに襲展するか、年中の行事

天氣豫報

鍋島秘書役挨拶

仙石總裁の

新任挨拶

文書課長代理で

政治的にも現政府不利

が、時間は一時治牧されても政治 に招待し時間問題に関し協議した に招待し時間問題に関し協議した

がに現政府機の不利となり或は突 が開発が石氏の下野となるやも知れ

馮軍五箇師愈よ

軍縮は陸軍の主張と一致

は巧に暴威を選しらしてゐる が運搬され戦車二艦が渡され戦車二艦が渡され事 の地野では 神事

午前八時年ジャライ 謀が競見されて間もない

突如立退を强要

軍事密告の理由にて

選擧は大選擧區制が理想

犬養總裁の車中談

海拉爾地方に

古林特電二十八日發】某方配のは悉く赤部と氣脈を通じて支那に依れば吉林省東海、密山尉 (側の内情を署告して居るとが右は密山縣居住賦人李君實) 五戸、百八十名立退強迫を受け事。 たが右は密山縣居住賦人李君實) 五戸、百八十名立退強迫を受け事。 古塔若しくは吉林方面に駆住すべる (海衛中であると

絶対はげぬ

品質·價格·賣行第一位 販賣侮張、爲メ確實
た

會の新政策

總攻擊開始

樊城を占領し襄陽へ

外務長官に

蜜中の犬養政友館総裁は二十七日 午後隣京したが事中氏は左の如く

ブ氏就任せん

(日曜火)

六日完全に湖北省美城を占領した「什總攻撃を開始した翼は二十三日した確報に依れば馮玉祥軍は二十「師は二十一日から湖北西北部に向【南京二十七日發電』を那郷に塗「程城亭氏の指揮する馮玉祥軍五傷

氏はダラデエ内閣の外務長官たる

である、大種干犯だとか輔弼の概体案は撤回したがそれが蓄然

政施長は毎夜十時以後は一般人民 政施長は毎夜十時以後は一般人民

當分は專ら保養

0

動靜

▲ 阿波共同會社第三十六共同丸受 取船員 關係亮作氏(無電局長) 外計四名同上 小野田セメント使用支那人一行

本社への出社は午後から

大平満鐵副總裁談

ラル財屯銀守使張殿九、

避難民と軍隊の移動で動

欧野の具にし度く

『正道居詩續集』

て素志を宣言

切政治から経縁

となし近々太原に隣の南京政府及西北將鎮に難し俯瞰筋岩をなすと同時に全國に難し和平通電を破す『北平二十七日漢電』太原來電に依れば闔線山氏はなほ馮延祥氏と共に五台山に在るが蘇く機器でり

閻氏停戦勸告せん

を開始してゐるが、各省の復活要、 で、各省では夫々猛烈な復活要素 で、各省では夫々猛烈な復活要素 で、各省では夫々猛烈な復活要素 で、各省では夫々猛烈な復活要素 の大学銭を加へてゐるの で、各省では夫々猛烈な復活要素 で、各省では夫々猛烈な復活要素

求額の略決定せるもを開始してゐるが、

おこと」なったと

提議に對し蔣介石氏は馮玉群氏の復活は中央の威信に関するとて挺否せんとしたが協議の結果閣様、地方各省の財政を中央の直接管理とし中央は軍政費を毎月確實に給興すること、河南及湖北西北部を西北軍の地盤とすること

氏に一任すること」なった。其結果問録山氏は一兩日中に個人名義で和至通常を破することとなっ

二、馮玉祥氏の軍權を復活し西北軍を馮氏の攝政に歸すること一、和平宜頭會議を北平に開催すること

且發電』闘鍚山氏は時局を和平に導くため方本に氏を通じ蔣介石氏に動し最後の安徽係

軍權を復活

湖北西北部を西北軍に

政府に参加するを決議した。ダラを承認した。なほ社會施設しは新

るであらうと

ED

は道理なり、恋山地に於て

民族が西南に取つて代

議 1と答っているらず、最の間に等しく或は成功するかも別問と民黨とは互に利用こそすれる。 1 と答っているらず、最の

とに属する 暗轍省自治あるのか

農

珍らしい

れに地艦を興へて、職省自治の を實現し得ずんば、一黨基間政 を實現し得ずんば、一黨基間政 を實現し得ずんば、一黨基間政 を可以及している。

金肥を半減し或は使はず

南京から

借金持が借金に倒れざる如く。 馮玉祥(其二)

で、現在の勢力を貸した蔣介石 は、後然として該財閥の支持を は、後然として該財閥の支持を

なると、蔣介石の首班たる南京駅を壓しついあり、されば斯ら

し本職語が遺れたが、遺れたが、遺れたが、遺れたが、

り、様間あつて之を陰能すべし り、様間あつて之を陰能すべし り、様間あつて之を陰能すべし が、様間あつて之を陰能すべし が、様間あつて之を陰能すべし、若 は、蔣が健れても、支那 が、そこに軍闘あ るるや遠く且厚し、それで露図民黨に露図を食品するが、露國に 政の革命を企闘するが、露國に 政の革命を企闘するが、露國に

から、馮が之を摑んで て大局が見えぬか

此勝和こそ國民會議で、各々そ 常時、軍閥、財閥に加えて官閥

まなければならぬ、我なの大き重大問題である、我々が解決すべき重大問題である。我々が解決すべき重大問題である。我々が解決すべき重大問題である。我なが解決という。

壮氣鋭 の實業家を集め

復活要求多く

豫算編成難

藏相、各相に膝詰談判

大大になるものと歌らる、而も満洲関係を 一般に中心を置くものと歌らる、而も満洲関係を 一般は歌心である。殊に支那略は此 一般は歌心である。殊に支那略は此 一般は歌心である。殊に支那略は此 一般に中心を置くものと如く、此 一般に対する特國の虚 一般に対する特別では 一般に対する特別では 一般に対する特別では 一般に対する特別では 一般に対する特別では 一般に対する特別では 一般に対する特別では 一般に対する特別では 一般に対する特別である。 一般に対する特別では 一般に対する。 一般に対する。

思ふ、我輩の軍機思ふ、我輩の軍機関が、我輩の軍機関が

が、従業の黨の陸軍の主張と 口 IJ 大選事 制として民意を ・ 大選事 制として民意を ・ 大にも被選攀権を興へて議政壇 人にも被選攀権を興へて議政壇 人にも被選攀権を興へて議政壇 ・ 大に立たしむる時期の早からん

【京都京館二十八日發】

會議日程

任關東臟技師 從七位勘べ等

任關東歐醫院醫員(各並)

ルに於て開かれる代表會議のプロ都特爾二十八日發』ミヤコホ

赤色云 頻に 列車を襲撃 ととや希望する 團が

アロリの検撃で後等の除 デロリの検撃で後等の除 彈壓の裏を潜って 吉林縣下

ぶ形勢あり、會議の牛は滿洲問題 外交、太平洋外交の項目にまで及 一鮮農に

テルに於て開かれる代表會議のプログラムは左の如し 本二十九日より三十一日まで文化 工業化、人口食糧諮問題 本一日より二日まで支那外交問題 本四日より六日まで満洲問題 本四日より六日まで満洲問題 信館四回會議地はサンフランシス へ九日より本調査會の打合せ 題

京城へ出張ラ命ス開東廳事資局長事務以扱開東廳事資局長事務以扱

本大連陽院整長 大連階院小児科へ今回京都帝國大學より落合博士が陽長として二十九日香珠丸にて降長として二十九日香珠丸にて来任三十日から診療に従事十八日九解師完會觀察のため二十八日九年報氏(同地方課長) 朝田中千吉氏(大連民政署長) 朝田中千吉氏(大連民政署長) 朝田中千吉氏(大連民政署長) 朝田中千吉氏(大連民政署長) 朝田中千吉氏(大連民政署長) 朝田中千古氏(南地方課長) 司上上海各種無氏(福島華工重役)司上一十八日九時末(福島華工重役)司上一十八日九時末(福島華工重役)司上一十八日九時末(福島華工重役)司上一十八日九時末(福島華工重役)司上一十八日九時末(福島華工重役)司上 特許

整膿紫形症

以下で記述 本島の美學・金額也 の世紀数 本二重服新刊州五級 の世紀数 本二重服新刊州五級語 の世紀数 本島の美學・金額也 の一語数 本島の美學・金額也

Œ 法療新たず代時新

短醫 期療 養士 成の

東京生込制を削二三五東京正理事院は行り此新聞名記中込翌明書選呈版を治す普通二週冊秋治自宅旅出書選呈

風東廳辭令 [廿六日附]

陸川二等

等 醫 此八位

治と歌省自治とが雌雄を決しそれで支那革命を成就せしむべく 地場合に凝玉縦は、軍階と官様 を率あて、戦省自治とが雌雄を決しそ を率あて、戦省自治性に など類らなべし、 其反紫峰の に続け、 ない は変形とが雌雄を決しそ が、されど類らなるには、 北方 が、されど類らなるには、 北方 が、されど類らなるには、 北方 を変あるての正精微 である、さ ないである、さ ない。 されど類の混込は禁物じや。

一千棚前 O、五五 後 一、四五 路棚前 七、二五 後 入、O 工工 後 入、O に嚢膜するか、年中の行事ながられたよりは関の体験物告が、如何をれよりは関の体験物告が、如何 前は、なかく、馬鹿にならぬ。が併し、石敬亭軍の武陵進出作 をこで軍事動時が政治動時となり、そこで軍事動時が政治動時となり、そこで軍事動時が政治動時となり、そこで軍事動時が政治動時となり、そこで軍事動時が政治動時となり、そこで軍事動時が政治動時になった。

●著者三十五年間 ・ 未だ嘗つて何人も耳 が始一貫實地研究の結晶で の結晶で ある。

高者の恐くが効果のてきめんに喜びつる。

東東北學工藝株式會社東京市外板橋町柏荷台100七 年は京古母子やよ 二大日本國民立志學會不及苦學相談部親で無代謝皇子本及苦學相談部親で無代謝皇子女共詳細なる苦學の指導曹子女共計の出來る所立身成功の修ら通學の出來る所立身成功の H名 才D

9 0 各

A TOTAL SE 喉咽



院医原桐

一九三四站里

實用萬年食器

阻蒸器甲。大草命

音

國債償還のためと一小官吏が

米水兵放還

青森縣の大水 三百戶

今秋リーグ酸の窓

総する優勝湖に英譽ある名を鍛さ の野球戦に群のたチームは他の大

雪ぐべく決心してゐるのでこの一 となるであらう、早慶戦の典型的 となるであらう、早慶戦の典型的 然たる損害と應緩散を各二千名が整 然たる損害と應緩散の應酬を以て

殿下、閑院宮春で版下同妃殿下を 族方は秋父啓同妃殿殿下、高松宮 院がはれび野球戦に御來職の皇 の皇

模職的膨緩をなすはずである。これにも指手と膨緩缺の脈脈を以て

の他多數である

不渡り小切手で

の事である

おも茶秋風

要塞撮影の

家族四人分として四十圓をけふ市役所へ

は匿名

7検察官からりで各関係者を拘忌と破り、一般のでは、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000

収調中であつたが、各關係者

▲ 贈附、詐欺、権領 元奉天新聞 旅順支局記者

本時期 大連近江町四五疊尚 草野喜代治(四七)

大連聖德街四丁目

原民政署長と同居して居るを ・ 大田、草野の耐名に 一面 で、七月二日 で、1月二日 で、1月1日 で、1月1

病身を悲貫縊死

かいよく一左の野名

有島、伸雄〇七

大連近江町五煖房衞生機

松崩 旅順民政署商工

盛三乙

百世は松元に交附して吳と間を天曜し、戦金七百世のらへ自己所得の

大連署では之れが防犯被率の萬全の度を加へ行く季節にあるので、

を期するべく種々計量中であるが

を記している。 一名歌音 中であった月口調査師と下し月口 一名歌音 中であった月口調査師と下し月口 一名歌音 中であった月口調査師とかで、右は市 の名歌音 本のでは、一名は市 の名歌音 本のでは、一名は市 の名歌音 本のでは、一名は市 の名歌音 本のでは、一名は市 の名歌音 本のでは、一名は市 の名歌音 本のであった月口調査師とより になって再調。

完旅順民政署員は

四名けふ遂に起訴さ

犯罪關係愈よ明瞭となつて

玉の浦採砂場事件

として戸口調査の

金話がある。一つは

市役所に贈った話で派られた文 が東東員に賴んで二十八日四十圓 その知人たる市役

めてゐる池部才次氏、もう一人はこの奇特な人は遞信局監理談に薊 で來たものである 百圓程献金したいと電話で申込ん伊勢町の某氏、二十八日午前中五

四人分四十圓を倒債償還の爲め一査を行ひ遭算なきを除證するものに献命させて敷く事に狭心し茲 で、なは二十九日も掲載き行ふ事に四十圓を倒国け致します。御 になつてゐる になってゐる になってゐる になってゐる 大連市大和町の一大連市大和町の一大連市大和町の一十月二十八日 市民一小官吏

の職物入りではやし立てられて

野次の通りである 事客一小官吏と 報題しい様な氣が な感じい様な氣が

五百圓

が、原因は煙突掃除の不始末から死傷者ある見込みで調査してゐる

身も心も打ち込んだ

◇一爺さん頭に湯氣ボツポ

物色で る一方四日ばかり で る一方四日ばかり

を求むべく小選ひ銭として一千圓窓妓の媚態に夢中となりその敷心

世八日午前十時ごろ小院・支那族 美々しく 着齢のた 支那族婦を数名 美々しく 着齢のた 支那族婦を数名 東々しく 電影 一大火火 主人工 華亭といふ男が かんだ、 右は目下入港中のオランダ かんだ、 右は目下入港中のオランダ かんだ、 右は目下入港中のオランダ の乗組船 買入名が おおく での夜は異域情調に酔ひ いふので、肝腎のジタロン號が今今日まで更に支援ふ様子がないと とれたのはよかったが、さて支援。 ひとなるや十剛札一枚で勘擦しろ ひとなるや十剛札一枚で勘擦しろ 残金八十五圓の支拂方を水上

搬入せられたしと

物色する一方四日ばかり前、金一千圓の小切手を接つて満洲市、金一千圓の小切手を渡したが前、金一千圓の小切手を渡したが 抱妓を引具し 遊興殘金請求の訴へ が生命危

達者なオランダ船乗組員 つた

於青

年

所婦女彩琴(T))に登襲した際、 日沙河口製司烘係へ一日本人より として去る小二日夜沙河口元町一 として去る小二日夜沙河口元町一

明金六圓餘を続成されたとの接書 があつたので同器では艾彩琴を呼び出し取調べたところ、その金は 位得したので小崗子方面にて買物 その他に独消したと自由し、拾得

7433 3628 - 後六時まで 夜間用

崎田張所より直接簽送可致候奥坤向の御注文は金州驛前岩 父松二

五時三十分死去とまる一郎(儀)豫而病氣の處 分死去数候間 業石効無く 此段生

上撮影湾のフイルムを没收して同一健、富成一二、外人ホール 転々設論のうへ始未書を取りその 子を發した、乘客は鳥居喜歌 大日の上り旅客機は午前八 なるとを知らず撮影した事判朗、 八日の上り旅客機は午前八 関系時二十八日發電』二十八日午 前窓時二十分皆森縣上北郡三本木 市五丁日標湯事中村方より發火一 二、三、四丁目の各日提の場所約 である。 一、一、四丁目の各日提の場所約 である。 一、一、四丁目の各日提の場所約 である。 一、一、四丁目の各日提の場所約 である。 一、一、四丁目の各日提の場所約 である。

麗しき體操 神宮競技愈よ始まる

壯烈なる拳鬪戦 華がしかつた第一日 男性美の肉弾相搏つ力の争動が踏

天覽競技

戸口調査の實地監査

3

をとに東京女子酸操音樂學校の女 宮球場では無裁終父宮殿下合臨の 宮球場では無裁終父宮殿下合臨の 宮球場では無裁終父宮殿下合臨の

大連署が泉警部を總指揮に

けふ總動員を行ひ

一、二回戦は早大、帝大御茶の前の乾くを待ちそれは前夜の雨の乾くを待ちそれば前夜の雨の乾くを待ちそれ

を大西かずエCOと共鳴し一夜のと大西かずエCOと共鳴したが、以来おも茶の変を明かした結果。 高端 でいい はます くなもない はます となり こと はます こと はます こと とない こと はます こと とない こと はます こと はます こと とない こと はます こと とない こと にない こと は、現象の情報へ難く現在を表したが、以来なる茶の愛を を表したが、以来なる茶の愛を を表したが、以来なる茶の愛を は、現象の情報へ難く現在を は、現象の情報へ難としてをの は、現象の情報へ難と、現象の意を は、まない。 先づお前の小

ある水上器では収政で森翻譯生が 主人を伴ひ、船負と交渉のうへも 主人を伴ひ、船負と交渉のうへも

田本ので、なは有島の詐欺様の通りである。 ・ は、一千側の現金を詐欺してあるもので、なは有島の詐欺様の。 我将野和Ca)の日野車は二十六日 市内春日町四五大連タクシー運転 又自動車が 八力車を跳飛す

七二割出

ľ

福

引

券

b

+

月

to.

早

引 b

差。

Ŀ

ま

す

H

ょ

b

な

高は瞬部ほかに全治五日の傷を負地の大二、第一タクシー運動が渡海(ごしの自動車はニナ六年)が東京に於る、第一の大田の苦力高耳場(ごしゃ使きないのである。 手材勝和("a)の自動単は二十六日 ・一前四時十分四公殿町二二五前衛 ・第に於いて前方通行中の市內入職 ・事を跳ね飛ばし事を騰深々々に破 ・事を跳ね飛ばし事を騰深々々に破 ・事を跳れ飛ばし事を騰深々々に破 ・事を跳れ飛ばし事を騰深を ・でする。

其

他一切

大

賣

出

層安値に

御覽下さ

時計及貴金屬

終

0

ľ

陳列振りを一度店頭の

初回の賣出し丈けでは整理付き

回

を決行する次第です

不溪湖背後地に

探戒の欄利を出職した際、その許しはまた松元が旅順民政警官舎に藤の聯名が旅順民政警に玉の浦砂利・職職はまた有島に情を通じ、陝名右被疑者の怨騭闘係は北田、草野・可促進の運動かたを職職に依織し

慶商の許可を取つてやると 避元に獣し闘東應へ運動し

このほか職権は小場子宏遵に於て勝手に費消したもので

有島が着服

被疑者の犯罪事實

百圓まで樹餓し七百圓全部を自己と別様の二百圓のほか松元の分五

小春日和

無遊園の芝生をさらしくとは いっぱいは 珍しくけふは小春日和

十八日滿鐵灣路歌に達した情報に 大れば本窓脚の背後地方上達貝町 が腰生し砂蜜牛は全臓の肝炉にあ が腰生し砂蜜牛は全臓の肝炉にあ が腰生し砂蜜牛は全臓の肝炉にあ が腰生しのよるが、横勢機め で間が後一、二月にして発 ででは、大田 ででいる。 ででは、大田 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。 でい

(可質數便即在三第)

猛烈な牛疫 傳染區域の擴張を憂慮

る、右は九月上旬から上流富を埋 子が配で温暖を極め同方面の畜牛 を全蔵せしめた牛投でらうとその

ル年最新柄 格大安曼 稅儀用紋附 北帯訪問着 投賣物 切品豐富

大量仕入に付他店の 東亜物産階上 組代用花色金巾裏地一圓七十銭三圓三十銭外に奉仕品御一名一反限り白金巾五十銭 磐城町扇芳亭職 追從 具服店 話がなど



東京期米 記聞 元電 前島 神戸豆 四四四四四部前 杯の

ない大部分は支那向でアメ を近年戦増し年額三百五十 も近年戦増し年額三百五十 して最も有望なものであるとてでは験り普及しない、然しては絵が普及しない、然しては絵が普及しない、然し 市

産

况

(可認物便郵種三第)

目減り黴も生ぜず

大宮で外れ、食敷市棚菜蹊が昨までの したが優秀品がなかったので本年 月末が総切日だが今に至るまで一 月末が総切日だが今に至るまで一 質のの態。

漁往柔

て好評

前途の有望を實證

試驗的乾

燥粕

1 | | | | | | |

登出中特價一升一圓より一圓七十錢菱。 ・ で味の素一個又はソース三合入 御酒の御用は品質本位の *賞賛の聲と

電話に へ

婦產內

型、九0

銀 公牧 二至100番組金 1、0名牧 一三四至至至10周 奥地市况(前人場)

《同》是弗共分之《同》是弗共分之

(同) 公園三 銀頁) 公園三 銀頁) 公兩三 銀頁) 公兩三

緊縮旅館 何卒御越

大連市磐城

ヒスイ は一定の相場が無いのとより見分ける方が至って少くないが買っば確かに信用ある磐城町の編墨東へば確かに信用ある磐城町の編墨東へは確かに信用ある磐城町の編墨東へは確かに信用ある磐城町の編墨東へ 一個客様の福

借力に四川話電

科科科 志

話六五〇二番

スイ店

豐

一府商工會開鐵會社指定

れ劇態なる経浦及び炎

って別に、

今んところでは決つ

「どうしたんだ。足でも縮めたの

でござんすかっこれと

「あょさうかっ

~ = 5

次八郎は何喧は段離で急き立て、 でいか残の姿を抜けりやすぐだっ ないか残の姿を抜けりやすぐだっ

てゐるらしい。

田五郎が、へたばりさらになつ

1,25

方が、わしの家へ近道なんだ。

責任無効返金藥

お前さんは何を確実にして

『そりや結構な身分だの羨ましいた仕事もないので、ヘエ』

之

さらでもないんだがい

大連市民 (大連市) 大連市) 大連市民 (大連市)

使を迫つた。

類を返して見え際れに派八郎の

源入館の親方が田五郎を連

大したもんぢやないんだが、そ、 をの田臓のお陰でどうにか輝々と でさらだらうと思つたの総構な身 分だの場所大事にして減らさない ことだ――おり、こつから此方へ 曲がるんだの大分暗くなつたが大

せきづね

•特約代理店募集

||塩を左へとつて行きかけるを押して太吉と脚兵衛の

田五郎さんとやら、お前さんは

い口調で話しかげる。

方が、わしの家へ近道たんだ。お 「伊賀事女さまの狐の森を抜けた

「えょ、ようござんすともっではたっちや明日は早く出てくれよ」

太吉、御苦繁だつ

らだ、剛星だらう」

事に遠ひないが、測べとして胸に、此の映畵は偶強的類異のない、俗情をあるのは、一般ないが、測べとして胸に、性質・動きであるの。

價値をいやが、マ 1

「そ、その通りで、

まつたく

B

と、それへかぶせるやらに太吉ざくりとしたやらだつた。 田玉郎は 続の狭へ來ると、瞬んでゐた男

髑髏の革袋(こと)

だが……」だがいふわけでもないの

んから出來るだららかなし

してるた?

映画演藝

協和會館映畵

を上映

「以回は何をしてゐた?刀仕事な

さら云って、 御苦勢だった」 源八郎の競片は田

の宿で爬てくれ。明日宿割を決めてゐた所だ。とにかく今夜はわし でも死んで、田焼がおぬしの所へても死んで、田焼がお力仕事も大して苦にもなるまい――そこで何だな、信受費

てゐた所だ。とにかく今夜はわしれた。何じろ手が足りなくて困つれた。何じろ手が足りなくて困つ 正直で小心らしい男だっ

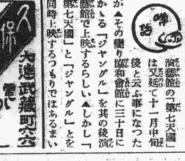
田五郎さんといつて、須霽の人なで、お前さんもつまりこの人の組下になるわけだ――|糠万。これは下になるわけだ――|糠万。これは んだが、うまく手があいてたんで 「砂やく、百姓で……」「心守をしてたつて話を聞いたが「就守をしてたつて話を聞いたが」「ヘエ?よ、よく御存じで……」 「前には何を

一百姓をしてゐたのはその前の 「そ、それは——十、十四、五年 「在」 「領津の池田在が生れなんで、ず「白姓は河處でやつてゐた?」 グル」(七巻)及びパテー、ドミ主艦の下に変る三十日獨強グロー 主艦の下に変る三十日獨強グロー

する事になっ

日十後、小供二十銭、会員外七十八に於て上映するが、入場時は大人に於て上映するが、入場時は大人 錢である マザー

、ロットとする二つの映画、先き 最近――姚融大連に於て――此れ と既なつた標純的アッピールをア とのなった標純的アッピールをア 事件の偶競的選異によって 事件の偶競的選異によって 酸を進 を進 マツクリー」を見た。「マザーツに「サンライズ」後に「マザ 7 クリー 長田韓彦氏の祇職を臨林とした小説は約六十種あり何れも氏の著作集「編日傘」の中に收められてあるが氏の勘友であるマキノの相あるが職出映画化する事となり金森萬郎でで掲載が一次のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般 際館で上映す



神行より優待券が發行されてゐま 学行より優待券が發行されてゐま

悪星小津安次郎監督 阪東壽之助、孝

0

る飾を界畵映秋錦に新を装畵名のし懐

箴

和=

凸版と

原作者ヤング女史と脚色者オール の俳し其の單なる母性愛映畵は る。併し其の單なる母性愛映畵は がある。「マザーマ

女史の女性らしいこまかさと「三



肺病、肋膜に

11

中

正真

肝:

満州特約販賣と治療(神神経の方がは説明)特許ラチウム温久火治療器(述、難)

のねだんは

新米

(第五回ねさげ)

队

した何程でも飛行式にK2回けいたしますから是非一度お

升

一十七錢

たばた商店

大連市薬町二大連市薬町二

K

洋

行

(減騰症)

展人」で名をなした。 が大きして顕著の解を打つに持つて居るのがないとして顕著の解を打つに持つて居るのがない。 でネットがのま」の演出による解を打つ條膊を多 されたヴィグタト、マクナマラの二人が概念を多 とテッド、マクナマラの二人が概念を多 とラッド、マクナマラの二人が概念を多 による事は、 による。 になる。 による。 になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 になる。 にな。 にな。 にな。

新

聞

ラジン顔と結婚したが耐人お癇でなってことのあるグラデイス・フェクスは舞楽も映画にも の爲めに「無理失理亭主」を製作テイツシュ・インターナショナル 御家審の御保存には からだるは国 意はテキマシタ 京 防虫香 石 ~何此九五十銭 - ă, 统二十地内科选

田中絹代主演田中絹代主演田中絹代主演を置る街のコンピネーショ頭を置る街のコンピネーショ頭を置る街のコンピネーショ

しみ深い美しい呼響である。 映畫界東西

一十八

日光

公開

11

Hi.

日より

(四)

平

葉

多

默

太

作

(153)

守りをしてゐた伊賀事女さまぢゃいくらゐだ」 大阪新世界松竹座に公流以来連大阪新世界松竹座に公流以来連大阪新世界松竹座に公流以来連大の大阪新世界松竹里で、を行ひ十七日より一綱抜け銀太」をやつてた。 大阪新世界松竹座に公流以来連大の大阪新世界松竹座に飛行する前に松竹チェーンに脱れて、 大阪新世界松竹座に公流以来連大の大阪新世界松竹座に入流以来連大の大阪新世界松竹座に入流以下を

間位から れますので 専門祭で、諸先生が

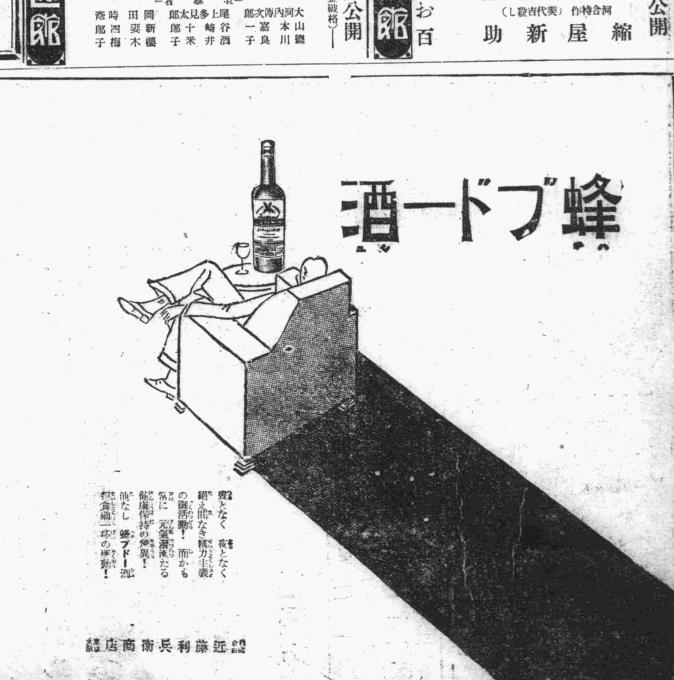
演主可一第社入郎太國村澤 星名の國環 郎太女川二…督監 平九呂多喜々籌…作原 小 本 旗

(たく 敷 よ 母) 演 E氏ンレグラクマ・ータクイヴ 嬢トツネベ・ルベ

演主郞九賀宗正 合河 姐原

券錢拾貳 の遺 (し殺古代美) 作特合河 屋

は電話四七六七番への不配達其他の故障 先数のサー 巻煙草 MAGNUMS Three Castles" Cigarettes WDEHOWIlls



日のよ

始開本配日卅月十愈

ある。以て本大系の學術的價的性學界の信用を得てゐる。以て本大系の學術的價的性學界の信用を得てゐる。 二日なき如く之を誇り得るよ二日なき如く之を誇り得るよ子。 第虞に於で解説に容で行く。 第虞に於で解説に

價か

設 0 武全

のとす改藤維御領援空近 援しる造武田士國土助眞 助て改號明二年 を活造を明三年 を班は東京市外立川を根據地 を班は東京市外立川を根據地 を班は東京市外立川を根據地 を現は東京市外立川を根據地 を現は東京市外立川を根據地 長伊藤酉夫氏を班長に、一等操縦士 長伊藤酉夫氏を班長に、一等操縦士 長伊藤酉夫氏を班長に、一等操縦士 長伊藤西夫氏を班長に、一等操 長の撮影する。我航空界の構成 で第眞班を新設し会 湖地と型士操威全の航

資分り限に本配回一第

町下宕愛區芝市京東

進小

を即形さ代を學造の中漫 認ちをれ地含術社ご世然 め繪見る理む的のし紀た でを代にのの理畫はら紀 あ見り存原で書に到ば行 、にす則あた係底兎 ら而變るをあるる

百

(日頃火)

北帝國大學教授·理學博

本

理

大系

編輯

委

員士

期

待

衆貫深ににを多くさ理羅 化しき單依一分子る學列 ばた線調つ貫には可のす ロなな格主的目な冠の 學ソる幾に張な的いすも 者フ交何經は内上。るの のイ錯圖緯現容純改もは

致る嚴屬ら特て衆イ科閑し文格のめにに化ン學問 且けに飛一此於す教の題 つで地行例計でる接墮で しにそ成招をな な特で對の功聘意い る設規 心は功難るしの期券解。乍 を年あ最も、なき勿原でない。 全年の最も、なき勿原でない。 ないでは、 でいる。 はいでは、 でいる。 はいでは、 でいる。 はいでは、 にいる。 で主を新に用め今をイ通 で張附而同意ら回すン俗あと記か社をうのらス化 る一すも所怠 。企大タは

正地るへる等づた抱た我 確理科更まの我 。負かか なを學にで自全そ る事的各悉然領の努やに科ら通地く景土計力我は 學閱說方寫觀內畵とが從的覽をに真かににを出來 知者附就にら存よ以版國 き收産 を視るてめ業るは「のの 普覺。自一交地改本人設 及に略然々通明造地人設 お歌言人之来上計地たる てめ業る

こを本のな人即地の社書 書三る事ち理刊はが る起は方解現山大行非乏もし我面釋象川系を常し のつ國にをに湖は企なか で、の亘加至海先てるつ

京都帝國大學教授、文學博士

地

系

編

委

にててるのは屬く質形あ 加握民々説い行等合で。して生のと。班の致め元 る活姿地さの指する來このを方れ活揮るか地 真正通は躍にもら理 書がの視説此に依の此學 を出基しミ等依りでのの 江來調直にのる一め企對 に。質すり眞空の。はは 薦敢相る吾を寫技殊期地 むてここ人通眞師にせ表 る予はこはじのがそずに る予はこはじのがそ °はよを我又多撮れし分 進く得が之い影等て布 ん本る國にのせの地すで書の土件はる寫理る 此にてのな甚ミ眞學實 のよ有有ふだ、はの在 企りつす其悅所悉本の

1.800cc (-4) 8500

微野木 土土

共同 建築協會

II 學得 # #

コンサイス型

製)二圖三拾錢 內地送料十四錢 一圖九十錢

快

110

諸君よ、實務家諸氏よ、 ぬ。 この觀點から畫の多い漢字も重近代人に近視眼の多い原因の過半は、 この觀點から畫の多い漢字も重大な國字問題である。學生人に近視眼の多い原因の過半は、 讀む文字に求めねばなら ボケット型は携帶用に當て、 全大 を字 見辭 勉めて机上

學生

用には大活字の詳しい國語辭書でガッチリやりませう?!

特鑄大活字使用

定

(較して、定價は極めて低く買ひ易い)

(教語一、四○○語の大増補により、

(明るく、見よく、引きよい、理想的)

携帯型解書!!

交學博士 金澤庄三郎編纂 總紙數一三00頁 横三寸六分 六版型) 現品全国書店に配布濟!! 内容見本雖 最新刊 定價 貳圓五拾錢 內地送料 賣 一册 十八段

人阪屋號書

サラリーマンの就職 消費節約三生活改善 労農露國を直視 公私經濟 れんく漫談 こ感謝の生活 於ける安全運動 緊縮 滿洲 刑會事業研究會 光岡 商業 二百 守人 - 学村養太郎 · 坂 田 大野絲一郎 計 曙 田田田 掛縣

神田民間交行衛外移住法の第生而を辞解ご 大和民間交行衛外移住法の第生而を辞解ご 大本號前金許女子名展「非 雑誌插入」無代勝号 東五十峰送野二銭援 東京鶴町展下大番町五〇 東五十峰送野二銭援 東京鶴町展下大番町五〇 東京 1111五一番 1111 日本 1111 日本

招集し有り難き川召を

で、おの御

張特別區長官

兵工廠來月から

夜業を開始

專ら銃器彈藥を製造

車にて龍子房秘書を贈へ來奉し、たが、本日午後一時半着の急行列

閻錫山氏は

中央を擁護

山西執行委員會の

宣言がこれを示す

匪禍共禍內爭相踵ぐ

實情

訓

政

期

第

0

間では人民の殺傷

されたものは二

◇…最近賀龍は鄂蔵二蹴入し彭し猖獗を極めた

日本語学を主義の 一大会社の 一大会

を選ぶして居る 経一幣に勢力を得て居り御南にも 関一幣に勢力を得て居り御南にも 製造各地の 大脚も繋ば時局の險悪と共に夫々 大地のを選ぶして居る

◇…本年二月中旬張宗昌吳光新が龍口に上陸し難軍を糾合し煙豪

胡宗鐸陶鋭は下野を宣布を攻陷した 獨立を覚するに

は実践部が長沙に迫り魯派ながまない。これは一日脚珍年の爲めに脚されて平定された。二月廿一日 世中央は邊域に関する。 連りを建り、統一の が建り、統一の

來連用務

仙石總裁に挨拶

で安定されて居らればない。 で安定されて居らればない。 で安職の方級武戦も不総を献した で安職の方級武戦も不総を献した で安職の方級武戦も不総を献した で安職の方級武戦も不総を献した。 で安職の方級武戦も不総を献した。

◆……九月には張沙奎の第四師を 電が發せられ改進版が勢ひを得る 電が發せられ改進版が勢ひを得る 事となり、兪作根学明瑞は廣四に

來議會提出 國家賠償法案 民兩派共に賛成

にして資本 不足の場合にして資本 不足の場合にして資本 不足の場合に調査に計解し以て事業の援助 ままっている。 たがでく、萬一私かに外人資本 となけべく、萬一私かに外人資本とのは四ち図産系資罪を以て論 としまった。 これの 金栗は没取するであら

と云ふ布告を出したが、右は繋するに吉倉鎌油開戦翌年以来吉林省 政府が省内に於ける鑑明、森林事 所なる 一般を行って 一般等に難り非常なる 一般が でんしん いって

、兵役機務者並びに撥兵の機道

一、登州なる入營者の家族に對しては営人の申告無くも会共働海において調査の上補助金を交附し其金額を増額するやう軍事教し其金額を増額するやう軍事教験法を改正する。
一、入營者の近親の病氣、死去等の際は往復旅費を支給せしむ。
等が主なるものなるが、之が状況。
は目下の狀態では支出k頭なるを
は目下の状態では支出k頭なるを
は目下の視立金割を探る外無しとの意味を
は **つた際適當に補助を與**

般兵に優先權を與へるはがき類の元竇捌。小

で希思者は同所庶務係まで申込まで希思者は同所庶務係まで申込ま 明治節視賀會 是保(委込六六○○ 六五八○ 大豆(裸森 十五) (裸森 一九二五 十本高 二百百 日 州 本高 二百百 日 米(出來不申) 包 米(出來不申)

天脈は電腦に交渉を行ふことを暫く控へ、南方と連絡して形勢を觀得することになつにととなったの時局を利用し労農に有利に展開せんとする政策を採つてをるため、電表大特電二十八日發」奉天派は最に開催した重要會議において舞躍方針を決定した。夫によると 勞農の肚を見透 單獨交渉見合す 南方と連絡して形勢を觀望 奉天派の對露方

利益と幸福を建設して全民衆の

州餘ケ國の權威を集め

懲よけふから開く

上業 動力二大會議

私的研究ながら

責任は重大

太平洋問題調査會に於ける

新渡戶

博士開會の

露支兩國とも 國境に軍隊増派

率

クツク方面より赤軍を國境に増派 いと樂職してゐる、 を贈して支那軍を猛撃すべくイル 軍が積極的に交散する を贈して支那軍を猛撃すべくイル 軍が積極的に交散する な電気は十一月七日の革命記念日 後來の小競合は免れた 軍が積極的に交散する。 積極的に交戦する事はあるまいこ 軍が積極的に交戦する事はあるま 有戦が積極的に交戦する事はあるま 有戦を増減してゐる、領事職では 協議を増減してゐる、領事職では 協議を対象の人義合は免れないが確支所。 強 專 は樂 筋萬融麟氏に對しても同様招電を 直ちに自動車にて場内に向った。

三、民國成立以來封建軍閥が禍國 摩を敢てした、先に袁世凱は復辟を行ひ、繼いで遇國章 動は復辟を行ひ、繼いで遇國章 動は復辟を行ひ、繼いで遇國章 動は復辟を行ひ、繼いで遇國章 動は復辟を行び、繼いで遇國章 動は復辟を行び、繼いで遇國章 動は復辟を行び、繼いで遇國章 動は復辟を行び、繼いで遇國章 動は復辟を行び、大口、大民の痛苦は言語に絕した、十五年本營の出計之代。此間長禍は連續 中國は分崩離升の難河を現出し人民の痛苦は言語に絕した、十五年本營の出計之代。此間長禍は連續 中國は分崩離升の難河を現出した、十五年本營の出計之後。中國成立以來封建軍閥が禍國。

本らない 本らない 一致の希求であり編造の實施も 一致の希求であり編造の實施も が曖民の希望である、芳し國內 の障碍が除去されず下らぬ雜桿 軍が國帑を勝手に消費し人民に 有害なる撤兵割據「職亂が永く 穏へない様では國家の重大事で ある、故に編造實施は人民の切 ある、故に編造實施は人民の切 ある、故に編造實施は人民の切

交渉を開始

北平で佐分利公使語る

開き

市豫算更正

ならない 想據の資除して関源を絶たわば 動に塞心に堪へない、故に国際

さず、若し省内の有望なる企業学は一律に外人資本の参加を許

平洋沿岸に生れた文化は今や太の如し

正 一般選響は来る十二月二十一日執行

平洋の岸で結ばれんとして居る 今こそに我々の古い民族と新ら しい民族とが其共同の感情を此 としてゐるのである、我々が此 をしてゐるのである、我々が此 をしてゐるのである、我々が此 が其々の見界を擴め心を高め友能 に一國を戦争の重なではない である、我々は他の國を管いれる に一國を戦争の電とが出來る して祖國の利益を阻害せずして商 業を營むことが出來るのである、 類が其終局に於て目的とする 人類が其終局に於て目的とする 、例へ今日に於て

ける新渡戸博士の開曾の際大婆左り開かれる太平洋問題調査會に於り

ま 有無に拘はらず、東北四省の獣時 間がはらず、東北四省の獣時 れてゐるが、聞歌重大なるため容 かに決定し難いと 安達內相首相訪

ので、萬職を挑してその目的 以上は吾人の目前教國の

途中迄出逃へた記者に對し左の一多數の觀避裡に公使館に入つた行は本日午前十一時共濟平內外行は本日午前十一時共濟平內外

兵役義務者と

癈兵優遇の方針

審議會は來月開く

成せんと欲する重要事である

「東京二十八日発電」安達内相は 「東京二十八日発電」安達内相は で、大日午前十一時職口首相を訪り が、大田午前十一時職口首相を訪り で、大田午前十一時職口首相を訪り で、大田子前十一時職口首相を訪り で、大田子前十一時職日 内憂離眉に迫り日露は邊域を傍腔 悪と静はねばならない。現今外患 悪と静はねばならない。現今外患が いたりない。現今外患が 故に當然覆滅する事は疑いない處故に當然覆滅する事は別に惟むに足らして失戦する事は別に惟むに足らして失戦する事は別に惟むに足らして失戦する事は別に惟むに足らして失戦する事は別に惟むに足らい。 苦るしめる所爲に出 づる のは全ある際、再び戒兵を事とし國民を 外交に傾けても猶及ばさる憂ひのし飢饉は全國に遍ねく全國を內治

吉林省

外支合辦を禁止

背けば國産盗賣罪

女(書・大 年目だが其の間支那の事態は大 年目だが其の間支那の事態は大 分變り殊に内容「質とも非常な 疑化を楽してゐる事を渡ず以來 醒めさせられた、南京滯在中支 那側各方面の人物と會見じて感 所の疏通に努め窓氣を良好なら しむる點に好い結果を得た、條 しむる點に好い結果を得た、條 しむる點に好い結果を得た、條 した。本では、上裔手する事に読解を求めて をべく早くとの希望であつたが るべく早くとの希望であつたが をでしてよく研究の 上裔手する事に読解を求めて超

は野にない。 るりはに出っるのは全で後等が製心被狂の沙汰で薫画の 安危を耐みず人民の痛苦を思はざるは明に背薫短國の所為で るは明に背薫短國の所為で の障碍を除去し三民主義の實現に ざる事である、吾人は革命の前途

ので、現下の局面を打破せんと欲 野力するため速かに目前の総定を ないるもの間膜を求むるも せば次の四項が常配の急務と考へ | 電球形は省内各種實際に於て秘密 | に鑑み之が防止の爲め今回省民に省政府は省内各種實際に於て秘密 | に鑑み之が防止の爲め今回省民にの間に外人資本家が加入し往々國 | 撃し

の一國民革命の目的は自由平等の國家 左 のである のである のである。 一、以業建國の際は一切の政治は 均しく黨の指揮と指導を受け続 内に分派が出來ては勢ひ四分五 教となり政治上有害なる結果を 製となり政治上有害なる結果を 報き、黨の軍心を失ふ故に黨内 の分派小組織を絶對に取締る必

一十四對零で

一大快勝す

工事とのラグビー戦

一、國民黨の綱領で組織された國民黨の綱領である。 民政府は人民の需要産生の政府 と血肉を捧げて始めて全國を犠牲 と血肉を捧げて始めて全國を犠牲 と血肉を捧げて始めて全國を犠牲 と血肉を捧げて始めて全國を複けた 競した事府であり、本黨の背礙を授けた であり、本黨の背礙を授けた は耐次之を遂行して行かねばな らない、然るに不良な電閥の反 らない、然るに不良な電閥の反 らない、然るに不良な電閥の反 らない、然るに不良な電閥の反 らない。然るに不良な電閥の反 にしる際四方に

聖上陛下、畏くも

に記するけ山西省教行委員會の一國に記するものと見られてあるが、左はの態度如何が大勢を左右に記するは山西省教行委員會の一國

御用邸造營御

呂相を召され

工大キックオフ 工 大24 前半 大、直ちに工事 金 工 の

レフェリー開議は ・大連運動場にて墨行されたが、エ 大連運動場にて墨行されたが、エ 大の活躍目覺ましく二十四針零に 大の活躍目覺ましく二十四針零に 大の活躍目覺ましく二十四針零に 大の活躍目覺ましく二十四針零に 一十野ルドに前ク(左再さ、W 分で成サ出にと断けれた。 ・ナらイた迫工)十下てオド

が依然工事

オール成る(五點)工大、直ちに オール成る(五點)工大、直ちに カラムの球は太田から小林、永 見とバス、永見八側に廻つてボ スト下に トラ イ、ゴール成る スト下に トラ イ、ゴール成る スト下に トラ イ、ゴール成る 大澤良くフオローし でつぶされてルーズとなつた が工大、例に依り見事なドリブ ルに移り、大澤良くフオローし され、依然工大優勢に攻める中 され、依然工大優勢に攻める中 エ大も亦下、W、ドロブルで盛 エ大も亦下、W、ドロブルで盛 なだ。アイ、ゴール成る エ大も亦下、W、ドロブルでなが エ大も亦下、W、ドロブルでなが エ大も亦下、W、ドロブルでなが エ大も亦下、W、ドロブルでなが エ大も亦下、W、ドロブルでなが ながこれ、な然工大優勢に攻める中 はないたが なが、上事は猛烈た下、W によってが によってが によってが によってが によってが によってが によってが によってが になったが に

と 奉天に赴き情勢如何では哈爾 を 本天に赴き情勢如何では哈爾 に 通るの東京出發を可なり場合と思います。 と主張一排日祭止條項を加って條 を 無した事なく今後は極め で 自由に其の時々の情勢に願じ と主張一がら見て全體の な、更らに大所から見て全體の な、更らに大所から見て全體の な、更らに大所から見て全體の で 自由に其の時々の情勢に願じ した様であるが政内常局は何多が会 した様であるが政内常局は何多 がつた

三分、T、B、バスとハーフの一三分、T、B、バスをおびやかしたが工事、吉田の好キックと十六分工事、吉田の好キックと中に次下、Wドリブルで漸く中央に返り向原理T、B、バスとハーフの一

日の終りになるとはこの修業中一切の俗談を 本ことはこの修業中一切の俗談を 大道然就一され細胞組織が更新される。要するに超級が大切の を要が、表別のになるとスツカリ肉形がなければならない。併してその際級の 関大ればならない。併してその際級の では、表別のになるとスツカリ肉形がなければならない。併してその際級の 関係が、表別で呼吸及食物の関係が ない。 では、一され細胞組織が更新される。要するに超して では、表別の関係が ののでは、 ののでは、 では、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 の

東郵日鐘鐘大大銘 安高引寄 豆豆 五東東銘 新船糖新紡新株柄 大 値値値値 東 先中新當 先中品新株柄 東 神戸 〇 〇四六十後 八不不六/三七場 〇九六五引 〇申申(〇〇〇 〇〇〇〇東 七八七八 四四小四新 〇 〇〇 □□□□□ ■ 後 八九九不不□場 □□□□中□ 節 二二三後 九九一場 匹六九引 〇五八 二二三後 九九一場 五八九引 七〇九

---0二後 ---七-場 --〇九一-引

▲日時三日午前十一時半▲場所 大連ヤマトホテル▲會費一圓へ 管費と引替のこと)▲締切二日 で午迄

日 報

年 主義となつたものであり、その三くなくとも倒興漢から今日の三民くなくとも倒興漢から今日の三民しつつあつたのであり、すなはち のは、それからそれへと常に變易へ、その革命精神の内容といふも でとから考察したときには、まだれ上から三年にもなるが、支那とれ上から三年にもなるが、支那と 南北統一の近代的國家への こんなことで、質の國民 斤となると.

四

昭

日

九

を對照としたときに、われわれは を對照としたときに、われわれは を対照としたときに、われわれは 人の考へ方であらうと思つた。物北方人の考へでなく、性急な南方でなく、性急な南方

满

解釋を異にするところから、とも、理論的には、この三民主義の を別にするところから、とも

月

と であるけれども、いざ事實上の實力であるけれども、いざ事實上の實力であるけれども、いざ事實上の實力であるけれども、いざ事實上の實力であるけれども、いざ事質上の實力が、 もう少しく自己の力量を涵蓋する を思ふ。然るに自己の力量の如何 なる程度なるかを顧みず、ただ皮 と思ふ。然るに自己の力量の如何 經濟的に、外交的に文化的に、 するのではあるまいか。政治的 は、すこしく、否、大に重きに

+

=

るにおいては、東北省としては、やむなく獨自的立場において、中やなく獨自的立場において、ロシャと適當の交渉を進めればならめといふことになるのは、當然すぐるほど當然のことといいはねばならの。

経て南下したが電脈輸送 | 氏の西北軍事に就いて左の如く語る | |

の衝突位で大した戦闘は無かつた四師は駐馬店に在り、前線は前哨の衝突位で大した戦闘は無かつた

五十一師の前線部隊は紫芝鎮土地關蔣等で西北軍と破職を交へて 地閣蔣等で西北軍と破職を交へて 地閣蔣等で西北軍と破職を交へて 地閣蔣等で西北軍と破職を交へて 地閣蔣等で西北軍と破職を交へて 地閣蔣等で西北軍の前頭部隊は 電灯 中里路りである、中央軍の飛艇は十里路りである、中央軍の飛

模範小學校の各校底に於て開演。 も十一日迄省立第一中學校及省 る事に決定し目下準備中である

西北軍事勃發のた

の不通

て極力職化を跳ばしてゐるとだらうと見られ支那側は例に

だらうと見られ支那側は例によつの秘密結社は自然崩壊するに至る

有してゐた哈爾賓監獄婚師ラーに こ連絡の疑び

南京政府

0

視察員來吉

故澤幡巡

遊部長

殉職弔尉

心金募集

募集の演藝會軍隊慰問資金

表院夢能以一行は北五日午後十一

義を第三線として防備に當つて居 2000年の話に第五路軍は黒石陽 見舞して居る

同夜気州に引返したを撃退し其後一向進撃を見ないと

を執つてゐたとの懷疑である。開墾は勢農公館共産黨員のある。開墾は勢農公館共産黨員のおいてゐるものに對して職務

と 時時別列車で南下、南京に別場たこれで南京政府の東市で南下、南京に別場たこれで南京政府代表のハルビンにこれで南京政府の東部開選したが、中央政府の政局が安定するまでは南京政府の東北四省への進出は一時 陸氏一行歸寧

の張派が山上に土機で陣地を造つ の張派が山上に土機で陣地を造っ 地響する砲壁が孝義村まで贈へる 地響する砲壁が孝義村まで贈へる で前線に向ったが孝義より西 田の把子山龍頭山には五十一師 ス

● 三行一回 金八拾五錢 ● 五行一回 金 旁 圆 ● 五行一回 金 旁 圆 ● 姓名在社中一回金献拾錢增

満日家内

提灯

或一 電七七 一四番 地前川商店 一四番

貸衣

電影器用

であるや

佐員 入用市内に離婚なる保證 大連錦町四 丸 大 商 行

斯通三五電六六六三大車案內社 審賞職電話賣買

男女 有給外交員來談

市古 ニエスノ

日二三 大連樂鈴舍

東部町 | 戸田洋庁電三九〇三番 | 小島 | 柳島具類一式 | 一部 | 小島 | 柳島科霞

時計 技師入用を知る 揺取東四條面 緒方洋行 社員 招聘固定給支給

女給 入用十八歳より廿五歳迄 女給 入用素人にて4可有給山 村田張場 旭亭 電三四五三 大給 入用素人にて4可有給山 ででは可有給山 女給入用

金

融

算盤の御用命は

ミシ

常盤繻河島ミシン店電六六八四

金庫 間宮式 手提金庫 間宮式 手提金庫

比速 地 変 洋

遊工舎 電池 部 電三三六四ジウ 電自動車オトバイラヂオ

ラヂ

才五球式一切百四十圓沿 率天浪速通 率天浪速通

山 地內 型 地內 型

被鳥町 五品食堂 金融 小口月減又は日掛にて 電呼出六六五○ 金融 信用並に電話其 沙河ロ巴町九三

安給 カフェーコンパル電公式 大給 数名屋内機像に付至急入 野町 ライオン 電六二七四 市野町 ライオン 電六二七四 取引所継續食堂 電話六二 人用優遇 本人來談 西通三五電六六六三大連系内社 壁きせずに貸出 壁きせずに貸出

大連市大山通 小林又七 牛乳 牛乳 大連牛乳株式會社電話四五三七番

枓

大連自動車練習所電二一三四五大連市大山通 小林又七支店大連市大山通 小林又七支店 ニチ ロパン 電話七六八五 ・ サロパン 電話七六八五 ・ 大八五 牛乳 なら大正牧場 パタークリー

薬及治療

ラヂオは何でも

三〇一A定價一圓 一九九、一二一家圓

ガーミシンは常盤橋

蔘精 チチ 大達市浪速町特田順天堂財鮮總督符官製

其他家務類/診療 課總有二丁目太子樣前 課籍有二丁目太子樣前 實籍九二四〇十十 日本地史の研究

理學博士 遍應 岩崎重三氏著 ▼ 送料金 三十二 ・ 送料金 三十二

大連撃城町連五八 南府堂園山 大連撃城町連五八 南府堂園山 大連撃城町連五八 南府堂園山 「、貫立管の若返り」 大連警域町通五八、南庭堂眉山大連警域町通五八、南庭堂間上流を電子才部電大七三九隻枣和洋行ラチオ部電大七三九隻枣和洋行ラチオ部電大七三九大連警域町通五八、南庭堂眉山地充電ラチオ政 **淞圓明** 會。一九四話電

性 病 敬豐下疳 皮膚病

東京には、 東京には、 東にはにはは、 東にはは、 東にはにはは、 東にはには、 東にはは、 東にははは、 東には 野中醫院

番の三三三話電

x メ メ メ シ 線

門專

| 古道|| 高僧|| お道具高僧|

弹 小身際

院海線方面 戦況視察記

が石装成家力

向がある。この状態で進めば戦人で 平漢全線

では、東北省の對露外交標を獲得 は依なくせられるやうた失態を重 はくないで、東び手放すことを はなくせられるやうた失態を重 ないと欲して、再び手放すことを はなくせられるやうな失態を重 考へ來ると、支那の革命完全を夢ざるを得ぬのである。かくの如くざるを得ぬのである。かくの如くするを得ぬのである。かくの如くするを得ぬのである。かくの如く つゝある支那の有龖騰君は、最もみ近代的國家に建設せんとを急ぎ

崩壊して行 不逞鮮人 各派の單一化も實現せず

Ħ

政治、經濟の理論的願望が南

離合集散する現狀

頭くは工明をで でに依り円慰金を募集し置き でに依り円慰金を募集し置き はた。ず兵の勇猛鬼神の如き はた。 ならず兵の勇猛鬼神の如き はた歳を頭に四人 はりる。 はいる。 はい。 はいる。 はい。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はい。 はいる。 は、 は、 は、 は、 は、

解破魔之助氏が四名の馬賊捕縛に當り をしたるは際察官の鑑鑑たるのみ で、依つて下名等相計り左記規 に堪へず、依つて下名等相計り左記規 に堪へず、依つて下名等相計り左記規 である資費の一部に贈呈せんとす。 はらんことを

は秋熟多蔵

A 來つたものである。然を多減の氣長さを餘儀なく4

平帝間の三十一外三列車は毎日で

(日曜火)

はれて居る、海岸通の夜の店前に知らず学値位が至當の取引だとい 『古林發』聞島局子衛駐都延吉鎮 赤化取締通令

ると

て齊々哈爾、滿洲里に向ふ筈でに二日間滯在それより哈爾賓を

クサ 及體審の特 大連劇場隣根本薬局電七八六二 大連劇場隣根本薬局電七八六二

早

近金

0

金

屬

材

料

総の

に際在光分な映察を遂げた後長春にとりに変した、一行は約一週間吉林の野等に選べられて城内衛帝歐占

十一月十

· 日 迄

信濃町 景山舟店 電七二〇一信濃町 景濃町四九木造平家建坪

西 及 國 市 大

樹科醫院

南征雜錄

であつた。大にやるこれには奉天中

や側を駆迫したのであつた。であつた。調子に乗つたを下あった。調子に乗つた率天であつた。調子に乗つた率天は、一様を陷れまた一切が、風に、淡音権、電政権といる風に、淡音権、電政権といる。

は、草木畜獣として流石に製の は、草木畜獣として流石に製の は、草木畜獣として流石に製の のは午後大時、穂間に潜いた。 ののみで・豊郎の中に拠れ住者。 や頭に潜いた。 長の穀内で 長の穀内で 長の穀内で 長の穀内で 大の監禁を思はせる。 地頭に潜いた。 最近は主にアルゼ 長の穀内で ・豊郎の中に拠れ陸独げを は、中央 の中に拠れを関いた。 を表は、中央 の中に拠れを関いた。 を表は、中央 の中に拠れを関いた。 で、豊郎の中に拠れを関いた。 で、豊郎の中に拠れを関いた。 で、世間に対し、 で、世間に対し、 で、と出掛けた。 で、 のは、 で、 のかで、 ・豊郎の中に拠れを関いた。 で、 を表は、 のかで、 のかで、 ・豊郎の中に拠れを関いた。 で、 のかで、 のがで、 のかで、 のがで、 のかで、 のかで、 のがで、 は、大の商店立計が海岸の街や は、大の商店立計が海岸の街や 大川宮の賑はひである、暑い土地村の 大川宮の賑はひである、暑い土地村の 大川宮の駅はひである、暑い土地村の 大川宮の駅はひである、暑い土地村の 大川宮の町である、暑い土地村の 大川宮の町である、暑い土地村の 大川宮の町である、 を 電しく、変形 製物の 人種を翻離し このカバレイがあつてジャズの 音喧しく、支形 製物の製し 監も 育の 電しく、支形 製物の 製し 医も 育の で、中流以下の商権は 幾んに入込んだ地。

は、必ずしも安く卸さず、今日上脚地に立ち、一石二島内の横槍上脚地に立ち、一石二島内の横槍

は埋立工事の爲に地域に繋がれては埋立工事の爲に地域に繋がれて居るが、此種も今 等の掌廻に支配されて居るさうだ、之に次いでは印度人アラビヤが、之に次いでは印度人アラビヤ 恰度シンガポールやコロ

や公共設備は能く整ふて居る、 る、勿論後等一流の點値を唱べて、日本人と見れば帽子を突附手と縁物細丁を突附 金ピカ物 中でも旅行者の好

 (Ξ)

した大選河も差別すれば結局納損した大選河の高窓的發展は運みとして振はない、耳ばの資本を投げして振ばない、耳ばの資本を投げる。米國人の商窓的發展は遅れとして振ばない、耳ばの資本を投げる。 だ」と疑いたが、私は寧ろ其處

就いては搬ね井間に 間に知れ彼つて居 の勢力が設置し

ンの基督青年育も變つて居る禁酒都市に、前途の如く酒場の数が非で居るのは奇觀である。 で居るのは奇觀である。 で居るのは奇觀である。 随台味もある、特殊といへばコロ陽に特殊の緊張が形造られて居る 橋支局 日報大石橋支局、大連新聞大石 協會、大石橋地方委員會、滿洲 大石橋地方事務所、大石橋市民

弦に説明して見たい、運河といへ るが、私は單の次手にその一般を

のれるが佛國人の斎想に始まり、界交通界の二大事業だが、そのい

療治御好みの方は

及

鋼

0

研

究

本多光太郎氏著

鍊

金

術

近重

質證氏者

性睾丸炎 鍼灸

電話四六二九番

ゴム 印の御用命は

印書継需電話六一六一

が ム・ソーセージ特内は 部四〇二三へ 諸四〇二三へ

印

諸貨物運搬

理學博士

三枝產雄氏著

がけ

3

ば蘇士と並んでパナマのそれは世

建河流域 の米國守備兵製 (電景)の北だけ安息日の市中には軍服姿のれだけ安息日の市中には軍服姿のれだけ安息日の市中には軍服姿の (場合人が頻繁である、場合てこの (場合人が頻繁である、場合である。場合 暦を覆らせて居るのも已むを得な將本を巡逻した米國が、青年會に 若くはその勢力に依つて完成され 英米雨園の出有に聞し、

直ちに近世文明の中堅が拉丁民族でたことは興味ある問題であつて、 種に轉移した象徴だといひ得る。

實印

の御用命は

銀 治 療 法 東京冒筆校出身 藤永鍼灸治療所 連定[曹陽病子宮病 原本 [曹陽病子宮病

刊

動論を見て、更に驚異な際たにするである。たれ等の概念を割合にアインシュタインが1のに努めてある。先にアインシュタインが1のでありて数學的取扱を割合に写易に知らえとするであり、大等の概念を割合に知らえとするであり、大等の概念を述べた。

電七八五九番

印書

通(日本線近) 吉野 號 電話八五九八番電話八五九八番 駅 號

東京学院は其基礎を整治にし、更に 進んで著しく商権を極東に擴張するに至ったが、パナマ運河の鉄工 るに至ったが、パナマ運河の鉄工 をできたが、パナマ運河の鉄工 中古 と交換可信機町市場正門北六軒目川野洋服店電六五 市九 品高價買入九個報次第 一大谷商店 大谷商店 古本 高價買受御報愛上

四ツ辻 香川商店 電六七五一不用 品特別品 置質受

寫眞

事門のヤナギャへ 電話七九五三番

ライト寫實館電三六八八 支那服の準備有日本極際大連寫實館晝夜撮影男女

元薬寫眞館 建五九八二 連町三丁目 連町三丁目

E-00

本でかり、 できます。 できまた。 できた。 できたいた。 できたいた。 できたいた。 できたいた。 できたいた。 できたいた。 できたいた。 できたいた。 できた。 できた。 できたいた。 できたいた。 できたいた。 できたいた。 できたいたいた。 できたいた。 できたいた。 できたいた。 で

天

三 保 之 木井下江 一部田田田口山口

十二、民國旗の

助率 教 授 大

治

蛙

鳴

宗叉光十二の意を問ふ。 皓東答へ出叉光

別と記し一本の線の長万旗に白字をと記し一本の線の長万旗に白字を

左列の如き文句を書き店頭のガラと記し別に五色の長方形の紙片に

君贈券一張

意豫师妥治

透即來臨請購試為 應情起見、三星期內好

と記し第二は黑板に白墨を以て

特別大減價照實碼再打九

に顕客を引つけやうとして居る。近米中國商店の廣告方法が著る近米中國商店の廣告方法が著る

#記では近れたり。之によつて見れば紅は自由、点は平等、自は博気を意味するなり。

薬を何處にも用ふるは目立つて見た記せり。近來取締打倒等云ふ言と記せり。近來取締打倒等云ふ言

藤公追掉會

(奏) 打倒虛偽拆扣本號確實員

大紙に大紙に

紙に

多利、社會諸君添辦衣服、諸嗣天氣楊邇見塞、秋季將逾復

禮 中秋 門 報 別 便 宜

禮物俱齊

太陽之旁有十二角、是太陽上生又見族式四方、中心有太陽一個を示すに

(四)

州外柔道爭覇戰 優勝

廿七日滿鐵道場で 華々 く擧行さ

三 野繩阿田橫前瀨 瀬 南 方 西田武 (方) (零)

糖東即ち等を取り紙上に書かきて 衆皆之に賛し綴いで其圖案を問ふ

會を極めて九時散會したと

0

無州に敗れたりと難も間もなくしるあり。志ある者皆日本に閣學しるあり。志ある者皆日本に閣學し

と、青天白日族の起源此處に在り を、青天白日族の起源此處に在り 無州に敗れたりと雖も間もなくし で草浜顧、蔡元忠等の此事に費す るあり。志ある者皆日本に智學し 革命の氣全支を離ぶ。日露開戦の 革命の氣全支を離ぶ。日露開戦の

(裏) 取締慥言減價本號確實眞 正大減價 正大減價 正大減價

本號秋季減價九扣、諸灣凍臨勿 本號秋季減價九扣、諸灣凍臨勿 矢良機、運到大宗呢絨綢鍛、批 愛零市格外從脈、時式衣冠送禮 物品、承做新式洋服大氅。百代 唱片打汽爐子、化粧物品各口皮 質、華洋白貨腦有盡有、各界光 顧無任歡迎

意を引きつくありと記し別に著音機を以て往來の注

数山製鐵所長 千秋 寬昭和四年十月二十七日

吉

と記し第三も同じく黒板に

來快 買 吧

失勿 良 機

(表) 破天荒大滅價照碼再打

日虞是神人共憤、天日無光、我之物、用黄色者比得同帝王一樣之物、用黄色者比得同帝王一樣之物、用黄色者比得同帝王一樣之物、用黄色者比得同帝王一樣

醫大と奉中が 雨森(奉天)

を前日に増し餘興多く盛況を極めた。

十七日闕東廳營務 局 長 より「貴 署員の勇敢なる行動により强盗現 行犯人を逮捕せる由その勢を多と す」といふ賞電があつたと

决勝戦出場 州外ラ グ ピ の豫選 二十六日午後四時半頃千代出通り二十五番地と葵町入口角で千代日前草と小北門裡昌和洋行店員韓草は破壞され韓は全治一週間の傷を負ふた

働いた事を自白したが餘罪ある見 込みである 大晚餐會

で頭も

の技術に大き名野人の謝部あり盛。 の技術に大き名野人の謝部あり盛。 の技術に大き名野人の謝部あり盛。 良氏の催し 本林總領事 北滿地方を視察中の 處廿七日午後一時半濟急行にて 處廿七日午後一時半濟急行にて 處廿七日午後一時半濟急行にて 處山代議士 廿六日過率大連へ 本線にて來率 牽線にて來率 牽線にて來率 本線にて來率 本線にて來率
 本と日哈爾賓より歸率

車ご荷馬

突

事務所長 廿七日哈 で北平より來率 長鐵路局長) 二十 まで一般の観覚に供すと同日は八時十分から十八時四十

見通し不能の場所である為馬夫に としてるた四職皇の帯場車と働い としてるた四職皇の帯場車と働い で客車は三十分延煮過失は同所がで客車は三十分延煮過失は同所が

之

(四點)

田井

部下と判明

兩稅で華商壓迫

附屬地入口に頑張り

二重課税を課附する

0

方法に各特重物、各種商品に對し 一方法に各特重物、各種商品に對し 一方法に各特重物、各種商品に對し 一方法に各特重的、最初極度に 一方法に各特重的、各種商品に對し 一方法に各特重的、各種商品に對し 一方法に各特重的、各種商品に對し 一方法に各特重的、各種商品に對し

到る所の附屬地入口に我指局員が 数名頭號つてるて附屬地内に入る 数名頭號つてるて附屬地内に入る が 商品に難しては悉く高率の「出産」 数名頭號つてるて附屬地内に入り

田田山田

强盗逮捕

山東省生れ千金支那町潘事快である。 は二十六日千後三時本籍北平賢地 は二十六日千後三時本籍北平賢地 は二十六日千後三時本籍北平賢地 は3年金大衛十八番地自甌車尚王 遊館長利斑の影婦前借金票八百九 十圓ある季氏Cとを誘沈率天方面。 に高飛した 娼と高飛

農業實習所の

熊

돖

第一囘卒業生

石鄉

藤有城で氏の満銀市等は配電の加 ・ 原参一郎、守屋増生、山中繁一 ・ 京参一郎、守屋増生、山中繁一 ・ 京参一郎、守屋増生、山中繁一 ・ 山中繁一 ・ 山中繁一 ・ 山中繁一 千秋鰈織所をの弔蹄は左の通り盛期を呈したが似石溝鍛總裁及職職大武場に於て執行され卒前職を呈したが似石溝鍛總裁及

呼ばれる程しかく満洲の、中で へ連の運動界は日本的に有名と

へ地のあらゆる運画家から へ地のあらゆる運画家から

東古、三遊寺ことも『大 のるし、市内諸所に散在 から龍十四五打約百四五十 のるし、市内諸所に散在

二千五百本位のラケットを賣出してあるらしい、陸上競技はスパイク、シューズが其や額を占めてるる事は誰にでも百肯出來やうし、

要つて あるから 前線の 数 長店、 三越等にて も可な

事を考へれば此の

割が新れている

今度連鎖商店が出來ましたら地今度連鎖商店が出來ましたら地たいに其の發達を期してゐますとの言葉と山本運動具店宅の此れから大いに發達するであられれから大いに發達するであられたいに發達するであられた。

すので太いに力 破離するであら が、殊にラ

ある

兩洲運動界

ら見た

上で域線であるが、此の中約一點上で域線であるが、此の中約一點

山本はボール(山本製)である、 のでは、一つ一つの値数は硬球が では、一つ一つの値数は硬球が は、一般に安側に楽しめる関係か ら普遍化してある関係上全額の七 のでででは、一年間に約

山本こ體育堂だけで

自分のテニス部が使ふ破球を直接にカデマヤから可なりのポールを直撃買つてゐるし、三井物産、正金銀行、日本郵船の三ヶ所では

一年の賣上高が九萬二千

れ程の運動具を消費してる

裝類其他

大日午後二時より補綴俱樂部に於ける 常地宮智所劔迫部の主催にて二十 盛會を極む

劍道大會

るで 常地修養職支部にては強く治療巡 一て 開いの上地道が氏を迎えた十六日 で後六時より補煙俱樂部職間に於 修養團講演會

の一堂に於て開催され聴郷は堂にあふっぱ二千五日午後七時かり安東公會 非常な成別に

宮地警察署にては市内日支人の接続 を者に転し健康診臓を行ふ事とな が中四五の朝日に亘り富州警院に が大陸に於て成績長に が大陸に於て成績長に

大狐 山遭難者の社葬

羅前に致し英麗 ~ 慰むる所ならなり茲に鞍山製織所々葬を此に行ふに當り本職敬で哀辭を地に行ふに當り本職敬で哀辭を此に行ふに當り本職敬で哀辭を此

秋所長の弔辭

けふ終了式を擧げる ・ 本語の ・ 本語の ・ 本語の ・ 本語の ・ 本語の ・ 本語の ・ 一着小院、二音水天、三音派財 ・ 一音小院、二音水天、三音派財 ・ 一音小院、二音水天、三音派財 ・ 一音小院、二音水天、三音派財

金六圓六十錢の二一蒼瑞一)二分四十秒五分の二一蒼瑞一二 開場期 多少遅れる

に於て懇親何を開催する由 に於て懇親何を開催する由 に於て懇親何を開催する由 接客者の健康

北滿視察

報告會

瓦 房店

在鄉軍人總會

招魂祭

輸組加 現金 十一月 鞍 田村 買割引 盗店で 一日より年中實行 Щ

会と稱する事、協議委員設置の事 会と稱する事、協議委員設置の事 会と稱する事、協議委員設置の事 上の實績を上ぐべく現金質問品を 組合では内容の充質を計りより回 組合では内容の充質を計りより回 の發展に精進しつくあるが、更に複数で売し竪質な歩みによつて將水袋山輸入組合は阪元理事を始め各鞍山輸入組合は阪元理事を始め各 の他の決議事項

日から開催

一、現金買りしますした。 まの他に

加盟店職ざらへ品共同廉賣の

おいて、委組は大田の定例會にてたし、委組は大田の定例會にて一月九日康賢を行ひたし、委組は大田の定例會にて

一、協議委員會司會者の事 一、協議委員會は組合理事司會者と する事に決定す 一、委員會定例日の事 毎月二日、十七日の兩日を委員 會定例日とする事

古戰場視察

攻防演習係員

と モストワ新城大街の角に開繍した と モストワ新城大街の角に開繍した、同 は釋放するとの書面が届いた、同 は釋放するとの書面が届いた、同 は釋放するとの書面が届いた、同 が した かん でのうちに消 えた

察を了へ十一月一日南下の豫定東大野間教授は本月三十日來哈視

表がある筈 総島減鐵事務所長は十八日歸哈本 発島減鐵事務所長は十八日歸哈本

濱江雜姐

柔道大會出場

明 伊藤公逝さて十年の追悼書は北六 化 北 修蔵に次で民會長の追悼書にて 単行な と ン小學校の各學生は先生に覚察さ と ン小學校の各學生は先生に覚察さ れ 受罪した

美。 颜

0

白世

粉 は

純

粹 無

ます。そしてその後を今一度

優美な頭を恵まれてゐる」歌

でありますのに、我が國の婦

くする為めに

を吃度

次を御覽下さ

47

▲平早く敏活なお化粧には本品をし

▲上品な滞新なお化粧には本品をよ

日

美。

を

御注意に就て

著るしく

▲素顔の整美さに…

★分子に獨特の研究:

粉。

(輪音を肌色の三種あり)

品。秀:優;的。學:科。な 心。安心 6

化幣美 美顔ユー お顔の為一番 質 粉 717

が、又一方折作美しく恢復が、又一方折作美しく恢復

容色の美を十分に登揮せられば科學的に優秀な品を選んでは科學的に優秀な品を選んで んやうお貶めいたします 洗顔用水に就て

洗顔の水は飲み水にして差 なるべくならば微温場にして なるべくならば微温場にして

と必美質

御愛用の 多くなり ましたし

あぶら性の方や 育" 年ばいの方にも

婦人美の中心となる

流れるこいふ程の事は殆ごな の頃は少し位は暑く感じる稻穂が登り柿の色づく今日 快よいそよ風に吹かれ 川に散策するによい 御實行を願ひたき事ごも素顔の美を増すためゼヒ は顔の傷めには(洗顔の時でも)石鹼よりも も入浴の時でも)石鹼よりも ・ 大浴の時ですが、特に美顔洗 中せるのですが、特に美顔洗 中せるのですが、特に美顔洗 かは皮膚のために大へんよい は男子方ミ違つて柔かく且つがありますが、婦人方の皮膚 洗ひ方をなさつては却つて弱いものですから、然うい 弱いものですから、 を痛めます。ごちらかごい いふやうな洗ひ方をなさる 洗顔の仕方に就て 皮膚は磨きさへすれば綺麗

ではら、そのあこへすばやく 化粧川美顔水を (クリームをお好みの方でしたら美顔クリームを 大切に保護なさいますやうお 大切に保護なさいますやうお ですが、素顔を外氣にあてる後には兎かく然うしたいもの 快いもので、洗剤や入浴の 事は肌のためには最もよくな クオルで丁寧に水分を拭きこ 素顔の美しさ

も、垢ヌケして美しい素質にのあまり綺麗でなかつた方で これ等の事々を少しお稼け 新用美額水で滅したガーゼの で今一度丁郷に押へ、更に化 で今一度丁郷に押へ、更に化 ます。白粉が一通り附きましたら牡丹脚毛でその上を押へ てよく落附かせ、それが乾い てから、やはり薄いめの白粉 を前のやうにして今一度でも りご含ませて丁寧に前に塗りりこ含ませて丁寧に前に塗り、神毛にたつぶ お化粧の仕上げ 然うして白粉がお好みの濃 制造 いくる化粧が出來るのであります。白粉こしての作用のります。白粉こしての作用の作用の

つ白すぎず、誠に自然な美し やうな、それでるてあまりまか少しもなく、キジから白い

白さを好む方

であります。

▲色の白くない方の白粉ー

通の白粉では脂肪が白粉を弾いてよく附かず、また脂肪の ために白粉がわる光かしてお 化粧がごうも不自然になりや すいものですが、肌色美顔水 でする湯特の美容成分の作用 で、さうした欠點を完全に補 ひますので、ごなたにでも努 ありますが、この性の方は背

一粉に白ざいなの類がたね乗がを水気性が化け



で活々とした上

一寸附けるだけ

次に白粉に就ての御注意で

現はし生地まで 品なお化粧美を のない水白粉! **場ヌケのする類**



上品なお化相

▲上品なたり化粧に 顔 粉。

殊 お顔の手入れ 適 切 15 0

お湯でほてつた顔をひんや **抗顔後の御注意**

のばし、それを萬遍なく顔にない。大に美顔クリームを極く少ない。 て、顔も頭も天念に拭いておこつてから、化粧川美顔水をこつてから、化粧川美顔水をこつてから、化粧川美顔水を の上をそつミ押へます。 の上をそつミ押へます。 で洗顔がすみましたら、柔か

白粉の附け方 で、之を顔に附けますこ、この微妙な肌色が皮膚の色にぴつたりこ融け合ひ、そこへ活ったりこれ…こいふ具合になりリミノル…こいふ具合になりますので、色の白くない方を等には真白い白粉をお附けになつた時のやうな態ごらしさい。 心配でしたら絶對に御無用でも知れませんが、然ういふ御いるお疑ひになる方があるか 軽い肌色味を帯びてるますが粉は普通の自粉ミ違つて淡い い研究が打ち込まれてあるの ます。 なる程、この水白

れを土墓こしてお化粧なさいますこ、この性の方の大敵である化粧崩れを防ぎ、また一郎の場合と見せてある。 白粉を一面に刷きつけて、そ割けになります前に、美顔粉 atになります前に、美顔粉がいふ方々は水白粉をお 多いやうな方の

なさいますご、誠に清新な、
のある時でしたら次のやうに
顔になります。併し少しお暇 はだしい御用の合間なごに一んの平常の軽いお化粧ですが、ほ く掌で附けておくこいふだけ顔水が肌色美顔水を一寸す早 はく美しいお化粧が出來ま お化粧をしてるる限のないこや、突然のお客様で落附いて 下地の拵へ方 ふやうな時でする、白色美 、突然のお客様で落附いてお比較を…さいふやうな時 か片で白粉の上を軽く押へて おきます。かうしており

P

な

徐分の白粉を除り去りますか 附かせるこ共に、浮いてゐる

お探りになるわけであります

をそのまゝに丁寧に延長して 面倒がらずに見て顔の手入れ

のをお選びになるやうお聞め

して必ず鉛分のない安心なも自さが上品に美しいもの、そ

ものであります。

い色 質の の白 方。く タな

脱色美顔水をお用ひ下さい。 化粧法の白色美顔水の代りに 脱色では、水の代りに 肌色美額水ご言へば何だかお 他になるのではない こかすればずるぶん濃く白くな方々は、肌色美顔水の概を多く振らず、除り濃くない所をお附けになるのです。然うしたお化粧上りの白さは、真っしたお化粧上りの白さは、真っして、本常に慎ましやかな白くて、本常に慎ましやかなり、上いいのでは、ないがあり如何にも清らかに白くて、本常に慎ましやかない。 やうによつては、即ち、瓶を がんでお用ひになつてるます 肌色美顔水ごいつても、附け 肌色美顔水ごいつても、附け はそれを二三度重ねて附ける

化粧が

を一度に塗るよりは淡いめに変った場合力がずつこ美しく附き、また保ちもよくなるものですまた保ちもよくなるものですまた保ちもよくなるものです。 がわるかつたりするこ殊に目識によく見い、お化粧の具合いなく、そのくせ他人からは よくく一御注意なさらねばな立つて見にるものですから、 りません。次に白粉は濃いの 頸筋は自分の目には見に 度く行はれてるます。 が得られますので此の仕方が が得られますので此の仕方が

頸化粧を美し 鏡をなさるやうにして下さ類のお化粧には成るだけ合 くするお心得 ますこ、白粉が質にすらて、 上品に美しく、生れつき生地での自粉は他の自粉に違ってこの自粉は他の自己が如何にも から白いやうな美しさを現

いのミ、ノビやッキが優れてからして特に頸化粧用ミセモ製造されたもので、鉛素や白製造されたもので、鉛素や白製造されたもので、鉛素や白製造されたもので、鉛素や白製造されたもので、鉛素や白製造をは、 美顔白粉が廣く賞用されてる。此の頃頭化粧用ミして関係 よいのにもよりますが、

を落した素顔の綺麗でない方常に清整で綺麗です。お化粧などの時でも非 が整つてるるためお化粧が大 でたからな仕方で美しくなった方は、お化粧の時は生地 であるためお化粧が大

皮膚の為にも良い

極め

て清新な薄化

粧の仕方に

つ

5

斯うしたお化粧は非常に満 類な、そして上品な美しさを 類すものですが、珠に白色美 腹水は白粉であるご同時に、 皮膚を活々を集へ生氣を 皮膚を活々を 皮膚を活々を 皮膚を活んであるご同時に、 皮膚を活々であるご同時に、 皮膚を活んであるご同時に、 なさるがは、洞時に素顔的 なさるがは、洞時に素顔の美 なさるがは、洞時に素顔の美 なさるがは、洞時に素顔の美 なさるがは、同時によりでお化粧 なさるがは、同時に素顔の美

前に氣の引けるやうな事はあれれれなしの時でも決して人 こ共に、また素顔は素顔で垢。 そうし易くてお化粧楽わする メケして美しいのですから、

つたり、剝けたりするやうながありましても自動が斑にな 少々位汗が出るや

そして、底 最後に、美しい 白さの美顔粉白粉を少量、粉 門でが及はパッフに含ませ。 押へ附けるやうな氣持でうす がない。 事がありません。 同時に皮膚の美

張り平生からの手入れが大切であります。洋顔や天浴の際には隅々まで丁寧に洗ふ事。 常郎 ははない とりしょ から 高塵に整くる事等々、 きから 高塵に整くる事等々、 きから 高塵に整くる事等々、 来るでせうか? それには矢 な質化粧はごうすれば出 な質化粧はごうすれば出 人方の間には、やしまするご 面の割合に頭を軽く見る嘘き のありますのは大へんに惜し 手入れが肝腎 矢張り平生の ても自粉が一番大切である事 は中す迄もありません。自粉は中す迄もありません。自粉は、お化粧上りが唯白いと云

風になさる事です。斯ういよも別段しにくい事もなく、人 も別段しにくい事もなく、ム も別段しにくい事もなく、ム くたります。 環化粧 てからまた白粉を塗るこいよれが続い 頸にはどういふ

ですがお化粧には何ミ 白粉が適切か?

手早く

上品品

にお化粧の

出來る自粉

た。鷗の明星が東の窓にうつと

タキに出ると、東の空がほんの

が戦的な手をあげてさしまねいて

くかぎり青い海ばかりこ もめが日に映えながら高

私達は貨物自動車に乗り込むと、地をふんだ。

所配所の實體がほ

ッと淋しく

を渡って藻にふれ静かに静かに消 そして美しい侍女の舞ふ音樂は水

存って居た事だらう。 本意に昨夜からどんなに此の朝を

時三十分、三時五十分時間とにら

沿岸は思ったより平凡だった。二

かいやかしい風

着かないがそわく! の時代、船は止つた。

船は止つかっな

した無持で陸

を持つて静かに階段を上る。 無からのがれたかつた。 光節

洗配道具

いだらうかっ

質的な御殿が立つて居るのではな

ちずら寒い風が身にしみる。星の 洗価所もにぎやかになって來た。

平野だり

家が上絶へると見渡すかぎり買いたなつかしさに……。

ムンカテをふつた、陸地の人を見

を潜た支那娘が立つて居る。みな

私は嫌だつた。一般も早く此の空

渡の下には鱗の海草についまれてかられる藍はなんとも云へない惨があって居る線に私は思つたった。

て居る。

るはかを持つて大きく輝い

既職と終へ襲も構んだが離も迎き

作つた支那の家の前に真赤な着物

十二時十

白河にか」る。どろで

海水が黄色に、

にごり

「まあ素的」「まあ素的」が盛に

て来ない。

五時十分一

やうやく水で線がは

きりして來る。

五年生

野

光

天津の町の印象

の情景

•

•

•

•

爾生高女北支那旅行記——《ID

く低く飛んで行く

物珍ら

て居ましたが時々居眠りしてゐ

た「これでゆつくり居眠りが とながパタリと倒れて電信の でながパタリと倒れて電信の でないがパタリと倒れて電信の でないがけた

の主低が居ていつもエデソンか エヂソンの居る次の瞬には電信

低は幾度となくエデソンに注意

て僧信を打つのを怠けるので主

を與へました。しかしエデソン

黒殿りをして居たが電信の機械 州来る」とエデソンは相變らず

H

いので、ある日主低は「どうもは相顰にず浦信を怠ることが多

.

•

つてゐた。主任も今度はエデソ は正確にAの記號を次の驛に送

思つて

にグウノー高いびきで眠つてる

、考へが存んだっそれは時間とないかと考へてゐたがある日い て堪らないので何かいゝ工夫か

汽車が通って行ったのも知らず ばで屈眠りをしました。そして て、エヂソンはよく電信機のそ B

るので夜になるとつい眠くなつ が豊の間餘りに一生懸命勉强す デソンはその間にいくらも勉強 遺間の間はまる切り暇なのでエ

ることが出來ました。ところ

(六)

か十五歳の子供の電信抜手になか十五歳の子供の電信抜手になることが出来た。館信抜手になることが出来た。館 エヂソン物語 通信を怠ってもらっては困るそ 3

信で話をして見やら

と辞信をし

たが少しも返事がない「こりや

主任は間だったので次の瞬と電と喜んでみた。ところがある日

ンく怠けないでやつて

ふるわ

ら毎日二 ろで君が眠くならないやうなよ でエデソンは眠くとも居眠りす の爲めに汽車に事故が趣るやら のAの記號を僕のところに送り 若し三十分毎にAの記號を送り よ」エヂリンもしれには述った ることが出來ない。それで始め なければ居眠りをしてみること い方法を教へてやらう。これ いくかい、三十分毎だ 分毎にモー つかり感心してしまつたさら 號が自動的に發信された。主任とが鳴つてそれと同時にAの信 ない」と主任は汽車で次の瞬に何か變事でも起つたのかも知れ 思ひながらヒヨイと電信機の方 態を幾つてゐたのは不思識だとして《三十分每に正確に』の記 を見ると丁度二十分の時間のリ 高いびきで眠ってゐる。それに 電信室のベッドの上にグーグー かけつけて見ると、 もエヂソンの知識のあるのにす

過した時間を電信で次の際に知

らせればよいのである。だから

るといふことは大した出世なの

だ。エデソンの仕事は列車の通

一等になった 兒 の

ヒュウくなしい風切って二輪車に乗るのはゆくわい

うれしさ

はじめはヒョロく うまくのつて 行くんです チリンとへいならし

居たが、豊の勉強の疲れで眠く の中は正確にAの記號を送つて

突となると腕がどきく がは百米突でした。 いっぱまりました。 と考へないで、だいじゃうぶだと でたまらな 山本幸子 本子 いけれど、何時か校長 した。いよく百米 八時三十分から くして心配 すつてんどう 朝夕乗って うんどうします今ではうまくなりました

い」とおつしやつた事を思ひ出し 走れば、まけることはな 起るコースの上には人がいつばい つた。それは八番コースである。 た「あの人たちが私が走つてゐる 出で居るので急に心跳になつて來 コースについて向ふを見ると私の てつくじをひいたら十と書いてあたっそして「だいじゃぶだ」と思

ら」その時体藤さんが走って行っ と言つて ときじ やまにな つたらど うしよ 「此のコースは起りますからの

はしたが又出てくる。私は逆る時 起りなさい」とおつしゃった。 佐藤さんは「若し起ってゐる時出 つてもかまはないと思つてゐたら 出て來た人はスパイクでふんでや てもい」から一しやうけんめいで て來た人はスパイクでふんでやつ 「用意はいくですかしますよ」 いらつしやつたので安心

送泉双窄 大連市官處町三九回三丁回 林營大連三二四六番





大きさをひしく~と感じる。自然の立つた時――自然の美しさ自然の 流れて行く様だったれて行く様だった。 の中に生きて居る事をはつきり 界フランス租界等美しい町に入る く西洋婦人 つけるショーウインドー快活に歩 なく、降って居る。 なく、降って居る。

るの香水の薫り、お白粉の香ひ、

煙草

女性美の誇です

黒髪と若さは

連設される。 つた。 の綺麗にお掃除の行とないた都屋 私は何々彼々が珍しく見えた。しなかつた。一日船の中で暮した 車は門がまへの立脈な旅館に這入 十分程定ったと思はれる頃、自動 フランス公園、ヴィクトリヤ公園 私は支那に來て居る様な氣が 中原公司と云ふ支那百覧店に置入 る。非常に大きいが品物の七贈は 日本製だと云ふ事で少なからず層 日本租界に這入る。日本租界 時々関車の警笛が人々の心を

貴女をスマ

トな女性美に

純植物性のメヌマポマード

さに

\$ 1.J ...

見惚れるやうな

髪艶の黒

見違へるやうな

自然の若

夜は歐米化した天津の町を散歩すりとお風呂に入つた。 おいしい御飯に舌斑を打ちゆつく ープを潜た脳髪の脳毛の長い唇のるのがんと電燈のともつた町をケ んを想像して見たる は瞪火の光ではトッと赤くほ Z. ... 由に強遽して行く事が出來な されて居る爲め、町がさびれ 居た。暗の日本租界をつ 質点なお いて東はと自機税

M-12

力

ノタンケン

(129

12

111

チ

作

無病で稼げ

かぜの神には訪問謝絶!!

ÿ

ラ

ウ

畵

ナイノデ 大チャンヤノツベテマッテモ カ ハ シンパイシテ ソトニデ オデサ オコツ パウヤ 大チャンハ

學での ま忘れて述った。 といふので元氣が出て、きつ うすぐ決勝といふ時、 「能岳城しつかり一等だり 0

走って、ひきかへして來た。とむ中で飛込んで三米突位さきま 田先生が ぐそばだと思ふと兩手をあげて テーブが見えた。 C

とおつしやつて兩手を掘って つくはないかし 「えらかつた、えらかった、

いました。逆る前皆が 一等とつたら二十五点になる 「しつかりやつてよ、あんち

といったことを思び出して「 だから、 とかつた」と思ふとう 一等とつてより れ一等 ◎最奇の薬店及難貨店にあり

くてかまりませんでした。

毛

美;

大連南山麓柳町三二(共營住宅電車停留所前)

永原小兒科醫院

電話七九八

七

コム手様は贅沢品ではなく

郷海的蜜用品です。 「「一日の燃料十銭に見積ればる期中を期炊事用にお湯を沸すに一日の燃料十銭に見積ればる期中を期炊事用にお湯を沸すに一日の燃料十銭に見積ればる期中を期炊事用にお湯を沸すに一日の燃料十銭に見積ればる期中 經濟上実用的日用品なり



定 優 一組 一 関 (長科共) にが値付てありますから抜き自由です 日本 日 関 (長科共) 製造 店にあり # # # # # # # # 10 | 日本ハナキゴム製造所

內科專門

櫻井內科醫院

花小內 柳兒 科科科

化目 胜貨

大東

非

田

京樂堂

ナセ欧語 口六



語結核性疾患の豫防治癒に ルの解熱殺菌兩様の作用を併合ブルトーゼの増血とグアヤコー 『呼吸器病の後生法』 肋膜炎 慢性肺炎 療護 氨管支炎 喘息 百日喷射結核 噪頭結核 慢性

町整業園東市版大 四二 店商吉友澤蘿 北京 京京 東線

世は緊縮!

かぜとねつには の間の四の

わがヘブリン丸こそ真のかぜ楽であります。智態を害せず、心臓を保護し、頭痛を鎭め、外の智筋を害せず、心臓を保護し、頭痛を鎭め、外のかぜの薬なら何でもよいと思つてはなりませんかぜの薬なら何でもよいと思つてはなりません

臺灣北 社會式株堂天參 市阪大

O=

粹語の特別原式學式化品な効果有別に富・整式用品美味の人気代表近別はムーリクマヌメ の色。すて料泊は美のの動は最終いな多い類はもに界が世でだま、ため本いを 價定 せまいさな用い愛を配本は ヒゼ は方にの性いれた。顔にらぶあ、方にい無い

質量金ムーリクマメメも含を素水化酸過

がある、間臓なしに上り下りする がある、間臓なしに上り下りする がある、間臓なしに上り下りする がある、間臓なしに上り下りする

◇…粉々 にして働いてある のである、最近繁忙期に入り一日 の到着低車数は八百七、八十車で 上り下り八十回の貨物列車がこの

☆…推行 中の貨車の上を平

に列車の運命を託し、車輪といるの間に身を

から感ずるモダ

れるのだ、係員の現在数は四百九名、重大な責任を背負はせられ、吐き出さ

出入列車の運命を左右する

の樂譜

提まへて色々等ねる「職分性しいある、陽に壊けたポイントマンを

車務課

の努力譚

◇・・全く でも文句は云へませんや上にはしがあり、下にはせんや上にはしがあり、下にはけがあるだけに張った苦夢も感じません。この大した苦夢も感じません。この大した苦夢も感じません。この大した苦夢も感じません。この大した苦夢も感じません。この大した苦夢も感じません。このためない様事を想じます。

坊地方事務所長、渡邊遼駿新聞社官民有志、其他激陽長山獸觀、見

智子数百名にて定刻佛教園各宗智の著席導師の

多數の棋客が

秘術を盡して戦

20

東京、京城間を

旅客の不便を一掃するため

期待される

大孤山殉職者の 盛大な社葬

| 大阪二十八日設電||日本航空線|| 京一大連を専りに出発せしめ影響|
| 大阪二十八日設電||日本航空線|| 及び通線時間を対して入戦間の東京||大連間 駅終航空路 及び通線時間を対して入戦間の連絡を一層使上の航空時間は虚に東京||大連間 城間を一日行程とすることになり十つに過ぎず不便な蔚山に一消す て焼めて入戦間の連絡を一層便力をは旅客がこの航空路を利用 ものと地待されてゐる、なほ大連 せぬ類因となつてゐたので今度東 | ―東京間にも電施の實向である。なは大連 せぬ類因となつてゐたので今度東 | ―東京間にも電施の實向である。なは大連

憲兵隊や警察が大騒ぎ

は勿論意列者をして泣かしめた 大倶ミ育成の

廿七日鞍山にて執行

千數百名の會葬者

ラグビー戦

等は何れも窓で機を所持してゐる等は何れも窓で機を所持してゐる五人連れの米地前を通行してゐる五人連れの米地前を通行してゐる 欧軍取鵬中である 見た、然るに午後五時山縣通百五 ばいかる丸就航 定期

醫者が敗訴 注射で人を殺して 新例開かれ開業醫恐慌

た處喜八は怨ちがずし喜八の父より山本院長の注射に選り、 本氏を相手取り原蓋料に過失かりと山 作用を操作する事の不可能であっ 作用を操作する事の不可能であっ 大事を抗辯し其の使用に就いては との演失なきを織明し、土肥の 一次の大家を鑑定人に申請談を という。 といる。 十回に及んだが博士等は山本氏に

漸く大連で引捕ふ 放山中幣一九 放薛有助

まる手腕家理髪師を今回數名に添ふ機致します に從ひまして御指命下され に從ひまして御指命下され に從ひまして御指命下され に一次で簡別の御手敷のか でを時に御答様の御望み

を操各位の御希望理髪師を今回數名

勘

上野新太郎

兵共の第三書きを輕信して一時に に裁判所の鑑定人は「木甕が未だ に裁判所の鑑定人は「木甕が未だ に裁判所の鑑定をなしてゐた、然る

合 本負債計

ぜんそう

埠頭構内線を

寺見溝に延ばす

1,000,000,000

*社第二大連株式精質社 昭和四年十月二十八日 株式第二大連株式精質社

御 徳 用の角 上 炭 本けいこを 明 年 単 富 上 火 丸 丸 土 炭 土 炭





電話四〇〇〇番におかけ下さい
自腐にで「締宛にでよ直曜達教します
自腐にで「締宛にでよ直曜達教します
大連山縣領バ三井横)
大連山縣領バ三井横)
大連山縣領バ三井横)
大連山縣領が三井横)

番番

購買會

より神宮球場にて天知横澤南新判

四全滿米設同業組合御中

人留鳥局 人間鳥局

不國水兵が

に踊した

故浅川柳作之本 故守屋增平之 枚深見福一之五

放小原孝一郎土

五野十三にて何れも神明高女の勝

野小北小堺福北廣有柱千岡石井今 大 俱 大 俱

は山七日午後一時より基督教青年は山七日午後一時より基督教青年報は二十二點二十二にて最かの難に二年組より各選手をかなと続けたが結局がある。

放任

羅重之

| 得たに跳し背成は後端ニゴール | にて大保勝つ、閉臓三時五分 | 大四4 | 600 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 10

既を得たるのみ

神明高女野郷生高女の野校短球戦

兩高女籃球戰

大孤山殉職

のふ鞍山で執行された 有の盛大な社葬

手續をなす模様であるが、山本氏

山本氏は上告の

要塞地帶を撮影

及び水上署宛旅順歌祭より前記水 歴曜に向つたが午後三時過大連響 旅順に向つたが午後三時過大連響 が水上署宛旅順歌祭より前記水 か最も重要なる要素地帯を撮影の兵は旅職見物中故意が知らずして

阿片自殺を圖る

四片自殺を圖る 市内 得勝衛一九王連登の妻王徐氏(こ) 得勝衛一九王連登の妻王徐氏(こ) 得勝衛一九王連登の妻王徐氏(こ) したが同十一時過ぎ網命した

生

南柴問屋 共進

したと云ふので更に騒ぎの微大をじ運轉きを取職べると、既に下車に運轉きを取職べると、既に下車 自動車が午後四時頃山縣通を通行時に鰕重に間め一方点兵脈大連分特に鰕重に間め一方点兵脈大連分特に鰕重に間め一方点兵脈大連分 特に酸液、水上署にても出入門を派出所入船町、常盤橋派出所等を 慰藉料請求に

野積場擴張のため 満鐵から關東廳へ出願

〇九州階層ではいる。 一ルは注射に優る効力にして を微質せられたる アスト 実成線を解説表になり、実効力 を微質せられたる アスト 二分間治療

酒

大連棋院主催本社後援の秋季剛泰 電 大會は二十七日午後二時ごろより 信濃町吉衆に於て開催。大連棋院 あの會員其他市中よりも自信ふる打 外の會員其他市中よりも自信ふる打 外の 廿七日圍碁大會の盛況 一等より十五等までそれく 新りな無理に粉合したが、當日番 外として瞬幅四段が有段者を靴手 の手合せは登會者一同に非常の興 味を興へた 頃まで熱心に鳥驚を職はした結果。

報ぜられたが、同船はさきの坐礁船はいかる丸は定期ドツク入りを 首相を狙 力を振翳

男は指物商 直ちに取押へらる 人として取調中 ふ怪漢 て飛出す

濱口首相の自動車と誤談して飛び來つたものらしく重大犯人として目下麴町署で取鵬中であるり翳して飛び來つた男あり附近警戒の巡査が取押へたがこの男は愛宕町三ノ四指物商吉田一郎といり翳して飛び來つた男あり附近警戒の巡査が取押へたがこの男は愛宕町三ノ四指物商吉田一郎といる『東京廿八日發電』本日午後一時二十分ごろ首相官邸前にて官邸から出て來た自動車に突如短げを禁

豫定で竣工の運びであると一月十日より工事開始約一ヶ月の 館において開催された、集るものに支米電支各國の子供連に市内各 供まで解験にしかも喜びに満ち頃 供まで解験にしかも喜びに満ち頃

十三世 小泉御影堂本舗 東京市日本橋岡本石町一丁目 東京市日本橋岡本石町一丁目 東京市日本橋岡本石町一丁目

本耳鼻咽喉科 大連市大山通三越隣リ 醫学博士森本辨之助 電話五三七〇

8 地名

隨意 着荷 新 東京風菓子謹製

かくて選物が完全に顔されるッド かくて選物が完全に顔されるッド ・ を行ひ、数多くの形込線でド人へ を行ひ、数多くの形込線でド人へ をして考たまりませんやのいてしまふんじやないかと思 また構内には約三十六

界各國酒類 食 000

窓*

(142)

つと限をおさえた。 かうしておちつ

ので御座いますわ を振つて、それから複雑の傾口でと、しかし倭女子は哀しげに首

のつたら、兄の魂は浮ばれないでか繁集の難に落ちるやうなことが 兄さまの数人事件に就いてあるなお。最後の決小……みんなお の苦み、 響くの息づまるやうな洗験 さらですか、何か知らなか 大きな幅ろしい個人、地震

が鍵をやらうといふのですわ…… 女と一緒に、辯護立のところへ覧 しのお願ひは敵魔なんです。人気

當のお金が必要でせる。そのお金しかし驚隆士を体験するには、相

に上ったのです

で染めたやらに質情であつた。

締切延期

頃、

山で栗の賞を拾ふて ※他の山 の栗であ の栗であ た落ちて あつても

電話五九〇

る書

7

00番

●歐洲行/豊岡 丸 士言八位 馬 丸 土言八

|||日本郵船出帆

● 芝罘行 福壽丸 大東龍口安東縣命令定場船 大連龍口安東縣命令定場船 大連龍口安東縣命令定場船 大連龍口安東縣命令定場船

七三八五二

生殖器障碍

口高橋汽船大連出帆

泌尿

器病

心の清潔なる者は天の愛する所なり、いれた

仁丹金言小話 に製け 大村洋行

發賣元 東東 三十 程三 版替口市 近の紙町道一つ 六月 房 二町 番二 房 番入

ルッキイの「泉とり」 世物小屋一同人の「選 世物小屋」同人の「選

年 (手切品商) 店商村西 港至之九四龍 地番二〇一通西 至三六四龍 號九十場市町滑信

井上醫院

門阿波共

死連浪速町二丁四

性 病 梅台米在

層

四(病毒系数件) 三百十锭 十 四四 (疾病系数件)

株选-計算-鑑定 (不像生义事多所工學生宗像主一建築-設計-監督 (不像生) 大連市福豐町六七

天 津 行

青島上海打磨山丸、古門泉崎 大阪府町鉄大倉社 大阪府町鉄大倉社 大阪府町鉄大倉社 大阪府町鉄大倉社 大阪府町鉄大倉社 大阪府町鉄大倉社 大阪府町鉄大倉社 大阪府町鉄大倉社 大阪府町鉄大倉社 「東西山東西」 「東西山東西」 「東西山東西」 「東西山東西」 「東西山東西」 「東西山東西」 「東西山東西」 「東西山東西」

がからかべらかりませれる。 何でも御利用下さい をかべらかりませれる。 ●天津行 天潮丸 天津丸

○ 大連汽船 辿帆 電話 「智」號

||日港汽船

東福明各案内所補外施一三七米 東福切符發養所 大連案内所補外施 東福切符發養所 大連案内所補外施 大連案内所補外施 下連案内所補外施 でフィンプーリストビューロー 下通常の 下の でフィンプーリストビューロー でフィンプー でフ 國際運輸機試大連支

賣入

· 天津、 牛莊 ● 横 實 行

上海端州基

粹險眼級高 筋膜双米 脈作製ズンレ鏡膜 藤近端 角町競響—五一町速道市連大、元賣發總手—※ 本ユーナード海の大連代理店 が受話を行う事気を持たること有之候 海崎原により襲更すること有之候 海崎 歌い 大連代理店 が 大連市山縣通電話 三七三九番 大連市山縣通電話 三七三九番 大連市山縣通電話 三七三九番 大連市山縣通電話 三七三九番 大連市山縣通電話 三七三九番 大連市山縣通電話 三七三九番

大阪商船

位德 一二共眾會社出張所大阪車區河修列 人谷藤四郎商店

叩兒

四松帝國大學教授後藤醫學博士等諸先生の御後接 ご御指導を 得て一段ミ進步向上し殆んど完全無決

・便利・火持長く・口格低廉

3.3

14-14-35 SECULATION OF THE PARTY OF THE PART

懷

は

盡きぬ

百パ

眞に潑溂たる 汲めども

灣臺蛇精

ドラゴン

臺灣日本蛇族研究所責任創製

ではきつとあなたの寒情を悩んでか?亡くなつたお兄さまも、それか?亡くなったお兄さまも、それ

たしの心の慰めなので御座いますをります。それがせめてものわ

ら、倭文子の館を眺めた。すると

世界である。 中である。 中でる。 中でる。

美知子は蘇を明るくしなが

この人も草野さんを愛してゐるん

も内置で、草野さんに差入物をり他ないのです……わたしは誰

覧 ・ 草野さんを信じて

森があの方に取つて不利益な證言

くく最後の決心をしなければなら

つたっと、倭文子がふいに云った て來た。ふつと美知子は寂しくな

ないかと思ひます

「…最後の狭心と仰有るのは?」

「まあ。随分冷やかなお言葉です

り他ないのです……わたしは誰に 野さんの青天山日を育ってゐるよ

これで

わたくしほつとしました

に朝晩の仕事の絵覧に編集では 強のできる。 選のできる。

かかい

と、実知子は挑戦的な調子で叫ってゐるやうな倭女子の態度が、

草野さんをお救ひすることが出來すから、最後の決心をしなくては

「……あなたこそ!」

と、愛女子も寂しげに微笑んだ

ホルモン旺んなれば、精力、振り云ふまでもなく生殖器・一分一秒

親して頻陳代謝によりあらゆる全身の機能が新活勵をなす爲めであります。 魔効は豪慰特強たる蛇精の强烈な抵抗力が全身に充實し體内に特別の新精力を被以上の人が服用すれば乾度効點があるのであります。之れは要するにドラゴンの

銭、大連民政署内大連獎圏と家庭、十月號) 定價金二

芦堰博士推赞

健康男女も

と、実知子は悲しげに微笑んだ

まるで青編具

ってれは訊かないで下

今では小森英輔の要で

知子には腹立しかつたのである

ベル 血され カ 陽 名は

を持ちている。 では、一般を表している。 では、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般ので

一、、納血强比特力增進不老長壽を願ふ人
一、特感減退を恢復し性的に若返りたき人
一、性感減退を恢復し性的に若返りたき人
一、配憶力を强め、食然增進を願ふ人
一、過度の關務や過酸の運動を力る人
一、為度の關務や過酸の運動をする人
一、身體を强健に元氣好く活動したき人
一、身體を强健に元氣好く活動したき人

代價

一時も早く御服用御活潑な左記効能書に該當のお方は る御活動を祈ります 百八十粒入 金八圓五拾錢

補血强壯 标光長壽

●欧洲行(上海香港新嘉披藤田) ・ 密末勝り ●経育行(神戸四日市職 の上海神戸四日市職